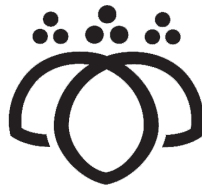


2026年度

第 6 学年 授業計画表

[シラバス]



鶴見大学歯学部

総合歯科医学6

学 年	科目分類	前期・後期	単 位
第 6 学年	必 修	前・後期	10 単位

一般目標

臨床実習での経験と学んできた臨床と基礎の知識を統合し、歯科医師として総合的な医療を行うために、歯学部での 5 年間の学習を振り返り、再整理を行い、社会に求められる歯科医師として必要な主体的課題解決能力を修得する。

【DP／CP】DP 3 ／CP 1

評価方法

学科目期間中に客観試験を複数回実施し評価する。客観試験は多肢選択方式とする。

評価基準

歯科医師国家試験の出願基準に準じた問題の得点を基に基準を定め、その基準を満たしたものを合格とする。基準は、本学科目開始時に学生に公表する。

もくじ

ページ

ページ

解剖学……………	1
生理学……………	4
分子生化学……………	10
口腔微生物学……………	12
病理学……………	21
薬理学……………	27
歯科理工学……………	30
保存修復学……………	34
歯周病学……………	37
歯内療法学……………	41
全部床義歯補綴学……………	45
部分床義歯補綴学……………	48
クラウンブリッジ補綴学……………	51
口腔顎顔面外科学……………	54
口腔内科学……………	57

歯科麻酔学……………	65
口腔顎顔面放射線・画像診断学…	68
歯科矯正学……………	75
小児歯科学……………	78
高齢者歯科学……………	82
障害者歯科学……………	84
法医歯学……………	87
口腔衛生学……………	90
口腔インプラント学……………	95
内科学……………	97
スポーツ医学……………	98
生物学……………	99
倫理学……………	100
臨床対策コラボ講義……………	101
数学講座 統計特講……………	104

総合歯科医学 6 (解剖)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	石川美佐緒	人体の構造と機能	組織、器官及び個体の発生と成長 頭頸部の基本構造と機能	骨の発生 頭蓋骨の構成と構造	人体の骨の発生について説明する。 頭蓋骨の構成と構造について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 C-3-2)①、C-3-4)-(2)①～⑤、E-2-1)②、E-2-3)①、総Ⅱ-1-イ-a, 総Ⅱ-4-イ
2	石川美佐緒	歯と歯周組織の常態と疾患	歯の解剖学	歯種別の形態と特徴 歯の形態異常とその出現頻度、部位、およびその成因	歯種別の形態と特徴について説明する。 歯の形態異常とその出現頻度、部位、およびその成因を説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 C-3-1)①、E-3-1)①～④、必5-ア-e、総Ⅱ5-イ-a～d
3	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	①上皮組織 ②支持組織	①.上皮組織基本構造と機能を説明する。 ②.支持組織の基本構造と機能を説明する。	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。C-3-4)-(1)①, ②, ③, C-3-4)-(2)②, ③, 総Ⅱ1-ア-a, b, 総Ⅱ1-イ-a
4	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	③筋組織 ④神経組織	③.筋組織の基本構造と機能を説明する。 ④.神経組織の基本構造と機能を説明する。	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。C-3-4)-(3)①, ②, ③, C-3-4)-(5)①, ②, ⑦, 総合Ⅱ1-イ-b, 総Ⅱ1-ク-a
5	黒田範行	人体の正常構造・機能	身体を構成する組織と器官	血液・リンパ	血液の構成要素と役割を説明できる造血器官と造血機構を説明できる	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(4)-3～6、4-ア-e
6	黒田範行	人体の正常構造・機能	身体を構成する組織と器官	皮膚と消化器系	①皮膚構造の特徴を説明する ②口腔粘膜の特徴を説明する ③舌の構造、神経支配および機能を説明する	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(7)-1～3、4-ア-e
7	石川美佐緒	歯と歯周組織の常態と疾患	歯と歯周組織の構造と機能	歯の微細構造	歯の微細構造について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 E-3-1)④⑤、必5-ア-e、必6-ウ-a,b、総Ⅱ5-イ-a,b、総Ⅱ9-イ-a～d
8	石川美佐緒	歯と歯周組織の常態と疾患	歯と歯周組織の構造と機能	歯周組織の微細構造	歯周組織の微細構造について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 E-2-2)①②、E-3-1)⑥、必5-ア-e、必6-ウ-a,b、総Ⅱ5-イ-a,b、総Ⅱ9-イ-a～d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
9	黒田範行	人体の正常構造・機能	身体を構成する組織と器官	内分泌系	①甲状腺の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する ②上皮小体の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する ③副腎の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する ④脳下垂体の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する ⑤松果体の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する ⑥ランゲルハンス島の構造と機能および産生ホルモンを説明する	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(9)-1、4-A-e
10	黒田範行	人体の正常構造・機能	身体を構成する組織と器官	咀嚼筋と三叉神経	①4つの咀嚼筋の起始停止、神経支配を説明する。 ②下顎神経の構成と走行を説明する。	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-3、4-U-e、4-C-a
11	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の骨格系	頭蓋を構成する骨と通過する脈管・神経について説明する。	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。C-3-4)-(2)①, E-2-1)②, E-2-2)⑦, 5-A-d, 総II4-I-a, b, c
12	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の筋群	①. 咀嚼筋について構造と機能を説明する。 ②. 舌骨上筋群、舌骨下筋群について説明する。 ③. 咽頭および喉頭について説明する。	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。E-2-1)③, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫ (1) -①～③ 5-A-d, 総II4-U-a, b, c, d
13	松澤 綾美	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義1	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 C-3-1)～4)、総II1-I～カ
14	松澤 綾美	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義2	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 C-3-1)～4)、総II1-I～カ
15	石川美佐緒	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義3	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 C-3-1)～4)、総II4-O～キ
16	石川美佐緒	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義4	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 E-3-1)④⑤、必5-A-e、総II5-I-a,b、総II9-I-a～d
17	黒田範行	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義5	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 C-3-4)-(9)-1、4-A-e
18	黒田範行	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義6	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。 E-2-1)-3、4-U-e、4-C-a
19	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の脈管	①. 頭頸部における血液循環について説明できる。 ②. 頭頸部における静脈について説明できる。 ③. 頭頸部におけるリンパ系について説明できる。	予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。C-3-4)-(4)①, ②, ⑤ C-3-4)-(5)⑤, E-2-1)④, 総II4-E-a, b, c

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
20	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の神経系	脳と脊髄の構造と機能について説明する。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。C-3-4)-(5)④, E-2-1)⑤, 総II1-e

指導教員：石川美佐緒、黒田 範行、原 矢委子、松澤 綾美

参考書： 「人体解剖学」 著者：藤田恒夫 出版社：南江堂 ￥9,500＋税

ISBN：978-4-524-24237-5

「口腔解剖学 第2版」 監修：脇田稔、井出吉信 医歯薬出版 ￥12,000＋税

ISBN：978-4-415-31001-5

「カラーアトラス口腔組織発生学」 磯川桂太郎 ほか 編著 わかば出版 ￥9,975（税込）

ISBN：978-4-89824-046-5 C3047

「口腔組織・発生学 第2版」 脇田 稔 ほか 著 医歯薬出版 ￥10,000＋税

ISBN：978-4-89824-046-5 C3047

「入門組織学 改定第2版」 牛木達夫著 南江堂 ￥5,500（税込み）

ISBN:978-4-524-21617-8

総合歯科医学 6 (生理学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	本谷安正	神経系	A.末梢神経 B.中枢神経 C.伝達物質	Aa. 体性神経 Ab. 自律神経 B. 中枢神経 Ca. 伝達物質 Cb. 受容体 Cc. 細胞内情報伝達	A①体性神経について説明する。 A②自律神経及びその機能について説明する。 B脊髄・脳幹・大脳の機能について説明する。 C①伝達物質の種類・性質について説明する。 C②受容体の種類・性質について説明する。 C③細胞内情報伝達機構について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p93-110。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-1)-①～③ C-2-4)-①～② C-3-4)-(5)-①～⑨ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総II-1-イ-a,b
2	大貫芳樹	内分泌系	A.内分泌	Aa.ホルモン Ab.分泌調節 Ac.ストレス	①ホルモンの作用について説明する。 ②ホルモンの分泌調節について説明する。 ③ストレス時の生体反応について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p69-84。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-1)-①～③ C-2-4)-①② C-3-4)-(7)-①～③ C-3-4)-(9)-①～④ C-3-4)-(10)-①～③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総II-1-エ-a,b 総II-1-キ-a,d 総II-1-ク-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
3	本谷安正	感覚	A.体性感覚 B.特殊感覚 C.神経感覚系の疾患	Aa.体性感覚 Ab.口腔体性感覚 B. 特殊感覚 C.神経感覚系の疾患	A①体性感覚について説明する。 A②歯痛等の口腔感覚について説明する。 B①特殊感覚について説明する。 B②味覚、嗅覚について説明する。 C.神経感覚系の疾患の症状および原因について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p111-121。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-①～④ C-3-4)-(6)-①～④ E-2-2)-⑨⑩ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総II-1-キ-a～e 総II-6-ア-a,b,c 総III-1-ケ-a,b 総IV-1-キ,ク
4	大貫芳樹	循環・呼吸	A.循環 B.呼吸	Aa.心臓 Ab.血圧 Ba.呼吸運動 Bb.ガス交換	A①心臓の機能について説明する。 A②心電図について説明する。 A③血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 B①呼吸運動について説明する。 B②呼吸運動調節の機序について説明する。 B③外・内呼吸におけるガス交換について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p33-56。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-4)-①② C-3-4)-(4)-①～④ C-3-4)-(8)-①② E-1-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-エ-a <総論> 総II-1-ウ-a,b 総VI-4-ア-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
5	本谷安正	口腔機能Ⅰ	A.唾液 B.顎反射 C.咀嚼	Aa.唾液腺 Ab.唾液の性状・機能 B.顎反射 C.咀嚼	A①唾液線について説明する A②唾液の性状・成分・分泌機序について説明する。 B①顎反射の機序について説明する。 C①咀嚼の過程・機序、咀嚼能率について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p134-168。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(1)-(③) C-3-4)-(3)-(③) C-3-4)-(5)-①～④ E-2-1)-(③⑤⑦⑧～⑪) E-2-2)-(⑤⑥) 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-オ-a,b
6	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢Ⅰ	A.消化機能 B.排尿 C.加齢	Aa.消化管の構造と機能 Ab.栄養素の吸収 Ac.排便 B.排尿 Ca.全身領域の加齢 Cb.口腔領域の加齢	A①消化管の構造と機能について説明する。 A②三大栄養素の吸収と運搬について説明する。 A③排便反射について説明する。 B①尿生成・蓄尿・排尿機能について説明する。 C①内分泌・循環器・呼吸器・泌尿器・神経系・運動系・感覚系の加齢について説明する。 C②咀嚼・嚥下・口腔体性感覚・味覚・唾液の加齢について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p57-68, p85-92, p122-131, p184-189。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-①～④ C-3-4)-(6)-(③) C-3-4)-(7)-①～③ C-3-4)-(10)-①～③ E-2-3)-(②) E-5-1)-(①) 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必6-エ-a～c <総論> 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-カ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-8-ウ-a～c 総Ⅱ-8-エ-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	本谷安正	口腔機能Ⅱ	A.嚥下・嘔吐 B.発声	Aa.嚥下 Ab.嘔吐 Ba.声帯と発声 Bb.構音 C.口腔機能検査	A①嚥下の機序について説明する。 A②嘔吐の機序について説明する。 B①発声機構について説明する。 B②構音について説明する。 C口腔機能検査について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-(⑧～⑪) E-2-2)-(⑧) E-5-3)-(③) 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ-a～c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a～h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b
8	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢Ⅱ	A.消化機能 B.排尿 C.加齢	Aa.消化管の構造と機能 Ab.栄養素の吸収 Ac.排便 B.排尿 Ca.全身領域の加齢 Cb.口腔領域の加齢	A①消化管の構造と機能について説明する。 A②三大栄養素の吸収と運搬について説明する。 A③排便反射について説明する。 B①尿生成・蓄尿・排尿機能について説明する。 C①内分泌・循環器・呼吸器・泌尿器・神経系・運動系・感覚系の加齢について説明する。 C②咀嚼・嚥下・口腔体性感覚・味覚・唾液の加齢について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p57-68, p85-92, p122-131, p184-189。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-(①～④) C-3-4)-(6)-(③) C-3-4)-(7)-(①～③) C-3-4)-(10)-(①～③) E-2-3)-(②) E-5-1)-(①) 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必6-エ-a～c <総論> 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-カ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-8-ウ-a～c 総Ⅱ-8-エ-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
9	本谷安正	総合学習	1. 生理学全般	演習講義	1. 神経について説明できる。 2. 内分泌について説明できる。 3. 器官全般の機能について説明できる。 4. 循環・呼吸の神経制御について説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
10	大貫芳樹	総合学習	1. 循環 2. 呼吸	演習講義	1. 心臓の機能について説明する。 2. 血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 3. 呼吸運動について説明する。 4. 呼吸運動調節の機序について説明する。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
11	塩澤光一	総合学習	1. 生理学全般	演習講義	1. 脱水と浮腫のメカニズムを説明できる。 2. 神経の機能を説明できる。 3. 心臓の機能を説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
12	塩澤光一	総合学習	1. 生理学全般	演習講義	1. 口腔機能を説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
13	本谷安正	総合学習	1. 口腔機能	演習講義	1. 味覚について説明できる。 2. 唾液の分泌機能について説明できる。 3. 顎運動について説明できる。 4. 摂食・嚥下の機序について説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
14	大貫芳樹	総合学習	1. 循環 2. 呼吸	演習講義	1. 心臓の機能について説明する。 2. 血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 3. 呼吸運動について説明する。 4. 呼吸運動調節の機序について説明する。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
15	本谷安正	総合学習	1. 生理学全般	演習講義	1. 神経について説明できる。 2. 内分泌について説明できる。 3. 器官全般の機能について説明できる。 4. 循環・呼吸の神経制御について説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
16	大貫芳樹	総合学習	1. 循環 2. 呼吸	演習講義	1. 心臓の機能について説明する。 2. 血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 3. 呼吸運動について説明する。 4. 呼吸運動調節の機序について説明する。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
17	本谷安正	総合学習	1. 口腔機能	演習講義	1. 味覚について説明できる。 2. 唾液の分泌機能について説明できる。 3. 顎運動について説明できる。 4. 摂食・嚥下の機序について説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
18	大貫芳樹	総合学習	1. 循環 2. 呼吸	演習講義	1. 心臓の機能について説明する。 2. 血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 3. 呼吸運動について説明する。 4. 呼吸運動調節の機序について説明する。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。

指導教員：大貫芳樹、本谷安正、塩澤光一

参考書：① 「基礎歯科生理学」 第7版 医歯薬出版

② 「スタディ生理学・口腔生理学」第3版、永末書店

ISBN：① 978-4-263-45846-4、② 978-4-8160-1338-6

総合歯科医学 6 (分子生化学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	山越康雄 山本竜司	1 ヌクレオチド 2 タンパク質合成	1A 核酸の構造 1B ヌクレオチド代謝 2A セントラルドグマ	1Aa DNAとRNA 1Ab 染色体 1Ba ヌクレオチド関連物質 1Bb ヌクレオチドの異化 2Aa DNAの複製 2Ab PCR検査 2Ac 転写 2Ad 翻訳	1Aa① ヌクレオチドの構成成分を説明する。 1Aa② DNAとRNAの構造を説明する。 1Ab① 染色体の構造を説明する。 1Ab② 細胞分裂を説明する。 1Ba① ATP、ビタミンB2, B3,B5の構造を説明する。 1Bb① ヌクレオチド構成塩基の異化代謝を説明する。 2Aa① DNAの複製機構を説明する。 2Ab① PCR検査の原理を説明する。 2Ac① 転写の機構を説明する。 2Ac② スプライシングの機構を説明する。 2Ad① 翻訳の機構を説明する。 2Ae① タンパク質の修飾について説明する。 2Ae② タンパク質の分解について説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4アa～c、f、総Ⅱ1、総Ⅳ3アg コアカリ：C-2-1)-④、C-2-2)-①～⑤
2	山越康雄 山本竜司	3 歯と歯周組織の構造	3A 結合組織の成分	3Aa コラーゲン 3Ab グリコサミノグリカン 3Ac プロテオグリカン 3Ad 細胞接着タンパク質	3Aa① コラーゲンの生合成を説明する。 3Aa② コラーゲンファミリーを説明する。 3Ab① グリコサミノグリカンの種類と構造を説明する。 3Ac① プロテオグリカンの種類と分布を説明する。 3Ad① 細胞接着タンパク質の構造と種類を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4アa,d、総Ⅱ5イa,b、総Ⅲ2アa コアカリ：C-2-1)-①,②、C-2-2)-③,④、C-2-3)-①、C-2-4)-①,③、C-3-4)-(2)-②、C-5-1)-①
3	山越康雄 山本竜司	4 歯と歯周組織の構造	4A 硬組織の有機成分 4B 硬組織の無機成分 4C 硬組織の石灰化機構	4Aa 非コラーゲン性タンパク (NCP) 4Ba ヒドロキシアパタイト 4Ca 基質小胞性石灰化 4Cb エナメル芽細胞性石灰化	4Aa① 骨のNCPの種類と特徴を説明する。 4Aa② 象牙質のNCPの種類と特徴を説明する。 4Aa③ エナメルタンパクの種類と特徴を説明する。 4Ba① ヒドロキシアパタイトの構造と特徴を説明する。 4Ca① 基質小胞性石灰化機構を説明する。 4Cb① エナメル芽細胞性石灰化機構を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4アd,e、総Ⅱ5イa,b、総Ⅱ8イb、総Ⅱ8ウb,c コアカリ：C-2-4)-③、C-3-4)-(2)-②,④,⑤、C-5-1)-①、E-3-1)-①,③,④
4	山越康雄 山本竜司	5 骨代謝	5A 軟骨形成 5B 骨形成 5C 骨吸収 5D 骨のリモデリング	5Aa 軟骨細胞 5Ba 骨芽細胞 5Ca 破骨細胞 5Da 破骨細胞分化	5Aa① 軟骨細胞の分化調節を説明する。 5Ba① 骨芽細胞の分化調節を説明する。 5Ba② 骨細胞の特徴を説明する。 5Ca① 破骨細胞の特徴を説明する。 5Da① M-CSF系分化を説明する。 5Da② RANK-RANKL系分化を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4アe、総Ⅱ8ウa～c コアカリ：C-2-4)-③、C-3-4)-(2)-②～⑤、C-5-1)-①
5	山越康雄 山本竜司	6 血清Caの恒常性	6A Ca調節ホルモン 6B 標的器官	6Aa 血清Caの調節 6Ba 副甲状腺ホルモン 6Bb 活性型ビタミンD 6Bc カルシトニン	6Aa① Caの働きを説明する。 6Aa② 血清Caの恒常性に関わる臓器、ホルモンを説明する。 6Ba① 副甲状腺ホルモンの構造と作用を説明する。 6Bb① 活性型ビタミンDの合成機序と作用を説明する。 6Bc① カルシトニンの構造と作用を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4アe、総Ⅱ8ウb,c コアカリ：C-3-4)-(2)-②～⑤、C-5-1)-①

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
6	山越康雄 山本竜司	7 口腔環境	7A 唾液の有機成分 7B 唾液の無機成分	7Aa 唾液のタンパク質 7Ab 唾液の酵素 7Ba 唾液の無機成分	7Aa① 唾液タンパク質の種類と性質を説明する。 7Ab① 唾液酵素の種類と性質を説明する。 7Ba① 唾液無機成分の種類と性質を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4Ae、必4イc、総Ⅱ6オa、総Ⅱ7イ コアカリ：C-4-2)-⑦、E-2-2)-⑤
7	山越康雄 山本竜司	8 口腔内付着物	8A ペリクル 8B プラーク 8C プラーク内の酸産生	8Aa ペリクルの組成 8Ba プラーク形成 8Bb 菌体外多糖 8Ca 歯肉縁上プラーク 8Cb 歯肉縁下プラーク	8Aa① ペリクルの成分と役割を説明する。 8Ba① プラークの形成機序を説明する。 8Bb① 菌体外多糖の生成機序を説明する。 8Bb② グルカンの構造を説明する。 8Bb③ フルクトサンの構造を説明する。 8Ca① 歯肉縁上プラークの酸産生機序を説明する。 8Ca② ステファンカーブを説明する。 8Cb① 歯肉縁下プラークの酸産生機序を説明する。 8Cb② 口臭原因物質の種類と産生機序を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4Ae,f、必4イc、総Ⅱ2イa,b、総Ⅱ6カa コアカリ：C-2-1)-①,②,④、C-4-2)-⑦、E-2-2)-⑤、E-3-2)-④
8	山越康雄 山本竜司	9 炎症と免疫	9A 自然免疫と獲得免疫 9B ケミカルメディエーター	9Aa 免疫担当細胞 9Ba アミン 9Bb キニン 9Bc アラキドン酸由来エイコサノイド	9Aa① 免疫担当細胞の種類と役割を説明する。 9Ba① アミンの種類と生成機序を説明する。 9Ba② 血管透過性の機序を説明する。 9Bb① キニンの種類と生成機序を説明する。 9Bb② 白血球遊走作用の機序を説明する。 9Bc① アラキドン酸カスケードを説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。 国試出題基準：必4Ag、必6Ad、総Ⅱ3エa,b、総Ⅲ1カa コアカリ：C-2-1)-①～③、C-4-2)-①～③、C-5-5)-①,②
9 10	山越康雄 山本竜司	総合学習	生体内物質と代謝	演習講義1	生体内物質と代謝を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。
11 12	山越康雄 山本竜司	総合学習	結合組織および硬組織の有機質、無機質	演習講義2	結合組織および硬組織の有機質、無機質を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。
13 14	山越康雄 山本竜司	総合学習	唾液の生化学および炎症	演習講義3	唾液の生化学および炎症を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。
15 16	山越康雄 山本竜司	総合学習	不得意分野1 細胞・細胞小器官核酸・遺伝子	演習講義4	細胞や細胞小器官の構造、機能について説明できる。核酸や遺伝子の構造、機能について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。
17 18	山越康雄 山本竜司	総合学習	不得意分野2 習熟度試験などの公開問題における低正答率問題	演習講義5	正答率の低い問題について解説できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。

指導教員： 山越康雄、山本竜司

参考書： ベーシック生化学、口腔生化学（第6版）

ISBN： 9784759811766、9784263458228

総合歯科医学 6 (口腔微生物学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	大島朋子	口腔生態系	口腔環境と常在微生物	口腔環境の特殊性 口腔常在微生物叢 ペリクル プラーク (歯垢) 歯肉溝滲出液 歯肉縁下プラーク	①微生物の口腔環境適応性を説明する。 ②口腔の生態系について説明する。 ③ヒトと常在微生物の関わりについて説明する。 ④プラーク (歯垢) について説明する。 ⑤歯肉縁下プラークの特性を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料 (ノート) を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C 4 -1) ①～⑤、E- 3 -2) ①～④ 国家試験出題基準: 必修 4 イ abc、必修 6 イ j、必修 7 ウ d～i、総論 II 2 イ ab、各論 I 3 ウ a～e、各論 II 1 ア ab、各論 II 1 エ a、各論 II 1 オ a、各論 II 3 ア a,b,h、各論 III 1 ウ a～f、ク ahjt、各論 III 4 イ、各論 III 4 ウ
2	大島朋子	口腔感染症および口腔に症状がみられる全身感染症	A. 齲蝕 B. 歯周病 C. その他の口腔感染症および口腔に症状がみられる全身感染症	齲蝕原性細菌 歯内-根尖歯周組織の感染症 歯周病原性細菌 口腔カンジダ症 顎放線菌症 結核 梅毒	①齲蝕原性細菌の特徴を説明する。 ②齲蝕病原性を説明する。 ③歯内-根尖歯周組織の感染症について説明する。 ④歯周病の分類と原因細菌について説明する。 ⑤歯周病と免疫の関わりを説明する。 ⑥歯周病原細菌の病原因子を説明する。 ⑦口腔カンジダ症の原因真菌の病原因子を説明する。 ⑧顎放線菌症の成り立ちを説明する。 ⑨口腔内の結核の特徴を説明する。 ⑩口腔内の梅毒の特徴を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料 (ノート) を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C 4 -1) ①～⑤、E- 3 -2) ①～④ 国家試験出題基準: 必修 4 イ abc、必修 6 イ j、必修 7 ウ d～i、総論 II 2 イ ab、各論 I 3 ウ a～e、各論 II 1 ア ab、各論 II 1 エ a、各論 II 1 オ a、各論 II 3 ア a,b,h、各論 III 1 ウ a～f、ク ahjt、各論 III 4 イ、各論 III 4 ウ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
3	大島朋子	ウイルス感染症	A. 総論	ウイルスとは ウイルス感染症の 特徴 予防法と治療法	①歯科医にとって重要なウイルス感染症を説明する。 ②予防法と治療法を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修 6 アe、必修 7 ウd～i、必修11スb、総論Ⅰ7アab、総論Ⅲ 1 キab、総論Ⅱ 2 イab、各論Ⅰ 3 ウa～e、各論Ⅲ 1 ウa～f、各論Ⅲ 4 イ、総論Ⅴ 6 アi、総論Ⅶ 1 エk、各論Ⅴ 2 エkm
4	大島朋子	ウイルス感染症	B. 各論	RNAウイルス各論 DNAウイルス各論	③口腔領域に症状が見られるウイルス感染症を説明する。 ④歯科診療上注意が必要なウイルス感染症を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 6①～③ 国家試験出題基準： 必修 5 イb、必修 7 ウe、総論Ⅱ 2 ア、総論Ⅲ 1 キab、総論Ⅲ 3 ウa～e、総論Ⅴ 6 アi、総論Ⅶ 1 エk、各論Ⅰ 2 イf、各論Ⅲ 1 ウe、各論Ⅲ 4 イa～g

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
5	大島朋子	免疫	A. 免疫系の分類 B. 免疫系の構成 C. 免疫寛容	自然免疫と獲得免疫 粘膜免疫 免疫関連臓器 免疫関連細胞 自己寛容	①免疫応答の成り立ちの特性について説明する。 ②自然免疫について説明する。 ③獲得免疫について説明する。 ④粘膜免疫の特殊性について説明する。 ⑤中枢および末梢免疫関連臓器について説明する。 ⑥免疫関連細胞を分類し説明する。 ⑦免疫における自己寛容の成立について説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -2) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修 6 アf、必修 9 エd、総論Ⅱ 3 ア、イ a, b、ウ～オ、総論Ⅲ 1 クa～c、総論Ⅴ 6 アk、総論Ⅵ 3 アd、総論Ⅶ 1 エj、各論Ⅲ 1 ク bcefgi、各論Ⅳ 4 ウエオ、各論Ⅴ 2 j
6	大島朋子	免疫	D. 免疫系の機能 E. アレルギー F. 免疫異常	体液性免疫 細胞性免疫 サイトカイン	①体液性免疫の仕組みを説明する。 ②細胞性免疫の仕組みを説明する。 ③サイトカインを列挙し分類する。 ④アレルギー反応を分類し説明する。 ⑥免疫不全症を分類し説明する。 ⑦自己免疫疾患を分類し説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -2) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修 6 アf、必修 9 エd、総論Ⅱ 3 ア、イ a, b、ウ～オ、総論Ⅲ 1 クa～c、総論Ⅴ 6 アk、総論Ⅵ 3 アd、総論Ⅶ 1 エj、各論Ⅲ 1 ク bcefgi、各論Ⅳ 4 ウエオ、各論Ⅴ 2 j

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	高尾亞由子	院内感染対策	A. 感染症化学療法	抗菌薬 抗真菌薬 抗菌薬の作用機序 抗菌薬の適正使用 <AMS> と薬剤耐性<AMR> 副作用（有害事象）	①各種抗菌薬と抗真菌薬の種類と作用機序を説明する。 ②各種抗菌薬と抗真菌薬の耐性、おもな薬剤体制菌を説明する。 ③各種抗菌薬と抗真菌薬の副作用を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 6 ②～③ 国家試験出題基準： 必修 2 キa～c、総論Ⅰ7アc、総論Ⅶ4 アb、総論Ⅶ8 ウc、各論Ⅴ4 アf
8	高尾亞由子	院内感染対策	B. 滅菌 C. 滅菌	滅菌法の原理と適用 消毒薬の作用機序と適用	①おもな滅菌法の種類、原理、適用条件を説明する。 ②おもな消毒薬の種類、有効範囲、作用機序、適用条件を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 6 ②～③ 国家試験出題基準： 必修 2 キ、必修11エ、必修11コa～c、総論Ⅰ7アc、総論Ⅶ4 アb、総論Ⅶ8 ウc、各論Ⅴ4 アf
9	大島朋子	総合学習	免疫学：自然免疫と獲得免疫の関連	演習講義	①自然免疫と獲得免疫の関連について説明できる。 ②粘膜免疫を説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -2) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修 6 アf、必修 9 エd、総論Ⅱ3 ア、イa, b、ウ～オ、総論Ⅲ1 クa～c、総論Ⅴ6 アk、総論Ⅵ3 アd、総論Ⅶ1 エj、各論Ⅲ1 クbcefgi、各論Ⅲ4 ウエオ、各論Ⅴ2 j

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
10	大島朋子	総合学習	免疫学：免疫異常と疾患	演習講義	①免疫寛容を説明できる。 ②免疫異常による疾患を説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -2) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修 6 アf、必修 9 エd、総論Ⅱ 3 ア、イ a, b、ウ～オ、総論Ⅲ 1 ク a～c、総論Ⅴ 6 アk、総論Ⅵ 3 アd、総論Ⅶ 1 エj、各論Ⅲ 1 ク bcefgi、各論Ⅲ 4 ウエオ、各論Ⅴ 2 j
11	大島朋子	総合学習	微生物の特性と感染症	演習講義	①各種微生物の特性について説明できる。 各種感染症を説明できる。 ②感染対策について説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 3 -2) ①～④ 国家試験出題基準： 必修 4 イ abc、必修 6 イ j、必修 7 ウ d～i、総論Ⅱ 2 イ ab、各論Ⅰ 3 ウ a～e、各論Ⅱ 1 ア ab、各論Ⅱ 1 エ a、各論Ⅱ 1 オ a、各論Ⅱ 3 ア a,b,h、各論Ⅲ 1 ウ a～f、ク ahjt、各論Ⅲ 4 イ、各論Ⅲ 4 ウ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
12	大島朋子	総合学習	口腔環境と常在微生物叢	演習講義	口腔環境の特殊性と微生物の関連について説明できる。 口腔疾患と口腔常在微生物の関係を説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 3 -2) ①～④ 国家試験出題基準： 必修4 イabc、必修6 イj、必修7 ウd～i、総論Ⅱ 2 イab、各論Ⅰ 3 ウa～e、各論Ⅱ 1 アab、各論Ⅱ 1 エa、各論Ⅱ 1 オa、各論Ⅱ 3 アa,b,h、各論Ⅲ 1 ウa～f、クahjt、各論Ⅲ 4 イ、各論Ⅲ 4 ウ
13	大島朋子	総合学習	免疫系の成立と機能	演習講義	1. 抗原認識と提示の仕組みを説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。 3. 体液性免疫を説明できる。 4. 細胞性免疫を説明できる。 5. 補体とサイトカインを説明できる。 6. 粘膜免疫を説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -2) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修6 アf、必修9 エd、総論Ⅱ 3 ア、イa, b、ウ～オ、総論Ⅲ 1 クa～c、総論Ⅴ 6 アk、総論Ⅵ 3 アd、総論Ⅶ 1 エj、各論Ⅲ 1 クbcefgi、各論Ⅲ 4 ウエオ、各論Ⅴ 2 j

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
14	大島朋子	総合学習	免疫が関わる疾患と医療への応用	演習講義	1. アレルギーを説明できる。 2. 免疫不全を説明できる。 3. 自己免疫疾患を説明できる。 4. 免疫疫系を利用した疾患の予防・治療・検査（ワクチン・分子標的薬など）を説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -2) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修6 Af、必修9 Ed、総論Ⅱ 3 ア、イa, b、ウ～オ、総論Ⅲ 1 クa～c、総論Ⅴ 6 Ak、総論Ⅵ 3 Ad、総論Ⅶ 1 Ej、各論Ⅲ 1 K bcefgi、各論Ⅲ 4 ウエオ、各論Ⅴ 2 j
15	大島朋子	総合学習	微生物の基礎と感染対策	演習講義	1. 病原微生物と感染症を説明できる。 2. 感染症とバイオフィルムの関係を説明できる。 3. 感染対策を説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修5 Ib、必修7 Ue、総論Ⅱ 2 ア、総論Ⅲ 1 K a b、総論Ⅲ 3 ウa～e、総論Ⅴ 6 Ai、総論Ⅶ 1 Ek、各論Ⅰ 2 If、各論Ⅲ 1 Ue、各論Ⅲ 4 Ia～g

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
16	大島朋子	総合学習	口腔常在微生物と口腔感染症	演習講義	1. 口腔常在微生物叢について説明できる。 2. 口腔感染症と口腔微生物の関係について説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 3 -2) ①～④ 国家試験出題基準： 必修4 イabc、必修6 イj、必修7 ウd～i、総論Ⅱ 2 イab、各論Ⅰ 3 ウa～e、各論Ⅱ 1 アab、各論Ⅱ 1 エa、各論Ⅱ 1 オa、各論Ⅱ 3 アa,b,h、各論Ⅲ 1 ウa～f、ク ahjt、各論Ⅲ 4 イ、各論Ⅲ 4 ウ
17	大島朋子	総合学習	微生物の遺伝と耐性菌問題との関係と対策	演習講義	1. 微生物の遺伝現象と遺伝子について説明できる。 2. 耐性菌問題とその対策について説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 6 ②～③ 国家試験出題基準： 必修2 キ、必修11エ、必修11コa～c、総論Ⅰ 7 アc、総論Ⅶ 4 アb、総論Ⅶ 8 ウc、各論Ⅴ 4 アf

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
18	大島朋子	総合学習	院内感染と対策	演習講義	1. 院内感染について説明できる。 2. 標準予防策と感染経路別対策を説明できる。 3. 具体的な感染対策とその注意点・問題点を説明できる。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム：C 4 -1) ①～⑤、E- 6 ②～③ 国家試験出題基準：必修 2 キ、必修11エ、必修11コa～c、総論Ⅰ7アc、総論Ⅶ4 アb、総論Ⅶ8 ウc、各論Ⅴ4 アf

指導教員： 大島朋子、高尾亜由子

参考書： 口腔微生物学－微生物の性状と感染－ 第6版 石原和幸 他編著、学建書院
ISBN：978-4-7624-5654- 0

参考書： 口腔微生物学サイドリーダー 第4版 前田伸子、大島朋子著、学建書院
ISBN：978-4-7624-3143- 2

総合歯科医学 6 (病理学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	松本直行	1 炎症（総論） 2 免疫異常	1A 炎症の基本的概念 1B 炎症の分類 2A アレルギー 2B 自己免疫疾患 2C 後天性免疫不全症候群 <AIDS>	1Aa 炎症の定義 1Ab 炎症の原因 1Ac 炎症の経過 1Ba 滲出性炎 1Bb 変質性炎 1Bc 増殖性炎 1Bd 肉芽腫性炎 2Aa アレルギー 2Ba 自己免疫疾患 2Ca 後天性免疫不全症候群 <AIDS>	1A① 炎症の定義と機序を説明できる。 1A② 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 1B① 滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時変化を説明できる。 1B② 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時変化を説明できる。 2AB① アレルギーの分類を説明できる。 2AB② アレルギー、自己免疫疾患の種類と発症機序を説明できる。 2C① ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus <HIV>)感染症と後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome <AIDS>)の口腔症状を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-2)⑤⑥ C-5-5)①～④ E-2-4)-(3)② E-2-4)-(4)① E-2-4)-(10)③⑩ E-6① F-1-1)⑦必7-ア-d～f 必8-ア-a 必8-イ-a 必8-ウ-d,f,g 総III-1-オa～d 総III-1-カa～c 総III-1-キa～c 総IV-1-ア 各Ⅰ-2-イ-f 各III-1-ウ-b,f 各III-4-イ-a 各III-4-ウ-a,c 各III-4-エ-a
2	松本直行	1 病理検査 2 腫瘍（総論）	1A 検体検査 2A 腫瘍の定義と分類 2B 腫瘍の発生 2C 腫瘍の組織学的な特徴 2D 腫瘍の進展	1Aa 細胞診 1Ab 組織診 1Ac 染色法 2Aa 生物学的性状による分類 2Ab 発生母組織による分類 2Ba 発がん因子 2Bb がん遺伝子／がん抑制遺伝子 2Ca 腫瘍の病理組織学的特徴 2Cb 異型性と組織学的分化度 2Cc 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同 2Da 腫瘍の増殖、浸潤、転移、再発 2Db TNM分類	1Aa① 細胞診の目的と適応、実施方法を説明できる。 1Ab① 組織診の目的と適応、実施方法を説明できる。 1Ac① 標本の染色法を説明できる。 2A① 腫瘍の定義と分類を説明できる。 2B① 腫瘍の病因を説明できる。 2C① 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 2C② 腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 2D① 腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①②④～⑥ E-1-3)①②④ E-2-4-(6)①～③必7-ア-g 必7-イ-j 必8-イ-a 必10-キ-a,b 総III-1-カa～c 総III-1-クa～g 総VI-3-ア-f

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
3	松本直行	1 歯・歯周組織疾患 2 嚢胞	1A 象牙質・歯髄複合体の進行性・退行性病变 1B 歯髄炎 1C 根尖性歯周炎 2A 歯原性炎症性嚢胞 2B 歯原性発育性嚢胞 2C 非歯原性嚢胞 2D 偽嚢胞	1Aa 第2象牙質、第3象牙質 1Ab 硬化象牙質 1Ac 象牙粒 1Ad 歯髄の石灰変性 1Ae 象牙芽細胞の空胞変性 1Af 歯髄の網様萎縮 1Ba 歯髄充血 1Bb 単純性歯髄炎 1Bc 急性化膿性歯髄炎 1Bd 慢性潰瘍性歯髄炎 1Be 壊疽性歯髄炎 1Bf 慢性増殖性歯髄炎 1Ca 根尖膿瘍 1Cb 歯根肉芽腫 2Aa 歯根嚢胞 2Ab 残留嚢胞 2Ac 炎症性傍側性嚢胞 2Ba 歯周嚢胞 2Bb 含歯性嚢胞 2Bc 萌出嚢胞 2Bd 幼児の歯肉嚢胞 2Be 歯原性角化嚢胞 2Bf 石灰化歯原性嚢胞 2Bg 側方性歯周嚢胞 2Ca 切歯管嚢胞<鼻口蓋管嚢胞> 2Cb 鼻槽嚢胞<鼻唇嚢胞> 2Cc 術後性上顎嚢胞 2Cd 粘液〔貯留〕嚢胞<粘液瘤> 2Ce リンパ上皮性嚢胞(鰓嚢胞、側頭嚢胞) 2Cf 甲状腺嚢胞 2Cg 頬皮嚢胞、頬表皮嚢胞 2Da 単純性骨嚢胞 2Db 動脈瘤様骨嚢胞 2Dc 静止性骨空洞	1A① 象牙質・歯髄複合体の退行性病变・進行性病变の病因と病態を説明できる。 1B① 歯髄炎の病因と病態を説明できる。 1C① 根尖性歯周炎の病因と病態を説明できる。 2AB① 歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2C① 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2C② 軟組織に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2D① 偽嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-2)①②④ C-5-5)①～③ E-2-4)-(3)② E-2-4)-(5)①② E-3-2)②必7-A-d,e,i 必7-I-b,c,i 必8-I-a 総III-1-I-a,b 総III-1-E-b 総III-1-O-a～d 総III-1-K-a～c 総III-2-A-b,d,e 総IV-2-A 総IV-2-I 総IV-2-K 各I-3-I-c,d,g 各II-2-A-a,b 各III-1-E-a,b 各III-2-O-a,b 各III-3-A-f 各III-4-A-o
4	松本直行	1 口腔粘膜疾患1	1A 損傷 1B ウイルス感染症 1C 細菌感染症 1D 真菌感染症 1E 免疫異常 1F 色素沈着 1G その他	1Aa びらん、潰瘍、アフタ 1Ba 単純疱疹<単純ヘルペス> 1Bb 水痘・帯状疱疹 1Bc ヘルパンギーナ 1Bd 手足口病 1Be 麻疹 1Bf 風疹 1Bg 毛様白板症 1Ca 顎放線菌症 1Db カンジダ症 1Ea 移植片対宿主病<GVHD> 1Eb 尋常性天疱瘡 1Ec 水疱性類天疱瘡 1Ed 円板状エリテマトーデス 1Ee 全身性エリテマトーデス 1Ef Behçet病 1Eg 扁平苔癬 1Eh 金属／薬剤アレルギー 1Ei 多形〔滲出性〕紅斑、Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死症 1Fa 単純黒子 1Fb メタルタトゥー 1Ga 白色海綿状母斑	1① 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 1② 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 1③ 口腔粘膜に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-1)③ C-4-2)⑤⑥ C-5-5)①②④ E-2-4)-(4)①② E-2-4)-(10)② E-6① F-1-1)⑦必7-A-c～f,i 必7-I-h,l,n,o 必8-I-a,f 必8-U-d,e,g,i,l 必8-E-a 総III-1-U-d 総III-1-O-a～d 総III-1-K-a～c 総III-1-K-a～d 総III-1-S-a,b 総III-2-A-c,d,g 総IV-1-I 総IV-2-E 各I-3-U-a～e 各III-1-I-a 各III-1-K-a～g,i,j,m,n 各III-4-I-a～g 各III-4-E-a,d 各III-4-O-a,c 各III-4-K-h 各III-1-K-m,n,p

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
5	松本直行	1 口腔粘膜疾患2	1A 腫瘍 1B 腫瘍類似疾患	1Aa 乳頭腫 1Ab 口腔潜在的悪性疾患 1Ac 口腔上皮性異形成 1Ad 上皮内癌 1Ae 扁平上皮癌 1Af 色素性母斑 1Ag 悪性黒色腫 1Ba 歯肉線維腫症 1Bb 薬物性歯肉増殖症 1Bc 義歯性線維腫 1Bd エプーリス	1① 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 1A① 口腔粘膜上皮由来の腫瘍を分類できる。 1A② 口腔上皮性異形成から扁平上皮癌への進展と組織像を説明できる。 1Afg① メラニン産生腫瘍について説明できる。 1Bd① エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①～⑥ E-2-4-(6)①～⑥ E-2-4)-(10)④必7-ア-d,e,g,j 必7-イ-c,j,l 必8-イ-a,d,f 必8-エ-a 総Ⅲ-1-ウ-a 総Ⅲ-1-サ-b 総Ⅲ-1-ク-a～g 総Ⅲ-2-ア-b～d 総Ⅳ-1-イ 総Ⅳ-2-イ 総Ⅳ-2-エ 各Ⅱ-3-ア-a 各Ⅲ-1-オ-b～i,m～o 各Ⅲ-1-ク-i～l,o
6	松本直行	1 唾液腺疾患	1A 唾液腺炎 1B 唾液腺良性腫瘍 1C 唾液腺悪性腫瘍	1Aa 流行性耳下腺炎 1Ab 巨細胞封入体症 1Ac Sjögren症候群 1Ad IgG4関連涙腺・唾液腺炎<Mikulicz病> 1Ae 壊死性唾液腺化生 1Ba 多形腺腫 1Bb Warthin腫瘍 1Ca 腺様嚢胞癌 1Cb 粘表皮癌	1① 正常な唾液腺の構造を説明できる。 1A① 唾液腺に発生する非腫瘍性疾患を列挙できる。 1Ac① Sjögren病 (Sjögren症候群) を説明できる。 1Ad① IgG4関連疾患を説明できる。 1BC① 唾液腺腫瘍を分類できる。 1BC② 唾液腺の腫瘍の成り立ちを説明できる。 1BC③ 主な唾液腺腫瘍の病理組織像を説明できる。 1BC④ 主な唾液腺腫瘍の疫学を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-2)⑥ C-5-5)①～④ C-5-6)①②④～⑥ E-2-4)-(8)①～④必7-ア-d～g 必7-イ-j,m,n 必8-イ-k 総Ⅲ-1-オ-a～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅲ-1-キ-a～c 総Ⅲ-1-ク-a～e,g 総Ⅲ-2-ア-f 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ケ 各Ⅲ-3-ア-d,e,g～j,l
7	松本直行	1 歯原性腫瘍	1A 良性上皮性歯原性腫瘍 1B 良性上皮間葉混合性歯原性腫瘍 1C 良性間葉性歯原性腫瘍 1D 悪性歯原性腫瘍	1Aa エナメル上皮腫 1Ab 石灰化上皮性歯原性腫瘍 1Ac 腺腫様歯原性腫瘍 1Ba 歯牙腫 1Bb エナメル上皮線維腫 1Ca 歯原性線維腫 1Cb 歯原性粘液腫 1Cc セメント芽細胞腫 1Cd セメント質骨形成線維腫 1Da エナメル上皮癌 1Db 原発性骨内癌 非特定型	1① 歯原性腫瘍の発生を説明できる。 1② 歯原性腫瘍を分類できる。 1③ 歯原性腫瘍の特徴的な組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①②④～⑥ E-2-4)-(6)①②必7-ア-g 必7-イ-j 総Ⅲ-1-ク-a～e,g 総Ⅲ-2-ア-e 総Ⅳ-2-オ 各Ⅰ-3-ア-a 各Ⅲ-1-オ-a 各Ⅲ-2-カ-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
8	松本直行	1 顎骨／顎関節疾患 2 軟組織疾患	1A 顎骨の炎症 1B 顎骨の腫瘍および腫瘍類似疾患 2A 軟組織の腫瘍および腫瘍類似疾患	1Aa 急性化膿性骨髄炎 1Ab 慢性化膿性骨髄炎 1Ac 慢性硬化性骨髄炎 1Ad 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 1Ba 外骨症(口蓋隆起、下顎隆起) 1Bb 骨腫 (Gardner症候群を含む) 1Bc 線維性異形成症 (McCune-Albright症候群を含む) 1Bd 軟骨腫 (滑膜軟骨腫症を含む) 1Be 骨形成線維腫 1Bf 骨肉腫	1A① 顎骨骨髄炎の成立機序を説明できる。 1B① 外骨症 (口蓋隆起、下顎隆起) を説明できる。 1B・2A① 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の特徴を説明できる。 1B・2A② 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の病理組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①～④ C-5-6)①②④～⑥ E-2-4)-(6)①～④ E-2-4)-(7)①② E-6① F-1-1)⑦必7-ア-d,g,j 必7-イ-j,k,o 必8-イ-g,h 必8-エ-a 総III-1-オ-a～d 総III-1-カ-a～c 総III-1-ク-a～e,g 総III-1-コ-b 総III-1-サ-a,b 総III-2-ア-d,e,g 総IV-2-オ 総IV-2-カ 総IV-2-キ 総IV-2-ク 各Ⅰ-3-エ-c 各III-1-オ-b 各III-1-ク-p 各III-2-ア-c 各III-2-エ-a～c,f 各III-2-カ-c～f 各III-4-ア-g 各III-4-ア-Ⅰ
9	松本直行	1 軟組織腫瘍	1A 軟組織の腫瘍および腫瘍類似疾患	1Aa 脂肪腫 1Ab 血管腫・血管奇形 (Sturge-Weber症候群を含む) 1Ac リンパ管奇形 1Ad 神経線維腫 (Ⅰ型神経線維腫症・von Recklinghausen病を含む) 1Ae 神経鞘腫	1A① 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴を説明できる。 1A② 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患の病理組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①～④ C-5-6)①②④～⑥ E-2-4)-(6)①～④ E-2-4)-(7)①② E-6① F-1-1)⑦必6-ア-g 必6-イ-k 総III-1-カ-a,b 総III-1-キ-a,b 総III-1-コ-a～c,e 総III-1-ス-b 総III-2-ア-d,g 総IV-2-キ 各III-1-オ-b 各III-1-ク-p 各III-2-ア-c 各III-2-カ-c,d 各III-4-ア-f,i,k

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
10	松本直行	1 造血器腫瘍	1A 白血病 1B リンパ腫 1C その他の造血器腫瘍	1Aa 白血病 1Ba Hodgkinリンパ腫 1Bb 非Hodgkinリンパ腫 1Ca 骨髄腫 1Cb Langerhans細胞組織球症	1A① 白血病を説明できる。 1B① 悪性リンパ腫を説明できる。 1C① その他の造血器腫瘍を概説できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①②④～⑥ E-2-4)-(6)①③④ E-2-4)-(10)①④ E-6① F-1-1)⑦必6-ア-g 必6-イ-k 総III-1-コ-a～c,e 総III-1-ス-b 総III-2-ア-d,f,g 総IV-1-ア 総IV-1-オ 総IV-2-キ 総V-1-オ 総V-6-ア-d,j 総VI-3-ア-b,f,g 総VII-1-エ-e 総VII-8-ウ-d 各III-1-オ-g,h,k 各III-3-ア-h 各III-4-ケ-a,c,d 各III-4-ス-d 各V-2-エ-e
11	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
12	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
13	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
14	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
15	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
16	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
17	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
18	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
19	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
20	松本直行	総合学習	1A 病因と病態 1B 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	1A① 各種疾患の病因と病態を説明できる。 1B① 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員： 松本直行

参考書： 新口腔病理学 第3版

ISBN： 978-4-263-45859-4

総合歯科医学 6 (薬理学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	出野 尚	1 薬理学総論	1G 薬事法規 1H 処方、処方箋 1I 薬物の種類と管理、治験	1Ga 医薬品医療機器等法 1Gb 日本薬局方 1Ha 処方箋 1Ia 劇薬、毒薬、麻薬、覚醒剤の標示と保管 1Ib 治験 1Ic 薬効の評価	1G① 医薬品医療機器等法と日本薬局方について説明する。 1H① 処方、処方箋について説明する。 1I① 薬物の種類と保管について説明する。 1I② 治験について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 B-2-1)-④ C-6-1)-①～③ 必02-イ-d 必02-エ-b 必02-カ-f 必02-ケ-a 必02-コ-a 総I-1-エ-e 総I-5-ア-c
2	出野 尚	1 薬理学総論	1J 薬理作用の機序	1Ja 受容体を介する作用	1J① 薬物の作用機序について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-2)-①～③, ⑤ 必11-コ-a～c 総VII-4-ウ-a 総VII-8-イ-b, d
3	出野 尚	1 薬理学総論	1J 薬理作用の機序	1Jb 受容体を介さない作用	1J① 薬物の作用機序について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-2)-①～③, ⑤ 必11-コ-a～c 総VII-4-ウ-a 総VII-8-イ-b, d
4	中島和久	2 抗感染薬	2A 抗菌薬 2B 抗真菌薬 2C 抗ウイルス薬 2D 消毒薬		2A① 主な抗菌薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2B① 主な抗真菌薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2C① 主な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2D① 主な消毒薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-4-1)-③～⑤ C-6-2)-②, ③, ⑤ C-6-4)-①, ② 必02-キ-c 必11-コ-a, b, c 総VII-8-ウ-c
5	中島和久	3 抗炎症薬	3A 抗炎症薬	3Aa 非ステロイド性抗炎症薬 3Ab ステロイド性抗炎症薬 3Ac 解熱鎮痛薬	3A① 主なNSAIDを列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 3A② ステロイド性抗炎症薬の作用機序、薬理作用を説明する。 3A③ 解熱鎮痛薬の作用機序、薬理作用を説明する。 3A④ 副作用を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-2)-②, ⑤ C-6-4)-① 必11-コ-a, b, c 総VII-8-ウ-a, b
6	中島和久	4 抗腫瘍薬 5 代謝改善薬 6 止血薬と抗血栓薬	4A 抗腫瘍薬 5A 骨粗鬆症治療薬 5B 糖尿病と喘息の治療薬 6A 止血薬	4Aa アルキル 化薬 4Ab 代謝拮抗薬 4Ac 抗がん抗生物質 4Ad 分子標的薬 5Aa 骨吸収阻害薬 5Ba 糖尿病と喘息の治療薬 6Aa 血液凝固機構 6Ab 全身性止血薬 6Ac 局所性止血薬 6Ba 抗凝血薬 6Bb 抗血小板薬 6Bc 血栓溶解薬	4A① 抗腫瘍薬の作用機序を説明する。 4A② 耐性獲得の機序を説明する。 4A③ 副作用を説明する。 5A① 骨吸収阻害薬の作用を説明する。 5B① 糖尿病と喘息の治療薬の作用を説明する。 6A① 止血薬の作用機序を説明する。 6B① 抗血栓薬の作用機序を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-2)-②, ⑤ C-6-3)-① C-6-4)-① 必11-コ-a, c 総VII-5-イ 総VII-8-ウ-d～f 各III-1-カ 各III-1-ク 各III-2-エ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	中島和久	7 治療薬の副作用と有害作用-1		7A 副作用、毒性の種類 7B 副作用への対策	7A① 副作用を説明する。 7B① 副作用への対策を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-2)-②, ④, ⑤ C-6-4)-① 必07-エ-a 必11-コ-a, b, c 総V-4-エ 総V-6-エ 総VII-8-イ-d, e 各III-1-ク 各V-4-ア-f
8	中島和久	8 治療薬の副作用と有害作用-2		8A 副作用、毒性の種類 8B 副作用への対策	8A① 副作用を説明する。 8B① 副作用への対策を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-2)-②, ④, ⑤ C-6-4)-① 必07-エ-a 必11-コ-a, b, c 総V-4-エ 総V-6-エ 総VII-8-イ-d, e 各III-1-ク 各V-4-ア-f
9	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習1	薬理学総論 薬理学各論	演習講義 1	薬理学総論と薬理学各論の内容を統一的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
10	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習2	薬理学総論 薬理学各論	演習講義2	薬理学総論と薬理学各論の内容を統一的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
11	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習3	薬理学総論 薬理学各論	演習講義3	薬理学総論と薬理学各論の内容を統一的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
12	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習4	薬理学総論 薬理学各論	演習講義4	薬理学総論と薬理学各論の内容を統一的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
13	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習5	薬理学総論 薬理学各論	演習講義5	薬理学総論と薬理学各論の内容を統一的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
14	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習6	薬理学総論 薬理学各論	演習講義6	薬理学総論と薬理学各論の内容を統一的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
15	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習7	薬理学総論 薬理学各論	演習講義	薬理学総論を説明できる。 薬理学各論を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ講義プリント、教科書、参考書を熟読して講義に臨み、講義後には復習すること。 講義プリントと追加配布資料、ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
16	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習8	薬理学総論 薬理学各論	演習講義	薬理学総論を説明できる。 薬理学各論を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ講義プリント、教科書、参考書を熟読して講義に臨み、講義後には復習すること。 講義プリントと追加配布資料、ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
17	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習9	薬理学総論 薬理学各論	演習講義	薬理学総論を説明できる。 薬理学各論を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ講義プリント、教科書、参考書を熟読して講義に臨み、講義後には復習すること。 講義プリントと追加配布資料、ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
18	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習10	薬理学総論 薬理学各論	演習講義	薬理学総論を説明できる。 薬理学各論を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ講義プリント、教科書、参考書を熟読して講義に臨み、講義後には復習すること。 講義プリントと追加配布資料、ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
19	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習11	薬理学総論 薬理学各論	演習講義	薬理学総論を説明できる。 薬理学各論を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ講義プリント、教科書、参考書を熟読して講義に臨み、講義後には復習すること。 講義プリントと追加配布資料、ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
20	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習12	薬理学総論 薬理学各論	演習講義	薬理学総論を説明できる。 薬理学各論を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ講義プリント、教科書、参考書を熟読して講義に臨み、講義後には復習すること。 講義プリントと追加配布資料、ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員： 二藤 彰、中島和久、出野 尚

参考書： 解る!歯科薬理学 (第3版)、学建書院株式会社

ISBN： 978-4762426643

参考書： 現代歯科薬理学 第6版、医歯薬出版株式会社

ISBN： 978-4-263-45811-2

総合歯科医学 6（歯科理工学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	野本理恵	合着・接着・仮着材 シーラント 根管充填材	セメント 接着性レジン セメント セメントの性質 グラスアイオノマー系 シーラント レジン系シーラント 固形根管充填材 根管用セメント	リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメント、 グラスアイオノマーセメント、酸化亜鉛ユージノールセメント、EBAセメント 粉液比、稠度、硬化時間、機械的性質、被膜厚さ ガッタバーチャポイント 酸化亜鉛ユージノールセメント	①各種セメントの組成と硬化反応を説明する。 ②各種セメントの特徴を説明する。 ③セメントの粉液比と硬化時間・機械的性質・被膜厚さとの関係を説明する。 ④各種シーラントの組成、硬化反応および特徴を説明できる。 ⑤根管充填材の種類、組成および特徴を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や 配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-①, D-2-③ 必11セe,h 総VIII 5 イウ, 総VIII 9
2	野本理恵	セラミックス	陶材 ニューセラミックス セラミックスの成形技術・機器	長石質陶材、アルミナ陶材、 金属焼付用陶材 リュウサイト、アルミナ、ジルコニア 築盛、コンデンス、焼成 CAD/CAM、鋳造、射出成形	①広義と狭義のセラミックスを説明する。 ②陶材の組成と特徴を説明する。 ③ニューセラミックスの特徴を説明する。 ④セラミックスの成形方法を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や 配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-② 必11セf 総VIII 6 イ, 総VIII 7 イエ
3	野本理恵	義歯用材料 レジンの成形技術・機器	義歯床用レジン 義歯裏装材 使用法と性質 A. 加熱重合 B. 常温重合 C. 加熱・加圧成形	加熱重合型アクリルレジン、 常温重合型アクリルレジン、 射出成形レジン アクリル系、シリコーン ゴム系、ポリオレフィン系 粉液比、餅状化時間、機械的性質	①義歯床用レジンと関連材料を理解する。 ②各種義歯床用レジンの組成を説明する。 ③各種義歯床用レジンの重合方法と硬化反応を説明する。 ④餅状化に影響する因子を説明する。 ⑤義歯裏装材の組成と特徴を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や 配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-②, E-3-4)-(2)-⑪ 必11セf,g 総VIII 6 アオカ, 総VIII 7 ア（c除く）
4	野本理恵	成形修復材料 歯冠修復材料	コンポジットレジン A. 硬化反応による分類 B. フィラーによる分類	化学重合型、光重合型、 デュアルキュア型 MFR型 ハイブリッド型	①各種コンポジットレジンの組成、硬化反応の違いとそれらの特徴を説明する。 ②フィラーの役割を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や 配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-①, D-2-②, E-3-3)-(1)-③ 必11セe,f 総VIII 5 アイ, 総VIII 6 エキ, 総VIII 7 アc

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
5	野本理恵	歯科接着技術・機器 1	A. 歯質被着面処理 B. セラミックス被着面処理 C. 金属接着面処理	エッチング、ブライミング、 ボンディング シランカップリング剤 メタルプライマー	①歯質接着システムの構成要素と役割が説明する。 ②化学的接着と機械的嵌合効力の違いを説明する。 ③被着体と接着前処理について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-③, E-3-3)-(1)-③ E-3-3)-(1)-⑪ 必11セh 総VIII 8 アイウ
6	野本理恵	金属材料 熱処理	金合金 銀合金 非貴金属	JIS規格金合金 カラット別金合金 白金加金 陶材焼付用金合金 金銀パラジウム合金 低融銀合金 CoCr合金 NiCr合金 Ti・Ti合金 軟化熱処理、硬化熱処理 焼きなまし	①JIS規格の金合金について説明する。 ②陶材焼付用金合金について説明する。 ③金合金の添加元素について説明する。 ④金銀パラジウム合金について説明する。 ⑤銀合金の添加元素について説明する。 ⑥各種非貴金属について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-②, D-2-④, E-3-4)-(1)-⑧ 必11セ f 総VIII 6 ウ, 総VIII 7 ウg, 総VIII10ア
7	野本理恵	模型材 埋没材	模型用石膏 レジン系模型材 石膏系埋没材 高温用埋没材 埋没材の使用法と性質	普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏 エポキシレジン クリストバライト埋没材、石英埋没材 リン酸塩系埋没材、シリカゾル系埋没材、チタン専用埋没材 混水比、硬化時間、硬化膨張、加熱膨張、機械的性質	①各種模型材の組成と性質の違いを説明する。 ②石膏の硬化および硬化膨張の機構を説明する。 ③石膏の硬化時間、硬化膨張に影響する因子を説明する。 ④各種埋没材の組成と特徴を説明する。 ⑤各種埋没材を使用する金属を説明する。 ⑥埋没材の吸水膨張、加熱膨張を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑧ 必11セ d 総VIII 4 ア, 総VIII 7 ウb
8	野本理恵	金属の接合 ワックス	ろう付け 鋳接 溶接 ワックス	ろう、母材、フラックス、アンチフラックス パラフィンワックス インレーワックス、シートワックス レディーキャステイングワックス スティッキーワックス ユーティリティワックス	①ろう付け、鋳接、溶接の違いを説明する。 ②ろう、母材、フラックス、アンチフラックスについて説明する。 ③ワックスの種類、組成および特徴を説明する。 ④ワックスパターンの変形について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑧ 必11セ d 総VIII 4 イ, 総VIII 7 ウde
9	野本理恵	鋳造	鋳造工程 鋳造精度と適合性 鋳造欠陥		①精密鋳造の工程を説明する。 ②鋳造精度と適合性を説明する。 ③鋳造欠陥の原因と対処方法を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑧ 必11セ g 総VIII 7 ウ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
10	野本理恵	切削、研削、研磨	切削器械 切削工具 研磨材 レーザー	エアータービン、エアーモーター、マイクロモーター、 ポイント、ディスク、バー	①切削、研削、研磨について、違いを説明する。 ②レーザーの性質について説明する。 ③レーザーの種類、用途について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1-①, D-1-③, E-3-4)-(1)-⑧ 必11セ b 総Ⅷ 2（アa除く）
11	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総Ⅷ
12	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総Ⅷ
13	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総Ⅷ
14	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総Ⅷ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
15	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII
16	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII
17	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII
18	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。 ・材料比較を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII

指導教員：野本理恵

参考書：スタンダード歯科理工学（第7版） 学建書院

ISBN：978-4-7624-5614-5

基礎歯科理工学 医歯薬出版

ISBN：978-4-263-45831-0

総合歯科医学 6（保存修復学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 C. 診療設備・器材	1 Ca. 回転切削器械 1 Cb. 回転切削器具 1 Cc. 手用切削器具 1 Cd. レーザー	1 Ca① 回転切削器械について説明できる。 1 Cb① 回転切削器具について説明できる。 1 Cc① 手用切削器具について説明できる。 1 Cd① レーザーについて説明できる。	「第六版 保存修復学21」第5章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①③、必11セb、総VII 2 アa～d、総VIII 2 イ
2	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 D. 修復方法 1 E. 歯髄損傷・歯髄保護	1 Da. 修復法の種類 1 Db. 修復の前準備 1 Ea. 歯髄刺激 1 Eb. 歯髄保護 1 Ec. 覆髄と裏層 1 Ed. 仮封	1 Da① 歯冠修復の意義、種類を説明できる。 1 Da② 直接修復と間接修復について説明できる。 1 Da③ 接着性修復と非接着性修復について述べる。 1 Db① 修復に必要な前処置の意義について説明できる。 1 Ea① 歯髄障害について説明できる。 1 Eb① 歯髄保護について説明できる。 1 Ec① 覆髄と裏層について説明できる。 1 Ed① 仮封について説明できる。	「第六版 保存修復学21」第7章、第4章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①～③、D-2①② E-3-3)-(1)②③④⑤⑦ 必11ケb、必11セe、必11セf、必11セh、総VIII 5 アab、総VIII 8 ア～ウ、総VIII 9 アab、各II 1 ウabd
3	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Fa. コンポジットレジン の材料学 1 Fb. コンポジットレジン 修復の特徴と適応症	1 Fa① コンポジットレジンの組成を説明できる。 1 Fb① ミニマルインターベンションを説明できる。 1 Fb② コンポジットレジン修復の特徴と適応症を説明できる。	「第六版 保存修復学21」第8章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2① E-3-3)-(1)①～④⑥⑧ 必11ケb、必11セeh、総VII 5 アa、総VIII 8 イab、各II 1 ウa、各II 1 ウd
4	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Fc. コンポジットレジンの接着理論 1 Fd. コンポジットレジン 修復の手順 1 Fe. 補修修復	1 Fc① コンポジットレジンの接着メカニズムを説明できる。 1 Fd① コンポジットレジン修復の手順を説明できる。 1 Fe① 補修修復について説明できる。	「第六版 保存修復学21」第8章、第17章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2① E-3-3)-(1)①～④⑥⑧ 必11ケb、必11セeh、総VII 5 アa、総VIII 8 ア、総VIII 8 イab、総VIII 8 ウab、各II 1 ウade
5	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 G. 窩洞 1 H. 間接修復法	1 Ga. 窩洞の名称と分類 1 Gb. 窩洞の条件 1 Ha. メタルインレー修復	1 Ga① 窩洞の構成、名称、分類を説明できる。 1 Gb① 窩洞形成法を説明できる。 1 Ha① メタルインレー修復の手順を説明できる。	「第六版 保存修復学21」第6章、第13章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2②③ E-3-3)-(1)①③⑥⑦ 必11ケb、必11セf、総VIII 6 ウab、総VIII 8 ウc、各II 1 ウbcd
6	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 H. 間接修復法	1 Hb. コンポジットレジン インレー修復 1 Hc. セラミックインレー 修復 1 Hd. 合着・接着	1 Hb① コンポジットレジンインレー修復の手順を説明できる。 1 Hc① セラミックインレー修復の手順を説明できる。 1 Hd① 合着用、接着用セメントについて説明できる。 1 Hd② 各種セメントの素性・用法・注意点について説明できる。	「第六版 保存修復学21」第11～12章、第14章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2②③ E-3-3)-(1)①③⑥～⑧ 必11ケb、必11セf、総VIII 6 イab、総VIII 6 エac、総VIII 7 アcd、総VIII 8 ウab、総VIII 9 アa～c、各II 1 ウb～d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1Ff. グラスアイオノマーセメントの基礎と特徴 1Fg. グラスアイオノマーセメント修復の臨床手順	1Ff① グラスアイオノマーセメントの組成について述べる。 1Ff② グラスアイオノマーセメント修復の材料学的特徴を述べる。 1Fg① グラスアイオノマー修復の手順について述べる。	「第六版 保存修復学21」第9章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2① E-3-3)-(1)①③⑥ 必11ヶb、必11セeh、総Ⅷ5アb、各Ⅱ1ウad
8	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1I. 歯の漂白 1J. ペニア修復	1Ia. 変色歯の漂白の特徴・臨床手順 1Ja. ペニア修復の特徴・臨床手順	1Ia① 変色歯・着色歯の症状、診断および処置について述べる。 1Ia② 無髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1Ia③ 有髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1Ja① ペニア修復の特徴・手順について述べる。	「第六版 保存修復学21」第15～16章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2①～③ E-3-2)①、E-3-3)-(1)①③⑥⑧ 必11ヶb、必11セefh、総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、各Ⅱ1アe、各Ⅱ1ウabf
9	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1A. 保存修復学概論 1B. 齲蝕、齲蝕以外の硬組織疾患 1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1Aa. 歯の構造 1Ab. 検査・診断 1Ba. 歯の硬組織疾患の特徴と病因 1Fa. コンポジットレジン の材料学 1Fb. コンポジットレジン 修復の特徴と適応症 1Fc. コンポジットレジン の接着理論 1Fd. コンポジットレジン 修復の手順 1Fe. 補修修復 1Ff. グラスアイオノ マーセメントの基礎と特徴 1Fg. グラスアイオノ マーセメント修復の臨床 手順	講義の復習。	これまでの講義についてあらかじめ自己で復習してから本講義に臨むこと。 講義後は、理解が不十分であった範囲を再度、復習すること。
10	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1G. 窩洞 1H. 間接修復法	1Ga. 窩洞の名称と分類 1Gb. 窩洞の条件 1Ha.メタルインレー修復 1Hb. コンポジットレジン インレー修復 1Hc. セラミックインレー 修復 1Hd. 合着・接着	講義の復習。	これまでの講義についてあらかじめ自己で復習してから本講義に臨むこと。 講義後は、理解が不十分であった範囲を再度、復習すること。
11	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義1	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
12	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義2	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
13	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義3	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
14	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義4	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
15	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義5	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
16	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義6	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
17	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義7	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
18	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義8	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
19	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義9	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
20	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義10	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。

指導教員： 山本雄嗣

参考書： 「第六版 保存修復学21」 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 監修 永末書店 2022年

ISBN： 978-4-8160-1440-0

総合歯科医学 6 (歯周)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	長野 孝俊	歯周疾患の診断	1. 歯肉病変の診断 2. 歯周炎の分類 3. 壊死性歯周疾患 4. 歯周組織の膿瘍	1a. プラーク性歯肉炎 1b. 非プラーク性歯肉病変 1c. 歯肉増殖症 2a. 慢性歯周炎 2b. 侵襲性歯周炎 2c. 遺伝が関与する歯周炎 3a. 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎 4a. 歯周膿瘍 5a. 歯肉退縮 6a. 一次性咬合性外傷 6b. 二次性咬合性外傷	1b③. アレルギー歯肉病変を説明できる。 1c①. 薬物性歯肉増殖症を説明できる。 1c②. 歯肉線維腫症を説明できる。 2a①. 慢性歯周炎を説明できる。 2b①. 侵襲性歯周炎を説明できる。 2c①. 遺伝が関与する歯周炎を列挙する。 3a①. 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎を説明できる。 4a①. 歯周膿瘍を説明できる。 4a②. 歯内—歯周疾患を説明できる。 5a①. 歯肉退縮を説明できる。 6a①. 一次性咬合性外傷を説明できる。 6b①. 二次性咬合性外傷を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2)③ E-3-3) (-3) ①②③ 必7イd 必8キc 必9オb 総Ⅲ2アb 総Ⅳ2イ 各Ⅱ3アa,b,c,d,e,f,g,h 各Ⅱ3ウa,c
2	長野 孝俊	歯周基本治療	1. プラークコントロール 2. スケーリング・ルートプレーニング 3. 咬合調整 4. 暫間固定 5. 歯周薬物療法	1a. 歯ブラシ法 2a. スケーリング 2b. ルートプレーニング 2c. グレーシーキュレットの特徴 3a. 咬合調整の各種法則 4. A-splint 4b. レジン隣接面間固定 5a. 局所薬物配送システム (LDDS)	1a①. 各種歯ブラシ法を説明できる。 2a①. スケーリングを説明できる。 2b①. ルートプレーニングを説明できる。 2c①. スケーラーの種類と特徴を説明できる。 3a①. 咬合調整の各種法則を説明できる。 4①. 暫間固定の種類と目的を説明できる。 4a①. A-splintについて説明できる。 4b①. レジン隣接面間固定について説明できる。 5a①. 局所薬物配送療法 (LDDS)を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2)④ E-3-3) (-3) ①-③ 必11ケad 総Ⅵ1アc 総Ⅶ2アc 各Ⅱ3ウb,c,h

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
3	松島 友二	歯周外科治療①	1.歯周外科処置の目的 2.歯周ポケットを除去・減少させる手術	1a.歯周組の治癒形態 1b.歯周外科処置の分類 2a.組織付着療法 2b.切除療法	1a①.上皮性付着の治癒形態を説明できる。 1a②.新付着の治癒形態を説明できる。 1a③.再生の治癒形態を説明できる。 1b①.歯周ポケットを除去・減少させる手術の目的を説明できる。 1b②.口腔環境を改善する手術を列挙できる。 1b③.歯周組織再生療法を列挙できる。 2a①.組織付着療法を列挙し、術式を説明できる。 2b①.切除療法を列挙し、術式を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3)(-3)④⑤ 必11ケd 総Ⅶ2アc 各Ⅱ3ウd
4	松島 友二	歯周外科治療②	再生療法	1.骨移植術 2.組織再生誘導法(GTR) 3.エナメルマトリックスタンパク質 4.b-FGF	1①.骨移植術の適応と術式、材料について説明できる。 2①.GTR法の再生メカニズムを説明できる。 2②.GTR法の適応と術式を説明できる。 3①.エナメルマトリックスタンパク質の適応と術式を説明を説明できる。 4①.b-FGFの適応と術式を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3)(-3)④⑤ 必11ケd 総Ⅶ2アc 総Ⅷ11イ,エ,オ 各Ⅱ3ウd,f
5	松島 友二	歯周外科治療③	1.根分岐部病変の治療	1a.ファルカプラステイ 1b.ルートセパレーション 1c.ヘミセクション 1d.ルートリセクション 1e.トンネリング	1①.根分岐部病変の診査と分類について説明できる。 1②.根分岐部病変に対する処置の目的を説明できる。 1③.根分岐部病変の分類と処置法を説明できる。 1a①.ファルカプラステイを説明できる。 1b①.ルートセパレーションを説明できる。 1c①.ヘミセクションについて説明できる。 1d①.ルートリセクションについて説明できる。 1e①.トンネリングについて説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2)③ E-3-3)(-3)③④ 必11ケd 総Ⅶ2アc 各Ⅱ3ウg

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
6	松島 友二	歯周外科治療④	歯周形成外科手術	1a.付着歯肉幅の獲得手術 1b.露出根面被覆術 2.粘膜弁の種類	1①.歯周形成外科手術の目的を説明できる。 1②.歯周形成外科手術の分類を説明できる。 1a①.付着歯肉幅の獲得手術の種類と方法を説明できる。 1b①.露出根面被覆術の種類と方法を説明できる。 2①.部分層弁と全部層弁を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3) (-3) ④⑤ 必12ケd 総Ⅶ2アc 各Ⅱ3ウf
7	松島 友二	1.口腔機能回復治療 2.患者管理	1A.歯周補綴前処置 2A.メインテナンス 2B.SPT	1Aa.バイオリジカルウィズ(生物学的幅径) 2Aa.治癒の定義 2Ba.病状安定の定義	1Aa①.バイオリジカルウィズの意義を説明できる。 1Aa②.バイオリジカルウィズを獲得する処置法を列挙し説明できる。 2Aa①.歯周病の治癒の定義について説明できる。 2Aa②.メインテナンス項目について説明できる。 2Ba①.病状安定を決める検査について説明できる。 2Bb②.SPTの項目について説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-1) ⑥ E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ①③⑤ 必11ケd 総Ⅱ5イb 総Ⅲ2アb 総Ⅶ2アc 各Ⅱ3ウh 各Ⅱ3イa,b,c,d,e 各Ⅴ6ア
8	松島 友二	1.高齢者 2.その他歯科用器具	1A.高齢者の歯周疾患 2A.レーザー	3Aa.高齢者の歯周組織の特徴 4Aa.レーザー機器の特徴・用途	3Aa①.高齢者の歯周組織の特徴と管理について説明できる。 4Aa①.各種レーザー機器の特徴・用途について説明できる	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-1) ⑥ E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ①③⑤ 必7イd 必11ケd 総Ⅱ5イb 総Ⅲ2アb 総Ⅳ2イ 総Ⅶ2アc 総Ⅶ9エ 各Ⅴ6ア
9,10	長野孝俊	総合学習	歯周組織の構造、歯周病の原因症状・リスクファクター・遺伝的要因・分類・疫学および咬合性外傷。歯周基本治療	演習講義1	歯周組織の構造、歯周病の原因、症状・リスクファクター・遺伝的要因・分類・疫学および咬合性外傷、歯周基本治療について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
11,12	松島友二	総合学習	歯周外科処置・根分岐部病変	演習講義2	歯周外科処置・根分岐部病変について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
13,14	松島友二	総合学習	ペリオドンタルメディスン・口腔機能回復治療・特殊な歯周病の治療	演習講義3	ペリオドンタルメディスン・口腔機能回復治療・特殊な歯周病の治療について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
15,16	長野孝俊	総合学習	歯周外科処置・根分岐部病変	演習講義4	歯周外科処置・根分岐部病変について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
17,18	松島友二	総合学習	ペリオドンタルメディスン・口腔機能回復治療・特殊な歯周病の治療	演習講義5	ペリオドンタルメディスン・口腔機能回復治療・特殊な歯周病の治療について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
19,20	松島 友二	総合学習	歯周組織の構造、歯周病の原因症状・リスクファクター・遺伝的要因・分類・疫学および咬合性外傷。歯周基本治療	演習講義6	歯周組織の構造、歯周病の原因、症状・リスクファクター・遺伝的要因・分類・疫学および咬合性外傷、歯周基本治療について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：長野孝俊、松島友二

参考書：臨床歯周病学第3版

ISBN：978-4-263-45844-0

総合歯科医学 6（歯内療法学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	山崎泰志	1. 歯の硬組織疾患	1.A歯の硬組織疾患の病因と病態 1B歯髄保存療法 覆髄材	1A 歯の硬組織疾患の病因と病態 1Ba 歯髄鎮痛消炎療法 1Bb 間接覆髄法 1Bc 暫間的間接覆髄法 1.Bd直接覆髄法 1.Be生活断髄法 覆髄材	①歯髄保存療法の適応症、処置、治癒機転を説明できる。 ②覆髄材の特徴を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：歯髄保存療法の適応症、処置について説明できる。過去の関連問題を解答すること。 E-3-3)-(1)①⑤⑦、 E-3-3)-(2)①、 必6Ⅰa,b、必7Ⅰb,c、必9アa、Ⅰa、カd,e、総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、総Ⅶ1アab、2アa、各Ⅱ2アa、Ⅰa
2	山崎泰志	1. 歯髄疾患	1.A歯髄疾患の病因、病態、 症候、治療	1A歯髄炎の症候 1B歯髄除去療法の適応 1C内部吸収歯の治療	①歯髄炎の症状と診断名を説明できる。 ②抜髄の適応症を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：症状から診断名を決定できる。過去の関連問題を解答すること。 E-3-2)②⑤、E-3-3)-(2)①、必6Ⅰa,b、7Ⅰc、8キb、9アa、9Ⅰa、総Ⅲ2アb、総Ⅳ2アabc、総Ⅵ1アab、総Ⅶ1アab、Ⅰb、2アb、各Ⅱ2アa、2Ⅰb
3	山崎泰志	1. 根尖性歯周疾患	1. 根尖性歯周疾患の病因、病態、症候、治療	1A 根尖性歯周疾患の病因と病態、治療 1B根尖性歯周炎が全身に及ぼす影響 1C 根管治療後の治癒機転と予後	①歯髄炎と根尖性歯周炎の症候で共通点、相違点を説明できる。 ②根尖歯周組織疾患の診断、治療法(救急処置、再根管治療を含む)を説明出来る。 ③根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響を説明できる。 ④根尖部の治癒機転と予後が説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：急性化膿性根尖性歯周炎の各期の症状、処置を列挙できる。根尖の治癒経過を説明できる。関連の国家試験問題を解答すること。 E-2-4)-(3)6、E-2-4)-(5)②、E-3-2)② E-3-3)-(2)①④ 必6Ⅰb、7Ⅰa,c、8Ⅰa、8キb、総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、総Ⅵ1アa,b、2エb、オa、コa、総Ⅶ1アa,b、Ⅰb、2アb、各Ⅱ2アb、Ⅰc、各Ⅲ1ウb,d、2エd,g、オa
4	山崎泰志	1. 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 2. 歯の外傷	1A歯内-歯周疾患 1B歯根の病的吸収 2.歯の外傷	1A 歯内-歯周疾患の分類 1B 内部吸収、外部吸収の診断、処置 2A 外傷歯の分類、処置 2B 歯・歯根の亀裂・破折	①歯内-歯周疾患の原因、分類、処置を説明できる。 ②内部吸収、外部吸収の原因、診査、診断、治療が説明できる。 ③外傷歯、歯根破折の特徴、診断、治療法を説明できる。 ④エックス線画像より歯内-歯周疾患、外傷歯、病的吸収歯が読影できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：歯内-歯周疾患の原因、分類、処置、病的吸収歯、外傷、歯根破折の診断、治療法が説明できる。 エックス線画像、CT画像より診断ができる。過去の関連問題を解答すること。 E-1-2)⑦、⑨、E-2-4)-(2)③、E-3-3)-(2)⑦、総Ⅴ1アイウエ、総Ⅵ1アab、2エb,c、オa、コa、総Ⅶ1アa,b、各Ⅱ1アf、各Ⅱ2アc,d,e、Ⅰh,i、3アg、各Ⅲ2ウa
5	山崎泰志	1. 治療の基本手技	1A歯髄疾患・根尖性歯周疾患の基本的処置 1B 歯科材料・機器	1Aa 根管処置 1Ab 根管充填 1B 歯内療法用機器、材料	①根管処置（隔壁を含む）の手順を説明できる。 ②根管充填の目的、時期、術式、材料を説明できる。 ③器材、根管清掃剤、根管消毒剤、仮封について説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：歯内治療で用いる器材、隔壁の手順を説明できる。過去の関連問題を解答すること。 D-1①②③、D-2⑥、E-3-3)-(1)⑦、E-3-3)-(2)②④、必6Ⅰb、8キb、11アb、エa、ケc、セe、総Ⅶ2アb、総Ⅷ5ウa,b、各Ⅱ2Ⅰde

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
6	山崎泰志	1. 歯髄疾患、根尖性歯周疾患	1 外科的歯内療法	1a 外科的排膿路の確保 1b 根尖搔爬法 1c 歯根尖切除法 1d 逆根管充填法 1e 歯根切除法 1f 分割抜歯法 1g 歯根分離法 1h 意図的再植法 1i 歯の移植法	①外科的歯内療法の適応、処置法を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：外科的歯内療法を列挙でき、手順を説明できる。過去の関連問題を解答すること。E-3-3)-(2)⑤ 必9アab、総VI1アb、2エb,c、オa、コa、総VII1アa,b、イc、各II2イg
7	山崎泰志	1. 歯髄疾患、根尖性歯周疾患	1 偶発症と安全対策 2 顕微鏡を用いた歯内療法	1a 皮下気腫 1b 根管器具破折 1c 穿孔部の処置 1d 薬剤の溢出 1e 器具の誤飲 2 顕微鏡を用いた治療	①歯内治療における偶発事故の原因、予防、処置法を説明できる。 ②顕微鏡を用いた治療の特徴を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：偶発症の処置方法を説明できる。過去の関連問題を解答すること。E-3-3)-(2)③⑤、D-1①③、D2⑥、必2カabcf、必8アa、総III1スb、総VI2エオa、総V1エ、各II2イj
8	山崎泰志	1. 歯の変色 2. 根末完成歯の歯髄疾患、根尖性歯周疾患	1. 歯の変色 2. 根末完成歯の治療	1a 歯の変色の原因 1b 歯の漂白 ウォーキングブリーチ法 2a アペキシゲネーシス 2b アペキシフィケーション 2c 歯髄血管再生療法	①歯の変色の原因を説明できる。 ②失活歯の漂白の治療法を説明できる。 ③根末完成歯の治療を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：歯の変色の原因、処置、根末完成歯の治療を説明できる。過去の関連問題を解答すること。 E-3-3)-(2)⑥、E-4-2)④⑤、総V1アイウエオ、総VI1アa,b、2エb、オa、コa、各II1アe、ウf、2イf
9	細矢哲康	総合学習	a. 歯の異常 b. 検査	演習講義	a. 歯の異常形態、好発部位を覚える。 b. それぞれの診断に必要な検査を選択できる。	予習：シラバス内容と一致した教科書、今までの資料に目を通しておくこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直すことができるようにすること。
10	細矢哲康	総合学習	a. 象牙質知覚過敏症 b. 歯髄の保存療法	演習講義	歯髄の役割、歯髄の保存療法の目的と、使用する薬剤を選択できる。	予習：シラバス内容と一致した教科書、今までの資料に目を通しておくこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直すことができるようにすること。
11	細矢哲康	総合学習	a. 歯髄炎の兆候 診断、治療方法	演習講義	症状から診断、治療に使用する薬剤を選択できる。	予習：シラバス内容と一致した教科書、今までの資料に目を通しておくこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直すことができるようにすること。
12	細矢哲康	総合学習	a. 根尖性歯周炎の兆候、診断、治療方法 b. 歯内・歯周病変	演習講義	症状から診断、治療に使用する薬剤を選択できる。	予習：シラバス内容と一致した教科書、今までの資料に目を通しておくこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直すことができるようにすること。
13	長谷川雅子	総合学習	a. 根管治療 b. 外科的歯内療法	演習講義	適正な治療手順、使用器材を選択できる。	予習：シラバス内容と一致した教科書、今までの資料に目を通しておくこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直すことができるようにすること。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
14	長谷川雅子	総合学習	a. 偶発症 (歯根破折) b. 外傷	演習講義	a. 歯内療法の偶発症の安全対策、処置法を選択できる。 b. 外傷(歯根破折)の適正な治療方針を選択できる。	予習：シラバス内容と一致した教科書、今までの資料に目を通しておくこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直しすることができるようにすること。
15	細矢哲康	総合学習	歯内治療の目的診断別症候	硬組織疾患歯髓疾患	歯内治療の目的を明確にする。項目別に必須事項を抽出する。	予習：項目別に必須事項を抽出する。復習：簡便に見直せる見やすい自分資料を確立する。必須事項に対し、忘れたときに戻れる理由を確実にする。
16	細矢哲康	総合学習	歯内治療の目的診断別症候と治療	根尖性歯周炎外傷、歯内・歯周病変、歯根破折、歯の吸収	歯内治療の目的を明確にする。項目別に必須事項を抽出する。	予習：項目別に必須事項を抽出する。復習：簡便に見直せる見やすい自分資料を確立する。必須事項に対し、忘れたときに戻れる理由を確実にする。
17	長谷川雅子	総合学習	根管治療	抜髄、感染根管治療の治療手順、器具、器材の使用方法的確認	基本的手順、器具、器材を確実に覚える。	予習：項目別に必須事項を抽出する。復習：簡便に見直せる見やすい自分資料を確立する。必須事項に対し、忘れたときに戻れる理由を確実にする。
18	長谷川雅子	総合学習	外科的歯内療法	治療手順、器具、器材の使用方法的確認	症例別に手順の再編ができるようにする。	予習：項目別に必須事項を抽出する。復習：簡便に見直せる見やすい自分資料を確立する。必須事項に対し、忘れたときに戻れる理由を確実にする。
19	長谷川雅子	総合学習	歯内療法における偶発症、漂白、根未完成	偶発症に対する安全対策と処置法ウォーキングブリーチ、その他	基本的手順、器具、器材を確実に覚える。	予習：項目別に必須事項を抽出する。復習：簡便に見直せる見やすい自分資料を確立する。必須事項に対し、忘れたときに戻れる理由を確実にする。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
20	長谷川雅子	総合学習	口腔内写真、エックス線、歯科用CTの読影	口腔内写真、エックス線、歯科用CTの読影による診断の確認	2 歯にまたがる病変に対し、確実な診断ができるようにする。	予習：項目別に必須事項を抽出する。復習：簡便に見直せる見やすい自分資料を確立する。必須事項に対し、忘れたときに戻る理由を確実にする。

指導教員： 山崎泰志、細矢哲康、長谷川雅子

参考書： 1) 歯内治療学 第6版（医歯薬出版） 10,800円

ISBN： 978-4-263-45693-4

2) エンドドンティクス 第7版（永末書店） 9,900円

ISBN： 978-4-8160-1463-5

総合歯科医学 6（全部床義歯補綴学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	西山雄一郎	(総論) 口腔・顎顔面の機能	運動 食物摂取	下顎位 下顎運動要素 咬合接触, 咬合様式 基準平面	①下顎位を説明できる。 ②下顎運動要素を説明できる。 ③全部床義歯に関連した基準平面を説明できる。 ④咬合接触, 咬合様式を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯補綴学 講義ノート13,18-20章 / 歯科国試パーフェクトマスター全部床義歯補綴学 Chapter2,11 E- 3 -4) - (2) -⑦⑩ 必12-ス-a 総VI- 1 -イ-abc 各IV- 2 -イ-bcf 各IV- 5 -イ-c 各IV- 5 -ウ-d
2	西山雄一郎	(総論) 口腔・顎顔面の機能 (各) 全部床義歯による治療	運動 臨床操作 技工操作	下顎位 下顎運動要素 顎間関係の記録 咬合器装着・調節	①下顎位を説明できる。 ②下顎運動要素を説明できる。 ③全部床義歯の咬合平衡を説明できる。 ④咬合器装着を説明できる。 ⑤顎路調節を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯補綴学 講義ノート13,18-20章 / E- 3 -4) - (2) -⑦⑧ 必12-ケ-e 総VI- 1 -イ-abc 各IV- 2 -イ-bcf 各IV- 5 -イ-c 各IV- 5 -ウ-cd
3	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 全部床義歯による治療	臨床操作 技工操作	前処置、印象採得、個人トレーの製作、作業用模型の製作	①無歯顎患者の印象採得について説明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴治療第3版 p86-125 E- 3 -4) - (2) -⑥ 必12-ケ-e、必12-ス、 各IV- 2 -ウエ、 各IV- 5 -イ-ab、 各IV- 5 -ウ-ab
4	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 全部床義歯による治療	臨床操作 技工操作	印象採得、顎間関係の記録、個人トレーの製作、作業用模型の製作、咬合器装着・調節	①無歯顎患者の印象採得について説明できる。 ②無歯顎患者の咬合採得について説明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴治療第3版 p86-126 E- 3 -4) - (3) -⑥⑪ 必12-セ-cd、 各IV- 5 -イ-bc、 各IV- 6 -ウ-abc
5	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 全部床義歯による治療	臨床操作 技工操作	顎間関係の記録、咬合器装着・調節	①無歯顎患者の咬合採得（垂直的顎間関係）について説明できる。 ②無歯顎患者の咬合採得（水平的顎間関係）について説明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴治療第3版 p126-156,165-180 E- 3 -4) - (4) -⑥⑦⑧ 各IV- 5 -イ-c、 各IV- 7 -ウ-c
6	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 全部床義歯による治療	臨床操作 技工操作	顎間関係の記録、咬合器装着・調節、人工歯の選択・排列・削合	①無歯顎患者の咬合採得（垂直的顎間関係）について説明できる。 ②無歯顎患者の咬合採得（水平的顎間関係）について説明できる。 ③咬合器装着について説明できる。 ④顎路調節を説明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴治療第3版 p126-156,165-181 E- 3 -4) - (5) -⑥⑦⑧ 各IV- 5 -イ-c、 各IV- 8 -ウ-cd
7	西山雄一郎	(各論) 全部床義歯による治療	臨床操作 技工操作	人工歯の選択・排列・削合（咬合様式を含む） 咬合調整（削合）と仕上げ 装着 メンテナンス	①人工歯の選択・排列・削合を説明できる。 ②咬合調整（削合）と仕上げを説明できる。 ③装着を説明できる。 ④残存組織の変化と対応を説明できる。 ⑤補綴装置の破損と対応を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯補綴学 講義ノート15-17,25-27,29章 / 歯科国試パーフェクトマスター全部床義歯補綴学Chapter11-16 E- 3 -4) - (2) -⑨⑪⑫⑬⑭ 必12-ケ-e 総VII- 2 -ア-d 総VIII- 6 -アオカ 各IV- 5 -イ-e 各IV- 5 -ウ-cdefg

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
8	西山雄一郎	(各論) 特殊な装置 による治療	顎顔面補綴 装置 摂食嚥下補 助床 構音補助床	顎義歯 舌接触補助床 軟口蓋拳上装置 スピーチエイド	①顎義歯を説明できる。 ②舌接触補助床を説明 できる。 ③軟口蓋拳上装置を説 明できる。 ④スピーチエイドを説 明できる。 ⑤構音障害を説明でき る。	「予習・復習」無歯顎補綴治療顎 第3版p287-292 / 歯科国試バーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter19 E-2-4)-(11)-②③ E-3-4)-(2)-①②⑤ (特殊な装置) 総VI-1-イ-fg 各IV-1-アイウエオ 各IV-7-アウエ
9	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	ろう義歯の試適、 人工歯の選択・ 排列・削合、歯 肉形成	①ろう義歯試適について説明できる。 ②人工歯の選択・排列・削合について説明で きる。 ③歯肉形成について説 明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴治療顎第3版 p157-164,181-216 E-3-4)-(6)-⑨⑩ 各IV-5-イ-d、 各IV-9-ウ-de
10	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作 補綴装置に 対する指導 リコールと メインテナ ンス 治療効果の 評価	装着、埋没、重合、咬合調 整(削合)と仕上げ、 ホームケア、プロフェッ ショナルケア、 残存組織の変化 とその対応、咬 合の変化とその 対応、 機能低下とその 対応、補綴装置 の破損とその対 応	①全部床義歯の装着について説明できる。 ②全部床義歯の埋没、重合について節美で きる。 ③咬合調整・削合について説明できる。 ④全部床義歯の術後調整・管理について説 明できる。 ⑤金属床義歯の設計について説明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴治療顎第3版 p217-263 E-3-4)-(9)-⑫⑬⑭ 各IV-5-イ-cd、 各IV-11-ウ-cde、 各IV-8-イ、 各IV-8-ウ、 各IV-8-エ-abcde、 各IV-9-カ
11	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義1	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明でき る。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対 応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席 し、授業後は教科書・参考書などを用いて 補いながら、必ず学修内容を復習するこ と。
12	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義2	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明でき る。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対 応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席 し、授業後は教科書・参考書などを用いて 補いながら、必ず学修内容を復習するこ と。
13	櫻井敏継	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義3	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明でき る。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対 応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席 し、授業後は教科書・参考書などを用いて 補いながら、必ず学修内容を復習するこ と。
14	櫻井敏継	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義4	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明でき る。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対 応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席 し、授業後は教科書・参考書などを用いて 補いながら、必ず学修内容を復習するこ と。
15	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義5	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明でき る。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対 応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席 し、授業後は教科書・参考書などを用いて 補いながら、必ず学修内容を復習するこ と。
16	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義6	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明でき る。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対 応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席 し、授業後は教科書・参考書などを用いて 補いながら、必ず学修内容を復習するこ と。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
17	櫻井敏継	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義7	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
18	櫻井敏継	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義8	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
19	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義9	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
20	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義10	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。

指導教員：西山雄一郎，櫻井敏継

市川哲雄、大川周治、平井敏博、細井紀雄 編：無歯顎補綴治療学 第3版，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-45792-4

西山雄一郎 著：歯科国試パーフェクトマスター 全部床義歯補綴学，医歯薬出版，東京，2019，ISBN：978-4-263-45842-6

総合歯科医学 6（部分床義歯補綴学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	白井麻衣	7. 連結装置	A. 意義と役割 B. 設計の所要条件 C. 種類 D. 大連結子の種類	a. 大連結子 b. 小連結子 a. 上顎の大連結子 b. 下顎の大連結子	①連結装置の概念を説明する。 ②意義と役割を説明する。 ③設計の所要条件を列挙する。 ④種類と適応症を説明する。 ⑤大連結子を説明する。 ⑥小連結子を説明する	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート第2版8章 「復習」 E-3-4)-(2)④ 各論IV 4 アa,b
2	白井麻衣	8. 義歯床と人工歯	E. 義歯床 F. 人工歯		⑦義歯床の役割を説明する。 ⑧義歯床の要件を列挙する。 ⑨義歯床各部の名称を説明する。 ⑩義歯床の辺縁形態を説明する。 ⑪各種人工歯の特徴と適応を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート第2版9,10,11章 「復習」 E-3-4)-(2)④, ⑨ 各論IV 4 アa,b 各論IV 4 ウe
3	白井麻衣	II 部分無歯顎の補綴治療 1. 診察・検査と診断 2. 診察・検査と診断	A. 診察と検査 B. 治療計画を左右する因子	a. 欠損補綴の主要な診察・検査項目	①部分無歯顎の診察・検査項目を記述する。 ②機能検査を説明する。 ③治療計画を左右する因子を列挙する。 ④前処置の目的を述べる。 ⑤広義の前処置を列挙する。 ⑥粘膜調整の目的と方法を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート第2版12,13,14章 「復習」 E-3-4)-(2)⑪ 各論IV2ア～エ
4	白井麻衣	3.義歯の設計	A. 支台歯の保護 B. 支台歯間線の法則		①基本設計の考え方を説明する。 ②支台歯の保護について説明する。 ③支台歯間線について説明する	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート第2版15,16,17章 「復習」 E-3-4)-(2)⑤ 各論IV 4 アa
5	鈴木恭典	II 部分無歯顎の補綴治療 1. 支台歯の前処置 2. 印象採得	B. 治療計画を左右する因子 A.支台歯の前処置 A. 印象の種類 B. 印象の目的 C. 部分床義歯の印象法 D. 印象用トレー E. 模型	a. 欠損補綴の主要な診察 a. ガイドプレーンの形成 b. レストシートの形成 c. 歯冠形態修正 a. 被圧変位性 a. オルタードキャストテクニック a. 既製トレー b. 個人トレー	①支台歯の前処置を説明する。 ①各種印象の名称と意義を説明する。 ②部分床義歯印象の特殊性を説明する。 ③部分床義歯の各種印象法を説明する。 ④既製トレーの具備条件を説明する。 ⑤個人トレーの目的と製法を説明する。 ⑥オルタードキャストテクニックについて説明する。 ⑦模型の種類と製法を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート19,20章 「復習」 E-3-4)-(2)⑤⑥ 各論IV 4 イabウab
6	鈴木恭典	3. 顎間関係の記録（咬合採得） 4. 設計	A. 定義 B. 咬合床 C. 歯列、対向関係による咬合採得の種類 D. 咬合器装着 A. 設計	a. 基礎床 b. 咬合堤 a. リジッドサポート b. 連結強度	①咬合床の役割を列挙する。 ②歯列、対向関係による咬合採得の種類を説明する。 ③咬合採得の注意点を説明する。 ④咬合採得で生じやすいエラーを説明する。 ①リジッドサポートを説明する。 ②連結強度を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート18,21章 「復習」 E-3-4)-(2)④⑤⑥⑦⑧ 各論IV 4 アaイcウc
7	鈴木恭典	5. サベイング 6. 製作	A. サベイヤーの構造と用具 B. サベイングに関連する用語 C. サベイングの必要な事項 A. レジン床義歯の製作 B. 金属床義歯の製作 C. 試適 D. 埋没と重合	a. サベイヤー a. サベイング a. 金属床義歯の構造 b. フレームワークの製作 c. 金属材料 a. 人工歯排列試適 b. フレームワークの試適	①サベイングに関連する用語を説明する。 ②サベイングの必要な事項を列挙する。 ①金属床義歯の構造を具体的に述べる。 ②金属床義歯各部の名称と目的を説明する。 ③フレームワークの製法を説明する。 ④金属床義歯に用いる金属の種類と特徴を説明する。 ⑤蠟義歯試適時の確認事項を説明する。 ⑥フレームワーク試適時の確認事項を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章 「復習」 E-3-4)-(2)⑨⑩⑪⑫⑬ 各論IV 4 イdウdef

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
8	鈴木恭典	7. 装着	E. 義歯の装着 F. 装着時の指導とホームケア	a. 装着の手順 b. 部分床義歯に与える咬合 c. 不適合の原因 a. デンチャーブラーク a. 義歯装着後の不快事項 b. 適合性検査 a. 長期経過後の変化 b. 粘膜の病的変化 c. 定期検診	①義歯装着の手順を説明する。 ②部分床義歯に与える咬合を説明する。 ③装着時の指導内容を説明する。 ④デンチャーブラークについて説明する。 ⑤義歯装着後に起こりやすい不快事項とその対応を説明する。 ⑥適合性検査について説明する。 ⑦長期経過後に起こる変化を説明する。 ⑧粘膜の病的変化を説明する。 ⑨定期検診の重要性を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 27,28章 「復習」 E-3-4)-(2)⑤⑩ 各論Ⅳ4 いewg
9	鈴木恭典	8. 装着後の管理		a. 義歯修理の種類と方法 b. リベース c. リライン	①義歯破折の原因を列挙する。 ②義歯修理の方法を具体的に述べる。 ③リベースとリラインを説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 29,30,31章 「復習」 E-3-4)-(2)⑬⑭ 各論Ⅳ8 イ～oabcde
10	鈴木恭典	9. 特殊な義歯	A. 即時義歯 B. 治療用義歯 C. オーバーデンチャー D. インプラントデンチャー		①即時義歯について説明する。 ②治療用義歯について説明する。 ③オーバーデンチャーについて説明する。 ④インプラントオーバーデンチャーの特徴、適応症を説明する。 ⑤埋入計画、義歯の設計を説明する。 ⑥インプラントオーバーデンチャーの併発症を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 4,32,33章 「復習」 E-3-4)-(2)②③ E-3-4)-(3)①⑥⑦ 各論Ⅳ4 アa6 ウc8 オf
11	鈴木恭典	総合学習	部分床義歯の臨床手順	演習講義1	部分床義歯に関する治療の手順を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
12	鈴木恭典	総合学習	部分床義歯の臨床手順	演習講義1	部分床義歯に関する治療の手順を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
13	白井麻衣	総合学習	義歯の設計・支台歯の保護・支台歯間線の法則	演習講義2	基本的な設計の考え方を説明できる。支台歯の保護・支台歯間線について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
14	白井麻衣	総合学習	義歯の設計・支台歯の保護・支台歯間線の法則	演習講義2	基本的な設計の考え方を説明できる。支台歯の保護・支台歯間線について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
15	鈴木恭典	総合学習	部分床義歯の術後管理	演習講義3	部分床義歯の術後における疼痛の原因、対策を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
16	鈴木恭典	総合学習	部分床義歯の術後管理	演習講義3	部分床義歯の術後における疼痛の原因、対策を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
17	白井麻衣	総合学習	必修・一般問題対策①	演習講義4	全般的な範囲において、基本的な内容を理解している。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
18	白井麻衣	総合学習	必修・一般問題対策①, ②	演習講義4	全般的な範囲において、基本的な内容を理解している。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
19	白井麻衣	総合学習	必修・一般問題対策②, ③	演習講義5	全般的な範囲において、基本的な内容を理解している。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
20	白井麻衣	総合学習	必修・一般問題対策③	演習講義5	全般的な範囲において、基本的な内容を理解している。補綴学に関する基本的な英単語を理解している。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員： 白井麻衣 鈴木恭典

参考書： 部分床義歯補綴学講義ノート

有床義歯補綴学

スタンダードパーシャルデンチャー

パーシャルデンチャーテクニック

総合歯科医学 6 (クラウンブリッジ補綴学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	重田優子	必修 治療の基礎・基本 手技	歯科材料・機械	接着用材料、接着 処理	D-2 歯科材料の種類、用途、 成分・組成、特製、操作法 ③接着・合着・仮着材の種類、 用途、成分・組成、特製、操作 法を説明で きる。	「予習」 Answer2026 P299-331, P332-336, P484- 515 「復習」 Answer2026 P299-331, P332-336, P484- 515 必修12セh 各論IV3イhi D-2-③ E-3-4)-(1)-⑪⑫⑬
2	重田優子	各論 クラウンブリッジに よる 治療	臨床操作	支台築造 支台歯形成	E-3-4)-(1) クラウンブリッジに よる治療 ③支台築造の意義、種類及び 特徴を説明できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジに よる治療 ④支台歯形成の意義、種類と 方法を説明できる。	「予習」 Answer2026 P158-191 「復習」 Answer2026 P158-191 各論IV3イc E-3-4)-(1)-③ 「予習」 Answer2026 P142-157, P192-213 「復習」 Answer2026 P142-157, P192-213 各論IV3イa,b E-3-4)-(1)③④
3	重田優子	必修 治療の基礎・基本 手技 各論 クラウンブリッジに よる 治療	歯科材料・機械 臨床操作	印象用材料 印象採得 顎間関係の記録	D-2 歯科材料の種類、用途、 成分・組成、特製、操作法 ②歯冠修復・義歯用材料の種 類、用途、成分・組成、特製、 操作法を説明 できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジに よる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のため の印象採得・咬合採得に用い る材料と方法 を説明できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジに よる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のため の印象採得・咬合採得に用い る材料と方法 を説明できる。	「予習」 Answer2026 P214-235, P271-286 「復習」 Answer2026 P214-235, P271-286 必修12セc 各論IV3イde D-2-② E-3-4)-(1)⑤⑦ 「予習」 Answer2026 P236-270 「復習」 Answer2026 P246-270 各論IV 3イfg E-3-4)-(1)-⑤⑩

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
4 5 6	重田優子	必修 治療の基礎・基本 手技 各論 クラウンブリッジに よる 治療	歯科材料・機械 技工操作 臨床操作	基本的性質 診療用機器、切 削・研削 工具、研磨剤 模型用材料、ワッ クス 歯冠修復・義歯用 材料 ロストワックス法に よる 製作 陶材焼付冠 CAD/CAMによる 製作 口腔内試適 装着	D-2 歯科材料の種類、用途、 成分・組成、特製、操作法 ②歯冠修復・義歯用材料の種 類、用途、成分・組成、特製、 操作法を説明 できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジに よる治療 ②クラウンブリッジの種類、特 徴、及び製作法(CAD/CAMを 含む)を説明で きる。 ⑥色調選択(シェードテイキン グ)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必 要な材料の基本的操作を説 明できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジに よる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法 を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理 の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメ インテナンスの重要性を説明 できる。	「予習」 Answer2026 P363-372 「復習」 Answer2026 P363-372 必修12セabdf 各論IV3ウa D-2-② E-3-4)-(1)-②⑥⑧ 「予習」 Answer2026 P299-331, P332-336, P484- 515 「復習」 Answer2026 P299-331, P332-336, P484- 515 必修12セh 各論IV3イhi D-2-③ E-3-4)-(1)-⑪⑫⑬ 「予習」 Answer2026 P287-298 「復習」 Answer2026 P287-298 各論IV 3ウab E-3-4)-(1)-②⑧⑨ 「予習」 Answer2026 P94-129 「復習」 Answer2026 P94-129 各論IV 3ウb E-3-4)-(1)-②⑧
7	重田優子	各論 クラウンブリッ ジによる 治療	クラウンブリッ ジの設計		①支台歯数と欠損歯数の関 係を説明できる。 ②ブリッジの連結法を説明 できる。	「予習」 Answer2026 P373-411, P339-362, P412- 435, P466-483, P80-93, P436-483 「復習」 Answer2026 P373-411, P339-362, P412- 435, P466-483, P80-93, P436-483 各論IV3ア
8	重田優子	各論 特殊な装置によ る治療	オーラルアプラ イアンス		E-2-4)-(12) 口腔・学顔面頷 域の機能障害 ⑥睡眠時無呼吸の原因、診 察、検査、診断及び治療方 針を概説できる。	「予習」 Answer2026 P36-79 「復習」 Answer2026 P36-79 各論IV 7イ E-2-4)-(11)-⑥
9 10	重田優子	各論 病態	睡眠時無呼吸		E-2-4)-(11) 口腔・学顔面頷 域の機能障害 ⑥睡眠時無呼吸の原因、診 察、検査、診断及び治療方 針を概説できる。	「予習」 Answer2026 P64-79 「復習」 Answer2026 P64-79 各論IV 1ク E-2-4)-(11)-⑥

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
11 12	重田優子	総合学習①	クラウンブリッジ治療の流れ	臨床手順 技工手順	クラウンブリッジ治療の臨床手順を説明できる。それ その臨床ステップにおいて使用する器材を説明・選択できる。クラウンブリッジ製作の技工過程を説明できる。それぞれの技工ステップにおいて使用する器材を説明・選択できる。それぞれの操作に関連する国家試験の過去問を抽出し、説明することができる。	左記の学習目標を達成できるよう、教科書や1期授業資料を復習しておくこと。授業後には、授業内の問題演習を通して学習した思考過程や資料の活用法を実践し習得する。
13 14	重田優子	総合学習②	クラウンブリッジ治療の流れ	臨床手順 技工手順	教科書や国家試験の過去問の写真を使用し、その写真の操作と、前後の操作を、臨床・技工の流れに沿って説明できる。上記が複数通り考えられる場合には、その特徴や違いを含め、比較・説明できる。	左記の学習目標を達成できるよう、教科書や1期授業資料を復習しておくこと。授業後には、授業内の問題演習を通して学習した思考過程や資料の活用法を実践し習得する。
15 16 17 18 19 20	重田優子	総合学習③④⑤	クラウンブリッジ治療	・補綴装置の種類 ・補綴装置の特徴と製作法 ・臨床および技工に用いる材料・器具 ・臨床・技工手順等	模式図、表、写真等を用いたさまざまな形式の練習問題を通し、左記のクラウンブリッジ治療に関する知識の確認とともに、解法のポイントを習得する。	左記の学習目標を達成できるよう、教科書や1・2期授業資料を復習しておくこと。授業後には、授業内の問題演習を通して学習した思考過程や資料の活用法を実践し習得する。

指導教員： 重田優子 重本修伺

参考書： クラウンブリッジ補綴学 第6版 第7版

ISBN： 978-4-263-45856-3 978-4-263-45702-3

総合歯科医学 6（口腔顎顔面外科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	石塚忠利	嚢胞	顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療	a 歯源性嚢胞 b 非歯源性嚢胞	顎口腔領域の嚢胞の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(5)①、② 各論Ⅲ2a、b
2	石塚忠利	嚢胞	顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療	a 歯源性嚢胞 b 非歯源性嚢胞	顎口腔領域の嚢胞の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(5)①、② 各論Ⅲ2a、b
3	長谷部充彦	外傷	口腔軟組織の損傷、顔面軟組織の損傷の病態・診断・治療	a 口腔軟組織の損傷 b 顔面軟組織の損傷	顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-3)④、⑤ E-2-1)②～⑥ E-2-4)(2)①、② 各論Ⅲ14a、b
4	長谷部充彦	外傷	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療	a 歯の亀裂・破折・脱臼 b 歯槽骨骨折 c 下顎骨骨折 d 上顎骨骨折 e 頬骨・頬骨弓骨折 f 鼻骨骨折	顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-3)④、⑤ E-2-1)②～⑥ E-2-4)(2)①、② 各論Ⅲ27a-f
5	長谷部充彦	良性腫瘍	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	a 歯源性良性腫瘍 b 非歯源性良性腫瘍 c 上皮異形成 d 腫瘍類似疾患 エプーリス、義歯性線維腫、薬物性歯肉増殖症など	各種良性腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断および治療について理解できる。 良性腫瘍の概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6)①～⑥ E-2-1)①～⑦ E-2-4)-(6)③～⑥ E-2-4)-(10)④ 各論Ⅲ1a、b
6	長谷部充彦	良性腫瘍	顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯源性良性腫瘍 b 歯源性悪性腫瘍 c 非歯源性良性腫瘍 d 非歯源性悪性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維骨性病変 g 巨細胞性病変	良性・悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6)①～⑥ E-2-1)①～⑦ E-2-4)-(6)③～⑥ E-2-4)-(10)④ 各論Ⅲ24a-g
7	中岡一敏	顎変形症	顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断	a 顎変形症 b 下顎頭欠損 c 顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	顎変形症の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(1)①、③ 各論Ⅲ27a-c
8	中岡一敏	顎変形症	顎顔面骨の変形に対する治療	a 顎矯正手術 b 骨延長術 c 顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群		授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(1)①、③ 各論Ⅲ27a-c
9	中岡一敏	顎関節疾患	顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起發育不全 b 下顎頭肥大 c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 e 非感染性顎関節炎 f 感染性顎関節炎 g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎> h 痛風性顎関節炎 i 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	顎関節疾患の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)-(7)①、② 各論Ⅲ30a-l

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
10	中岡一敏	顎関節疾患	顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全 b 下顎頭肥大 c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 e 非感染性顎関節炎 f 感染性顎関節炎 g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎> h 痛風性顎関節炎 i 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	顎関節疾患の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)-(7)①、② 各論Ⅲ3ウa-l
11	佐藤光一郎	演習	手術の基本 先天異常	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
12	佐藤光一郎	演習	嚢胞	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
	江口貴紀	演習	悪性腫瘍	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
14	江口貴紀	演習	悪性腫瘍、がん患者の管理	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
15	中岡一敏	演習	顎変形症	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
16	中岡一敏	演習	顎関節症	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
17	長谷部充彦	演習	外傷	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
18	長谷部充彦	演習	良性腫瘍	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
19	川口浩司	演習	悪性腫瘍	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥
20	川口浩司	演習	悪性腫瘍	1A 口腔・顎顔面領域の疾患	1Aa口腔・顎顔面領域の疾患についての病態(臨床・画像所見ならびに病理学的特徴)、治療法、予後について説明できる。	講義内容の理解と定着を図るため、教科書を参照して予習、復習を行うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(2)①、② E-2-4)(5)①、② E-2-4)(6)①～⑥ E-2-4)(7)①、② E-2-4)(10)④～⑥ C-5-3)④、⑤ C-5-6)①～⑥

指導教員：石塚忠利、長谷部充彦、中岡一敏

参考書：「最新 口腔外科学 第5版」 榎本昭二 道 健一 医歯薬出版

ISBN：978-4-263-45806-8

総合歯科医学 6 (口腔内科)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	舘原誠晃	総論 唾液腺疾患	ア 唾液腺疾患の概念 イ 唾液腺疾患の症候 ウ 唾液腺疾患の診察・検査 エ 唾液腺の機能障害	a 唾液腺解剖 b 唾液腺機能 c 唾液腺の症候 d 唾液腺の診察・検査	a 唾液腺の解剖および機能について説明できる。 b1 唾液腺機能障害により生じる口腔疾患を説明できる。 b2 唾液腺機能障害を引き起こす原因を説明できる。 c 唾液腺症候について説明できる。 d 唾液腺の診察法および各種検査法を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: E-2-2)-(6) E-2-4)-(8)-①~⑦ E-2-4)-(11)-⑤ F-2-2)-(9) 国試出題基準: 必-6-イ-n 必-7-イ-l 必-8-オ-e 必-9-オ-e 総IV-2-ク 総VI-1-イ-d
2	舘原誠晃	各論 唾液腺疾患	ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a 発育異常 b 異所性唾液腺 c 唾液腺損傷 d 唾液腺炎、唾液管炎 e Sjögren症候群 f 粘液嚢胞 g 良性腫瘍 h 悪性腫瘍 i 唾液腺腫瘍類似疾患 j IgG4関連疾患 k 唾石症 l 口腔乾燥症 m 流涎症	a 発育異常を説明できる。 b 異所性唾液腺を説明できる。 c 唾液瘻、Frey症候群、唾液腺疾患での外来異物を説明できる。 d ウイルス性を含む唾液腺炎、唾液管炎を説明できる。 e Sjögren症候群を説明できる。 f 粘液嚢、ラヌーラ、Blandin-Nuhn(腺)嚢胞(前舌腺嚢胞)を説明できる。 g 唾液腺良性腫瘍の分類、特徴を理解し、診断法と治療法を説明できる。 h 唾液腺悪性腫瘍の分類と特徴を理解し、診断法と治療法を説明できる。 i 唾液腺の腫瘍類似疾患の診断と治療法を説明できる。 j IgG4関連疾患を説明できる。 k 唾石症の症状と治療法を説明できる。 l 放射線や薬物による口腔乾燥症を説明できる。 m 流涎症の原因とその対処法を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: E-2-4)-(6)-①~④ E-2-4)-(8)-①~⑦ E-2-4)-(11)-⑤ F-2-2)-(9) 国試出題基準: 各Ⅲ-1-エ-e 各Ⅲ-1-オ-d 各Ⅲ-1-オ-d 各Ⅲ-1-ク-q 各Ⅲ-3-ア-a~m 各Ⅲ-4-オ-d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
3	舘原誠晃	総論 炎症・感染・菌性感染症 治療の基礎	総論 ア 炎症疾患の病因・病態 イ 全身に及ぼす影響 ウ 炎症の診察・検査 エ 菌性感染症の治療法 ア 感染対策	a 炎症による症候 b 診断に必要な検査 c 菌性感染症の治療法 抗炎症薬 抗微生物薬 穿刺 切開 ドレナージ a 標準予防策 b 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性	a 炎症による全身および局所所見を生化学的な観点から説明できる。 b 炎症を診断する上で必要な血液学的検査、免疫血清学検査(炎症マーカー)、微生物学検査について説明できる。 c 炎症の診断法および各治療法について説明できる。 a 標準予防策を説明できる。 b 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-4-1) -②,③,⑤ C-5-5) -①~④ C-6-4)①,② E-1-3)-①,②,⑤ E-2-4)-(3)-①~⑦ E-2-4)-(10)-② F-1-2)-①~④ 国試出題基準: 必-6-イ-j 必-11-エ-d 総VII-8-ウ-b,c
4	舘原誠晃	炎症各論 軟組織に関連する炎症疾患の病態・診断・治療	ア 軟組織の炎症の病態・診断・治療	a 歯冠周囲炎(智歯周囲炎) b 口腔軟組織の炎症 c 所属リンパ節の炎症 d 歯性上顎洞炎 e 歯性全身感染症 f 肉芽腫性炎	a 歯冠周囲炎(智歯周囲炎)の病態、治療法を説明できる。 b 歯肉膿瘍、歯槽膿瘍、骨膜下膿瘍、蜂窩織炎、組織隙の炎症、歯性扁桃周囲炎、放線菌症、壊死性筋膜炎の病態、検査所見、治療法を説明できる。 c 所属リンパ節の炎症を説明できる。 d 歯性上顎洞炎を説明できる。 e 菌血症、敗血症、歯性病巣感染、全身性炎症反応症候群(SIRS)、感染性心内膜炎を説明できる。 f 口腔結核、口腔梅毒、Hansen病、サルコイドーシスを説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-5-5) -①~④ C-6-4)①,② E-1-3)-①,②,⑤ E-2-4)-(3)-①~⑦ E-2-4)-(10)-② 国試出題基準: 必-6-イ-j 必-7-ウ-f 各III-1-ウ a~f

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
5	舘原誠晃	炎症各論 硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 全身に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 イ 口腔症状を呈する細菌感染症	ア 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 イ 口腔症状を呈する細菌感染症	a 歯肉膿瘍、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、骨膜下膿瘍、顎骨周囲炎、顎骨骨髓炎、放射性骨壊死、薬剤関連顎骨壊死・壊疽・骨髓炎の病態と治療法を説明できる。 b 外歯瘻、内歯瘻の病態、治療法を説明できる。 a 梅毒(粘膜斑、潰瘍など)の病態、検査項目、口腔内症状を説明できる。 b 破傷風(開口障害)の病態、治療法を説明できる。 c 結核の病態、検査項目、口腔内症状を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-4-1)-(2),(3),(5) C-5-5)-(1)~(4) C-6-4)①,② E-1-3)-(1),(2),(5) E-2-4)-(3)-(1)~(7) E-2-4)-(10)-(2) 国試出題基準: 必-7-エ 各Ⅲ-2-エ-a~h 各Ⅲ-4-ウ-a~c
6	舘原誠晃	総論 血液疾患 各論 赤血球系疾患	ア血液総論 イ 血液疾患に関連する口腔顎顔面領域の症候 ウ赤血球系疾患	a 血液総論 b 血液の検査 a 貧血に伴う症候 b 出血性素因に伴う症候 c 急性白血病に伴う症候 a 貧血 b 赤血球増多症 c 悪性貧血	a 血液について説明する。 b 血液疾患を診断する上での検査項目を説明できる。 a 貧血に関連する平滑舌・舌炎などを説明できる。 b 出血性素因に伴う歯肉出血、抜歯後出血などを説明できる。 c 急性白血病による歯肉出血の機序を説明できる。 a 鉄欠乏性貧血(※Plummer-Vinson症候)、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血などの病態、検査所見、診断法とその口腔症状を説明できる。 b 赤血球増多症を説明できる。 c 悪性貧血の発症機序、症状等を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-3-4)-(4)-(4)~(7) C-5-4)-(2),(3) E-2-4)-10-①, ⑩ 国試出題基準: 必-7-ウ-a~c 総Ⅳ-1-オ 総Ⅳ-6-ア-d 各Ⅲ-4-オ-f 各Ⅲ-4-ク-a~b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	館原誠晃	各論 白血球系疾患 出血性素因 血液疾患患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	ア 白血球系疾患 イ 出血性素因 ウ 口腔症状を呈するアレルギー疾患・免疫異常 エ 口腔症状を呈する自己免疫疾患 オ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	a 白血病 b 無顆粒球症 c 悪性リンパ腫 d 多発性骨髄腫 a Osler病 b IgA血管炎(アレルギー性紫斑病) c ITP d 血小板無力症 e 血友病A・B f DIC g くる病 h 壊血病 a 血液疾患、出血性素因を有する患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	a-d 白血病、無顆粒球症(※発熱性好中球減少症)、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の病態、血液所見について説明できる。 a-h各疾患の病態、血液所見を説明できる。 a 抗凝血薬と抗血小板薬の相違を理解できる。出血性素因患者や抗血栓薬服用者の歯科治療(特に観血的処置)の注意点を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-3-4)-(4)-(④)~⑦ C-5-4)-(②,③ E-2-4)-(10)-(①, ⑩ 国試出題基準: 各Ⅲ-4-エ-b 各Ⅲ-4-オ-e,f 各Ⅲ-4-キ-a,b 各Ⅲ-4-ケ-a~d 各Ⅲ-4-コ-a~f 各Ⅲ-4-サ
8	館原誠晃	総論 粘膜疾患	ア 口腔粘膜疾患の概念 イ 口腔粘膜の症候 ウ 口腔粘膜疾患の診察 エ 口腔粘膜疾患の検査 オ 全身の疾患に関連する口腔粘膜疾患の症候	a 口腔粘膜の症候 b 舌の症候 c 舌・口腔粘膜診察・検査 d アレルギー検査(プリックテスト、皮内テスト、針反応テスト、パッチテスト) e 後天性免疫不全症候群(AIDS)に伴う症候 f ウイルス感染に伴う症候 g 免疫・アレルギー疾患	a,b 粘膜の解剖および粘膜疾患の症候を説明できる。 c 粘膜疾患の診察法を説明できる。 d 各種皮膚アレルギー検査の種類、その特徴を説明できる。 e AIDSに関連する疾患について機序および病態を説明できる。[カンジダ症、歯周疾患、毛状様白板症など] f 全身に感染するウイルス感染による口腔内症状を説明できる。 g 関節リウマチ、アナフィラキシー、金属アレルギー、全身性エリテマトーデス(SLE)、移植片対宿主病(GVHD)、IgA血管炎(アレルギー性紫斑病)により生じる皮膚・粘膜の症候を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-4-2)-(⑤, ⑥, ⑦ E-2-4)-(4)-(①, ② E-2-4)-(10)-(②,③,⑦,⑧, ⑩ 国試出題基準: 必-6-イ-m,p 必-7-イ-f,g 必-7-ウ-d~i 必-7-エ-a 必-8-オ-a~c 総Ⅳ-1-イ 総Ⅳ-2-エ 総Ⅴ-6-ア-k 総Ⅳ-1-ア-d 各Ⅲ-4-イ-a 各Ⅲ-4-エ-a,d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
9	館原誠晃	各論 粘膜疾患	ア ウイルス感染による疾患 イ 口腔症状を呈する自己免疫疾患	a 単純疱疹 b 水痘・带状疱疹 c 手足口病 d ヘルパンギーナ e 麻疹 f 天疱瘡、類天疱瘡 g 全身性エリテマトーデス(SLE) h 関節リウマチ	a-e 単純疱疹(疱疹性歯肉口内炎、口唇ヘルペスを含む。)、水痘・带状疱疹、手足口病、ヘルパンギーナ、麻疹(Koplik 斑)の原因ウイルス、病態、検査項目、治療法を説明できる。 f 天疱瘡および類天疱瘡の病態と治療法を説明できる。 g SLEを説明できる。 h 関節リウマチに関連する口腔領域の疾患を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-4-2)-⑤,⑥ E-2-4)-(4)-①,② E-2-4)-(10)-③ 国試出題基準: 各I-3-ウ-a~e 各III-1-ク-a,b,e 各III-4-イ-a~g 各III-4-オ-b
10	館原誠晃	各論 粘膜疾患	薬物に関連する口腔粘膜疾患	a 多形滲出性紅斑 b 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) c 中毒性表皮剥離壊死症(TEN) d 薬物性口内炎(抗腫瘍薬による口腔粘膜炎) e 菌交代症に伴う症候	a-c 多形滲出性紅斑、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮剥離壊死症(TEN)の病態、治療法を説明できる。 d 薬物に関連して発症する口内炎の機序を説明できる。 e 菌交代症の発症の原理を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-4-2)-⑤,⑥ E-2-4)-(4)-①,② E-2-4)-(10)-③,⑤,⑦ 国試出題基準: 必-7-エ-a,c 各I-3-ウ-a~e 各III-1-ク-c,d
11	館原誠晃	各論 粘膜疾患	ア口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 イ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	f アフタ性口内炎(慢性再発性アフタ) g Behçet病 h 壊死性潰瘍性歯肉口内炎、壊疽性口内炎 i 口腔扁平苔癬 j 口腔カンジダ症 k 白板症 l 紅板症 m 白色海綿状母斑 n 色素沈着 o 色素性母斑 p von Recklinghausen病(神経線維腫症I型) q 口腔潜在的悪性疾患	f-m,o 各疾患の病態、診断法、治療法を説明できる。 n, p 色素沈着(メラニン色素沈着症、Peutz-Jeghers症候群、Addison病、von Recklinghausen病を含む)を説明できる。 o 色素性母斑を説明できる。 q 上皮性異形成<上皮異形成>、口腔潜在的悪性疾患を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-4-2)-⑤,⑥ E-2-4)-(4)-①,② E-2-4)-(6)-⑤, ⑥ E-2-4)-(10)-②,③,⑤,⑦,⑧,⑩ 国試出題基準: 各III-1-オ-j 各III-4-ク-f~p

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
12	舘原誠晃	各論 粘膜疾患	各論 粘膜疾患	q 口腔乾燥症 r 貧血に伴う舌炎 s 溝(状)舌 t 毛舌 u 地図状舌 v 正中菱形舌炎 w 肉芽腫性口唇炎 x 口角炎、口角びらん y 褥瘡性潰瘍 z その他 a 金属アレルギー b IgA血管炎(アレルギー性紫斑病) c Quincke浮腫 d 移植片対宿主病(GVHD)	q 口腔乾燥症に伴う口腔粘膜の状態を説明できる。 r 貧血に伴う口腔粘膜症状を説明できる。(鉄欠乏性貧血、Plummer-Vinson症候群、Hunter舌炎を含む) s-v,x,y 各疾患の病態、診断法、治療法を説明できる。 w 肉芽腫性口唇炎を説明できる。(Melkersson-rosenthal症候群含む) z Fordyce斑、舌扁桃を説明できる。 a-d 各疾患に関連する口腔粘膜疾患を理解し、診断、治療法を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-4-2)-⑤,⑥ E-2-4)-(4)-①,② E-2-4)-(10)-②, ③,⑤, ⑦,⑩ 国試出題基準: 各Ⅲ-4-ク-q~z 各Ⅲ-4-エ-a~e 各Ⅲ-5-イ-c
13	舘原誠晃	総合医学総論	ア 全身の症候 イ 一般的症候	発熱 全身倦怠感 体重減少・増加 ショック 意識障害 失神 脱水 浮腫 けいれん めまい 不整脈 血圧上昇・低下 黄疸 呼吸困難 チアノーゼ 頭痛 動悸 息切れ 胸痛 嘔吐 下痢	各全身の症候および一般的症候を説明できる。	シラバスを参照し、講義内容に関わる範囲を参考書とManaba掲載資料をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習し、ポストテストでの誤答箇所は必ず確認する。 コアカリ E-6-① 国家試験出題基準 必7-ア-a 総Ⅳ-1-ア

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
14	館原誠晃	各論 総合医学	ア 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候 イ 口腔症状を呈する内分泌障害、代謝障害 ウ 口腔症状を呈する栄養障害 エ 周術期の管理	a 糖尿病に伴う症候(口腔乾燥、歯周疾患など) a 先端巨人症<下垂体性巨人症> b 成長ホルモン分泌不全性低身長<下垂体性小人症> c 甲状腺機能亢進症 d 甲状腺機能低下症 e 副甲状腺機能亢進症 f 副甲状腺機能機能低下症 g 副腎皮質機能亢進症 h 副腎皮質機能低下症 a くる病 b 壊血病 a 口腔の評価、口腔機能管理	a 糖尿病に伴う口腔疾患を説明できる。 a,b 下垂体ホルモンに関連する疾患を説明できる。 c 甲状腺機能亢進症(Basedow病<Graves病>)を説明できる。 d 甲状腺機能低下症、粘液水腫、クレチン病、慢性甲状腺炎<橋本病>を説明できる。 e,f 副甲状腺の機能亢進・低下により発症する疾患の症状を説明できる。 g Cushing病、Cushing症候群を説明できる。 h Addison病の口腔粘膜疾患の状態を説明できる。 a くる病、壊血病の発症のメカニズムと症状を説明できる。 a 周術期における口腔機能管理の必要性、管理方法を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: C-3-4)-(9)-① E-2-4)-(10)-⑤, ⑧ E-6-② 国試出題基準: 必-7-ウ-h 総VII-4-イ-a 各III-4-カ-a~h,k 各III-4-キ-a,b
15 ・ 16	館原誠晃	総合学習	a 各疾患(神経疾患、唾液腺疾患、炎症、菌性感染症、血液疾患、口腔粘膜疾患)の病態・検査・診断・治療 b 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	演習講義	a 各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。 b 全身疾患に関連する口腔内症状、その対応について説明できる。	第I期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたいうえで講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。
17 ・ 18	館原誠晃	総合学習	a 各疾患(神経疾患、唾液腺疾患、炎症、菌性感染症、血液疾患、口腔粘膜疾患)の病態・検査・診断・治療 b 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	演習講義	a 各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。 b 全身疾患に関連する口腔内症状、その対応について説明できる。	第I期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたいうえで講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
19 ・ 20	舘原誠晃	総合学習	a 各疾患(神経疾患、唾液腺疾患、炎症、歯性感染症、血液疾患、口腔粘膜疾患)の病態・検査・診断・治療 b 全身的疾患に関連する 口腔・顎顔面領域の症候	演習講義	a 各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。 b 全身疾患に関連する口腔内症状、その対応について説明できる。	第1期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたいうえで講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。
21 ・ 22	舘原誠晃	総合学習	a 各疾患(神経疾患、唾液腺疾患、炎症、歯性感染症、血液疾患、口腔粘膜疾患)の病態・検査・診断・治療 b 全身的疾患に関連する 口腔・顎顔面領域の症候	演習講義	a 各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。 b 全身疾患に関連する口腔内症状、その対応について説明できる。	第1期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたいうえで講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。
23 ・ 24	舘原誠晃	総合学習	a 各疾患(神経疾患、唾液腺疾患、炎症、歯性感染症、血液疾患、口腔粘膜疾患)の病態・検査・診断・治療 b 全身的疾患に関連する 口腔・顎顔面領域の症候	演習講義	a 各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。 b 全身疾患に関連する口腔内症状、その対応について説明できる。	第1期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたいうえで講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。

指導教員： 舘原誠晃

参考書： 「最新口腔外科学」第5版 榎本昭二/道健一/天笠光雄/小村 健 医歯薬出版株式会社
ISBN： 978-4-263-45806-8

参考書： 「口腔内科学」第3版 山根源之/草間 幹夫/久保田朗 編 永末書店 集主幹
ISBN： 978-4-8160-1304-1

総合歯科医学 6（歯科麻酔学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅰ	吸入麻酔 静脈麻酔 筋弛緩薬	①吸入麻酔・薬を説明する ②静脈麻酔・薬を説明する ③筋弛緩薬を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ4ウb E-1-4)-(4)①-③
2	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅱ	全身麻酔に用いる器具 生体監視モニタ 全身麻酔困難症例	①全身麻酔に用いる器具を説明する ②生体監視モニタの基本を説明する ③全身麻酔が困難な症例について説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ4ウb E-1-4)-(4)①-③
3	阿部佳子	精神鎮静法	精神鎮静法	概念 適応と禁忌 亜酸化窒素吸入鎮静法 静脈内鎮静法	①精神鎮静法の概念を説明する ②精神鎮静法の適応と禁忌を説明する ③亜酸化窒素吸入鎮静法を説明する ④静脈内鎮静法を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カc 総Ⅷ4ウd E-1-4)-(2)①-④
4	阿部佳子	局所麻酔	局所麻酔	局所麻酔の目的と作用機序 各種局所麻酔薬 血管収縮薬 局所麻酔法 局所的偶発症	①局所麻酔の目的と作用機序を説明する ②局所麻酔薬の種類を挙げその特徴を説明する ③血管収縮薬を添加する目的を説明する ④局所麻酔法の種類と実施法を説明する ⑤局所麻酔に伴う局所的偶発症を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カa 総Ⅷ4ウa E-1-4)-(3)①-⑤
5	鈴木將之	救命救急	救命救急	一次救命処置（BLS） 二次救命処置（ACLS）	①救急処置の基本を説明する。 ②BLSの手順を説明する。 ③BLSの有用性を説明する。 ④ACLSの有用性を説明する。	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必11アイ 総Ⅶ3ア-ウ E-1-6)①-③
6	阿部佳子	ペインクリニック	ペインクリニック	顎顔面領域の疼痛性疾患 顎顔面領域の麻痺性疾患	①顎顔面領域の疼痛性疾患の種類、病態と診断、その処置について説明する ②顎顔面領域の麻痺性疾患の種類、病態と診断、その処置について説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 総Ⅲ1ケa-d 各Ⅲ3イa-j E-2-4)-(9)①-④
7	阿部佳子	心電図	心電図	心電図の基礎 モニター心電図 12誘導心電図 心電図不整脈読影	①心電図の基礎・誘導を説明できる ②モニター心電図が読影できる ③12誘導心電図を説明できる ④モニター心電図の不整脈を読影し、対応を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必10エa 総Ⅵ4アb C-3-4)-(4)① E-1-3)①③⑤
8	阿部佳子	全身的偶発症	全身的偶発症Ⅰ	歯科治療でみられる全身的偶発症	①全身的偶発症の種類・発症機序・処置を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必8ア・必10ウエ 総Ⅳ1アウ 総Ⅵ4アb 各Ⅲ4ソ C-3-4)-(4)① C-5-4)⑥ E-1-4-(1)①-⑥ E-1-3)①③⑤

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
9	阿部佳子	全身の偶発症	全身の偶発症Ⅱ	歯科治療でみられる全身の偶発症	①実際の偶発症の診断・処置を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必8ア 総Ⅳ1アウ 各Ⅲ4ソ C-5-4)⑥ E-1-4-(1)①-⑥
10	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅲ	麻酔計画 全身麻酔に必要な器具	①症例の全身管理上の問題点を列挙できる ②症例に応じた麻酔計画をたてる ③症例に応じた麻酔器具を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ4ウb E-1-4)-(4)①-③
11	阿部佳子	総合学習	全身麻酔	演習講義	①吸入麻酔・薬を説明する ②静脈麻酔・薬を説明する ③筋弛緩薬を説明する ④全身麻酔に用いる器具を説明する ⑤全身麻酔が困難な症例について説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
12	阿部佳子	総合学習	精神鎮静法	演習講義	①精神鎮静法の内容を説明する ②精神鎮静法の適応と禁忌を説明する ③亜酸化窒素吸入鎮静法を説明する ④静脈内鎮静法を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
13	阿部佳子	総合学習	輸液と輸血	演習講義	①輸液の種類と目的を説明する ②輸血の種類と目的を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
14	阿部佳子	総合学習	疼痛 各種疾患	演習講義	①疼痛の特徴と治療を説明する ②全身管理に必要な疾患を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
15	阿部佳子	総合学習	全身の偶発症	演習講義	全身の偶発症を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
16	阿部佳子	総合学習	救命救急	演習講義	救命救急を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
17	阿部佳子	総合学習	総合演習	演習講義	すべての項目を総復習する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
18	阿部佳子	総合学習	総合演習	演習講義	すべての項目を総復習する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと
19	阿部佳子	総合学習	総合演習	演習講義	すべての項目を総復習する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
20	阿部佳子	総合学習	総合演習	演習講義	すべての項目を総復習する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと

指導教員：阿部佳子，鈴木將之

参考書：医歯薬出版株式会社 歯科麻酔学 第8版第7刷

ISBN：978-4-263-45829-7

総合歯科医学 6 (口腔顎顔面放射線・画像診断学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	伊東宏和	放射線防護	医療放射線被曝の防護と管理	正当化、最適化、線量限度 患者と医療従事者の放射線防護	・放射線防護の定義、分類を説明できる ・放射線防護を説明できる	既出問題での予習、復習。 E-1-2)②③ 必修9カc、必修2カcd、必修6アイ、総論 I 9e、総論VI2アb、ウab
2	伊東宏和	放射線治療	放射線治療の生物学的・物理学的基礎 口腔領域の放射線治療 放射線治療患者の有害反応と口腔管理 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	放射線感受性、生物学的効果、治療の意義と目的種類、適応、特徴 有害反応の種類と特徴 有害反応に対する口腔管理 放射線療法	放射線治療の種類と適応を分類、説明できる	既出問題での予習、復習。 D-1②③、E-1-2)① E-2-4)-(6)③ 総論Ⅲ1シb、総論Ⅶ7アイウ、各論Ⅲ1カキ
3	伊東宏和	画像検査	エックス線検査	パノラマエックス線撮影	パノラマの原理が説明できる 口外法の適応が説明できる	既出問題での予習、復習。 D-1①③、E-1-2)⑤⑥⑦⑧、F-2-2)⑤⑥ 必修9カd、総論VI2エ
4	伊東宏和	画像検査	CT	原理、特徴、適応 造影剤の副作用	CT/CBCTの説明ができる 造影検査について説明できる	既出問題での予習、復習。 D-1①②③、E-1-2)⑨、F-2-2)⑤⑥ 必修9カe、総論Ⅱキab、総論VI2オaケb
5	伊東宏和	画像検査	MRI シンチグラフィ 超音波検査	原理、特徴、適応 造影剤の副作用	・造影剤の副作用を説明できる ・MRIについて説明できる ・核医学検査について説明できる ・超音波検査について説明できる	既出問題での予習、復習。 D-1①③、E-1-2)⑨、F-2-2)⑤⑥ 総論VI2カキク
6	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	顎骨に発生する嚢胞性疾患の診断	a歯原性嚢胞 b非歯原性嚢胞	・顎骨内の嚢胞性疾患の画像診断ができる	既出問題での予習、復習。 E-1-2)⑨ E-2-4)-(5)①② 総論VI2コ1a、各論Ⅲ2オ
7	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a歯原性良性腫瘍 b歯原性悪性腫瘍 c非歯原性良性腫瘍 e骨関連病変 f線維性骨病変	・顎骨内の腫瘍の画像診断ができる	既出問題での予習、復習。 E-1-2)⑨ E-2-4)-(6)①② 総論VI2コ1a、各論2カ
8	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a舌癌 b歯肉癌 c上顎洞癌	・軟組織内の悪性腫瘍の画像診断ができる ・顎骨内の悪性腫瘍の画像診断ができる ・リンパ節転移の画像診断ができる ・上顎洞疾患の画像診断ができる	既出問題での予習、復習。 E-1-2)⑨ E-2-4)-(6)①② 総論VI2コ1a、各論Ⅲ1ウオカ、各論2カ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
9	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a非歯原性嚢胞 b非歯原生良性腫瘍 c顎骨骨髓炎 d歯性上顎洞炎 e放射線性骨壊死 f薬剤関連顎骨壊死 g顎骨周囲軟組織の炎症 h 唾液腺炎 i Sjogren症候群 g粘液嚢胞 k良性腫瘍 L唾石症	・骨髓炎、蜂窩織炎の画像診断ができる ・軟組織内に発生する嚢胞、腫瘍性病変の画像診断ができる ・唾液腺疾患の画像診断ができる	既出問題での予習、復習。 E-1-2)⑨ E-2-4)-(3)③ E-2-4)-(5)①② E-2-4)-(6)①② E-2-4)-(8)②③④⑦ 総論VI2コ1a、各論Ⅲ1ウエオ、各論Ⅲ2エ、各論Ⅲア
10	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	顎骨の損傷の病態・診断・治療 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a歯槽骨骨折 b下顎骨骨折 c上顎骨骨折 d頬骨・頬骨弓骨折 e顎関節脱臼 f腫瘍及び腫瘍類似疾患 g顎関節強直症	・外傷の画像診断ができる ・顎関節疾患の画像診断ができる	既出問題での予習、復習。 E-1-2)⑨、E-2-4)-(2)①③④、E-2-4)-(7)①②、E-2-4)-(8)①②③④⑤⑥⑦、E-2-4)-(10)⑥ 各論Ⅲ2ウ、各論Ⅲ3ウ、各論Ⅲ4ア
11	伊東宏和	エックス線画像 放射線防護 放射線治療 画像検査	X線画像の原理 X線単純撮影 X線画像の原理 画像検査における医療情報 X線画像の原理 画像検査における医療情報 医療放射線被曝の防護と管理 放射線治療の生物学的・物理学的基礎 口腔領域の放射線治療 放射線治療患者の有害反応と口腔管理 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 放射線治療の生物学的・物理学的基礎 口腔領域の放射線治療 放射線治療患者の有害反応と口腔管理 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 エックス線検査 CT MRI シンチグラフィ 超音波検査	a 電離放射線 b 放射線の性質と作用 c X線撮影装置 a コントラストと分解能 b 医療画像システム c 口内法X線検査 d 検出器、撮影補助器材 正当化、最適化、線量限度 患者と医療従事者の放射線防護 放射線感受性、生物学的効果、治療の意義と目的種類、適応、特徴 有害反応の種類と特徴 有害反応に対する口腔管理 放射線療法 パノラマエックス線撮影 原理、特徴、適応 造影剤の副作用 原理、特徴、適応 造影剤の副作用	問題演習	問題演習

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
12	伊東宏和	エックス線画像 放射線防護 放射線治療 画像検査	X線画像の原理 X線単純撮影 X線画像の原理 画像 検査における医療 情報 X線画像の原理 画像 検査における医療 情報 医療放射線被曝 の防護と管理 放射線治療の生 物学的・物理学的 基礎 口腔領域の放射 線治療 放射線治療患者 の有害反応と口腔 管理 腫瘍・腫瘍類似疾 患に対する診断・ 治療 放射線治療の生 物学的・物理学的 基礎 口腔領域の放射 線治療 放射線治療患者 の有害反応と口腔 管理 腫瘍・腫瘍類似疾 患に対する診断・ 治療 エックス線検査 CT MRI シンチグラフィ 超音波検査	a 電離放射線 b 放射線の性質と 作用 c X線撮影装置 a コントラストと分 解能 b 医療画像システ ム c 口内法X線検査 d 検出器、撮影補 助器材 正当化、最適化、 線量限度 患者と医療従事者 の放射線防護 放射線感受性、生 物学的 効果、治療の意義 と目的種類、適 応、特徴 有害反応の種類と 特徴 有害反応に対する 口腔管理 放射線療法 パノラマエックス線 撮影 原理、特徴、適応 造影剤の副作用 原理、特徴、適応 造影剤の副作用	問題演習	問題演習

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
13	伊東宏和	エックス線画像 放射線防護 放射線治療 画像検査	X線画像の原理 X線単純撮影 X線画像の原理 画像 検査における医療 情報 X線画像の原理 画像 検査における医療 情報 医療放射線被曝 の防護と管理 放射線治療の生 物学的・物理学的 基礎 口腔領域の放射 線治療 放射線治療患者 の有害反応と口腔 管理 腫瘍・腫瘍類似疾 患に対する診断・ 治療 放射線治療の生 物学的・物理学的 基礎 口腔領域の放射 線治療 放射線治療患者 の有害反応と口腔 管理 腫瘍・腫瘍類似疾 患に対する診断・ 治療 エックス線検査 CT MRI シンチグラフィ 超音波検査	a 電離放射線 b 放射線の性質と 作用 c X線撮影装置 a コントラストと分 解能 b 医療画像システ ム c 口内法X線検査 d 検出器、撮影補 助器材 正当化、最適化、 線量限度 患者と医療従事者 の放射線防護 放射線感受性、生 物学的 効果、治療の意義 と目的種類、適 応、特徴 有害反応の種類と 特徴 有害反応に対する 口腔管理 放射線療法 パノラマエックス線 撮影 原理、特徴、適応 造影剤の副作用 原理、特徴、適応 造影剤の副作用	問題演習	問題演習

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
14	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療”	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a歯原性嚢胞 b非歯原性嚢胞 a歯原性良性腫瘍 b歯原性悪性腫瘍 c非歯原性良性腫瘍 e骨関連病変 f線維性骨病変 a舌癌 b歯肉癌 c上顎洞癌 a非歯原性嚢胞 b非歯原生良性腫瘍 c顎骨骨髓炎 d歯性上顎洞炎 e放射線性骨壊死 f薬剤関連顎骨壊死 g顎骨周囲軟組織の炎症 h唾液腺炎 i Sjogren症候群 g粘液嚢胞 k良性腫瘍 L唾石症 a歯槽骨骨折 b下顎骨骨折 c上顎骨骨折 d頬骨・頬骨弓骨折 e顎関節脱臼 f腫瘍及び腫瘍類似疾患 g顎関節強直症	問題演習	問題演習
15	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療”	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a歯原性嚢胞 b非歯原性嚢胞 a歯原性良性腫瘍 b歯原性悪性腫瘍 c非歯原性良性腫瘍 e骨関連病変 f線維性骨病変 a舌癌 b歯肉癌 c上顎洞癌 a非歯原性嚢胞 b非歯原生良性腫瘍 c顎骨骨髓炎 d歯性上顎洞炎 e放射線性骨壊死 f薬剤関連顎骨壊死 g顎骨周囲軟組織の炎症 h唾液腺炎 i Sjogren症候群 g粘液嚢胞 k良性腫瘍 L唾石症 a歯槽骨骨折 b下顎骨骨折 c上顎骨骨折 d頬骨・頬骨弓骨折 e顎関節脱臼 f腫瘍及び腫瘍類似疾患 g顎関節強直症	問題演習	問題演習

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
16	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療”	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a歯原性嚢胞 b非歯原性嚢胞 a歯原性良性腫瘍 b歯原性悪性腫瘍 c非歯原性良性腫瘍 e骨関連病変 f線維性骨病変 a舌癌 b骨肉癌 c上顎洞癌 a非歯原性嚢胞 b非歯原生良性腫瘍 c顎骨骨髓炎 d歯性上顎洞炎 e放射線性骨壊死 f薬剤関連顎骨壊死 g顎骨周囲軟組織の炎症 h唾液腺炎 i Sjogren症候群 g粘液嚢胞 k良性腫瘍 L唾石症 a歯槽骨骨折 b下顎骨骨折 c上顎骨骨折 d頬骨・頬骨弓骨折 e顎関節脱臼 f腫瘍及び腫瘍類似疾患 g顎関節強直症	問題演習	問題演習
17	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療”	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a歯原性嚢胞 b非歯原性嚢胞 a歯原性良性腫瘍 b歯原性悪性腫瘍 c非歯原性良性腫瘍 e骨関連病変 f線維性骨病変 a舌癌 b骨肉癌 c上顎洞癌 a非歯原性嚢胞 b非歯原生良性腫瘍 c顎骨骨髓炎 d歯性上顎洞炎 e放射線性骨壊死 f薬剤関連顎骨壊死 g顎骨周囲軟組織の炎症 h唾液腺炎 i Sjogren症候群 g粘液嚢胞 k良性腫瘍 L唾石症 a歯槽骨骨折 b下顎骨骨折 c上顎骨骨折 d頬骨・頬骨弓骨折 e顎関節脱臼 f腫瘍及び腫瘍類似疾患 g顎関節強直症	問題演習	問題演習

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
18	伊東宏和	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療”	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 “主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療” 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療” 軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a歯原性嚢胞 b非歯原性嚢胞 a歯原性良性腫瘍 b歯原性悪性腫瘍 c非歯原性良性腫瘍 e骨関連病変 f線維性骨病変 a舌癌 b骨肉癌 c上顎洞癌 a非歯原性嚢胞 b非歯原性良性腫瘍 c顎骨骨髓炎 d歯性上顎洞炎 e放射線性骨壊死 f薬剤関連顎骨壊死 g顎骨周囲軟組織の炎症 h唾液腺炎 i Sjogren症候群 g粘液嚢胞 k良性腫瘍 L唾石症 a歯槽骨骨折 b下顎骨骨折 c上顎骨骨折 d頬骨・頬骨弓骨折 e顎関節脱臼 f腫瘍及び腫瘍類似疾患 g顎関節強直症	問題演習	問題演習

指導教員： 伊東宏和

参考書： 歯科放射線学第6版

ISBN： 978-4-263-45681-1

総合歯科医学 6（歯科矯正学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	関谷利子	不正咬合の原因 1	先天的原因 全身的・局所的原因 先天異常 歯の異常 軟組織異常	Beckwith-Wiedemann症候群 Marfan症候群 先天性外胚葉形成不全 Apert症候群 Crouzon症候群 Robinシーケンス Treacher Collins症候群 鎖骨頭蓋骨異形成症 第一第二鰓弓症候群 軟骨無形成症 Down症候群 Turner症候群 過剰歯、先天欠如、癒合歯、癒着歯、双生歯、巨舌症、小舌症	①遺伝的・環境的原因、全身的・局所的原因、先天的・後天的原因について説明できる。 ②各先天異常が引き起こす顎骨の不正について理解する。 ③歯数の異常、歯の形態異常、軟組織の形態異常が引き起こす不正咬合について理解する。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 A-2-4-6、A-3-4-3、A-5-1-1,2、D-3-1-1～3、D-5-5-3 必6アb、必6イd,e,h、必7イe、総Ⅱ8アb、総Ⅲ2アa、各Ⅰ1アb、各Ⅰ1イa,b,e、各Ⅰ1ウa～e、各Ⅰ1エa,b、各Ⅰ2アa,b、各Ⅰ2イa,d,e、各Ⅰ3アa～c、各Ⅰ3イd、各Ⅰ5イ～エ、各Ⅲ1アb、各Ⅲ4アa～c,e,j,n,o
2	関谷利子	不正咬合の原因 2 矯正治療に伴う生体反応	後天的原因 全身的・局所的原因 矯正治療に伴う全身反応・局所反応	弄指癖、弄唇癖、弄舌癖、異常嚥下癖、口呼吸 歯根膜反応 歯槽骨の変化	①後天的原因、全身的・局所的原因について説明できる。 ②口腔習癖と不正咬合について理解する。 ③歯の移動のメカニズムと歯周組織の反応について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 A-2-4-6、A-5-1-2、D-3-1-1～3、D-5-5-3,5 必6イd,e,h、必7イe、総Ⅳ2ウ、各Ⅰ5ウ、エ、各Ⅰ8、各Ⅲ4カa
3	及川 崇	不正咬合の診断・治療方針	診察 検査 診断 治療計画	顔面所見 口腔内所見 模型分析 頭部エックス線規格写真分析	①不正咬合の診査に必要な項目を知り、理解する。 ②模型分析の項目とその意味を理解する。 ③頭部エックス線規格写真の分析結果から症例の特徴を把握する。 ④治療目標に基づいた治療の順序、処置・術式の決定、矯正装置の選択、治療計画が立てられる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2-1-3、D-2-2-1,2、D-2-5-8、D-5-5-3 必8ウa,d、必8オacf、必8カa,b,c、総Ⅶ1アe、総Ⅶ2エc,d、各Ⅰ6ア～エ
4	及川 崇	矯正歯科治療における抜歯	抜歯の意義・部位と数	抜歯の目的・適応症・決定法 連続抜去法 抜歯の長所と短所 Tweed三角	①矯正治療における抜歯の意義、部位を具体的に説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-5-5-3、D-5-5-5、D-5-5-6、各Ⅰ6ウエ
5	及川 崇	矯正力・固定	狭義の矯正力 顎整形力 固定の定義・種類	作用様式による矯正力の分類 歯の移動様式 部位による固定の種類 抵抗の性質による固定の種類 抜歯空隙利用のための固定の種類（歯科矯正用アンカースクリューを含む）	①矯正力の分類を説明できる。 ②歯の移動様式を説明できる。 ③固定の分類を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-5-5-3～5 総Ⅶ2アe、各Ⅰ7ア～エ
6	及川 崇	矯正装置1	唇舌側弧線装置 顎外固定装置 マルチブラケット装置 拡大装置	リンガルアーチ トランスパラタルアーチ Nanceのホールディングアーチ タングクリブ ヘッドギア チンキャップ 上顎前方牽引装置 急速拡大装置 クワドヘリックス	①矯正装置の構造、作用、適応症について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-2-4、D-5-5-4 必11ケf、総Ⅶ2アe、各Ⅰ9アa～d、各Ⅰ9イa～c、各Ⅰ9ウ、各Ⅰ9エab

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	及川 崇	矯正装置2	機能的矯正装置 床矯正装置	アクチバトール バイオネーター Fränkel装置 リップバンパー 咬合挙上板 咬合斜面板 スライディングプレート	①矯正装置の構造、作用、適応症について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-2-4、D-5-5-4 必11ヶf、総VII2アe、各Ⅰ9オa～d、各Ⅰ9カab、各Ⅰ9キa～e
8	及川 崇	歯科矯正材料・器械・器具	線材料 バンド ブラケット チューブ エラスティック コイルスプリング 接着用材料	ステンレス鋼 コバルトクロム ニッケルチタン チタンモリブテン	①矯正治療に必要な器具・器材について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-2-4、D-5-5-4、 必11セi、総VIII10ア～オ
9	関谷利子	不正咬合の治療1	不正咬合の予防 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 永久歯列期の不正咬合の治療	予防矯正 抑制矯正 限局矯正 本格矯正 エッジワイズ法	①混合歯列期での顎整形力を用いた治療法について理解する。 ②永久歯列期での各種不正咬合の治療法について理解する。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-2-4、D-5-5-1,3～6 必11ヶf、総VII2アe、各Ⅰ10ア～ウ
10	関谷利子	不正咬合の治療2	先天性疾患を伴う不正咬合の治療 顎変形症の治療 補綴・歯周治療との併用 治療中の管理 保定 偶発症	口蓋裂の治療 外科的矯正治療 保定装置－Hawleyタイプ リテーナー Beggタイプリテーナー トゥースポジションナー 犬歯間保定装置 矯正治療に伴う偶発症	①矯正学と隣接歯学との関連を知る。 ②矯正治療の治療目標と適用範囲を考える。 ③保定の意義と装置を説明できる。 ④矯正治療中の口腔管理と偶発症を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-2-4、D-5-5-1,3～6 必11ヶf、総VII2アe、各Ⅰ9キa～e、各Ⅰ10エ～ク、各Ⅲ2アa、各Ⅲ2イa
11	及川 崇	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義①	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
12	及川 崇	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義②	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
13	関谷利子	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義③	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
14	関谷利子	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義④	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
15	及川 崇	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義⑤	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
16	及川 崇	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義⑥	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
17	関谷利子	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義⑦	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
18	関谷利子	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義⑧	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
19	関谷利子	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義⑨	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
20	関谷利子	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義⑩	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：関谷利子、及川 崇

参考書：「歯科矯正学」 後藤滋巳 他 医歯薬出版 2024年 第7版

ISBN：978-4-263-45685-9

：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」清水典佳 医歯薬出版 2022年 第2版

ISBN：978-4-263-45874-7

：「歯科矯正学 エッセンシャルテキスト」 西井 康 他 永末書店 2023年

ISBN：978-4-8160-1422-2

総合歯科医学 6（小児歯科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	守安克也	1齲蝕と予防	1A齲蝕の予防	1Aa齲蝕の要因 1Ab齲蝕予防の重要性 1Ac齲蝕の予防法	1Aa①齲蝕の要因について説明する。 1Ab①小児の齲蝕予防の重要性を説明する。 1Ba①小児の齲蝕の予防法を述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)①,② 各Ⅱ1イa,b,c,d,e 各Ⅱ1エa
2	守安克也	1小児の臨床における対応	1A臨床における対応法	1Aa一般的対応法 1Ab心理学的対応 1Ac特殊な対応法	1A①小児の一般的対応法を列挙し説明する。 1Ab①行動療法による対応法を列挙し説明する。 1Ac①特殊な対応法を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)⑩ 必11イa,b,c 総V2ア 総V2イ 総V2ウ 総V2エ
3	守安克也	1齲蝕治療	1A乳歯の歯冠修復 1B幼若永久歯の歯冠修復	1Aa乳歯齲蝕の診察・診断 1Ab成形充填 1Ac全部被覆冠 1Ba幼若永久歯の歯冠修復法	1A①乳歯の歯冠修復の適応と術式を述べる。 1B①幼若永久歯の歯冠修復の適応と術式を述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)③ 総Ⅶ1ウa 各Ⅱ1エb、d
4	守安克也	1齲蝕治療	1A乳歯および幼若永久歯の歯内療法	1Aa診査・診断 1Ab歯髄炎の臨床的分類 1Ac歯髄炎の処置 1Ad根尖性歯周炎の臨床的分類 1Ae根尖性歯周炎の処置	1A①乳歯の歯髄疾患の特徴と処置を説明する。 1A②乳歯の歯内療法の術式を説明する。 1A③幼若永久歯の歯髄疾患の特徴と処置を説明する。 1A④幼若永久歯の歯内療法の術式を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)④,⑤ 各Ⅱ2イf 各Ⅱ2ウa,b,c,d
5	守安克也	1外科的処置 2歯の外傷と処置	1A抜歯 1B薬物療法 2A歯の外傷 2B歯の外傷の処置 2Cその他の外傷	1Aa抜歯 1Ba小児の薬用量 1Bb前投薬 2Aa診察・検査・診断 2Ba破折・脱臼 2Bb受傷歯の固定 2Bc再植法 2Caスポーツ外傷 2Cb児童虐待による外傷	1Aa①小児の抜歯の適応症を列挙し、術式を説明する。 1B①小児の薬用量を説明する。 2A①乳歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 2A②幼若永久歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 2B①小児の歯の外傷の処置法を列挙し説明する。 2Ca①スポーツ外傷の臨床的特徴を説明する。 2Cb①虐待による外傷の特徴について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)⑦ 総Ⅱ2アg 総Ⅶ4Af 各Ⅳ4アa,b 各Ⅳ4イ 各Ⅳ2ウ 各Ⅳ2エ 各Ⅳ2オ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
6	守安克也	1咬合誘導	1A咬合誘導法	1Aa咬合誘導の目的と分類 1Ab歯列・咬合の正常発育を阻害する因子 1Ac静的(受動的)咬合誘導	1Aa①咬合誘導の目的と分類を説明する。 1Ab①歯列・咬合の正常発育を阻害する因子を説明する。 1Ac①静的(受動的)咬合誘導の意義と目的を説明する。 1Ac②静的(受動的)咬合誘導の種類を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)⑧ 各Ⅰ3アa,b,c,d,e,f 各Ⅰ5ア 各Ⅰ5イa,b,c 各Ⅰ10アa
7	守安克也	1咬合誘導	1A咬合誘導法	1Aa動的(能動的)咬合誘導 1Ab口腔習癖と処置	1Aa①動的(能動的)咬合誘導の意義と目的を説明する。 1Aa②動的(能動的)咬合誘導の種類を列挙し説明する。 1Ab①口腔習癖の種類と歯科的問題について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)⑨⑩ 各Ⅰ10ア,b 各Ⅰ10イa
8	守安克也	1歯周疾患 2顎・口腔軟組織疾患	1A歯周疾患の種類および特徴と処置 1B歯周疾患の予防 2A口腔軟組織の疾患 2B顎関節症	1Aa正常な歯周組織の構造 1Ab歯肉炎・歯周炎 1Ba歯周組織および歯周疾患の評価 1Bbブラークコントロール 2Aa口腔軟組織疾患 2Ba顎関節症	1Aa①小児の歯周組織の特徴を説明する。 1Ab①小児の歯周疾患を列挙し説明する。 1Ba①小児の歯周疾患の評価法を説明する。 1Bb①小児の歯周疾患の予防法を説明する。 2Aa①小児の口腔軟組織疾患を列挙し臨床的特徴を説明する 2Ba①小児の顎関節症の臨床的特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2)⑥,⑦ E-2-4)-(7)② 各Ⅰ3イa,b,c,d,e 各Ⅰ3ウa,b,c,d,e 各Ⅱ3エa,b
9	守安克也	1治療時に留意すべき小児疾患	1A先天異常 1B染色体異常 1C感染症 1D骨代謝異常 1E内分泌異常		1A~E①臨床上注意すべき全身疾患を列挙し、説明する。 1A~E②遺伝性疾患と口腔疾患との関連性について説明する。 1A~E③全身疾患に伴う硬組織異常を列挙し説明する。 1A~E④全身疾患に伴う軟組織異常を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-2-4)-(1)①,②,③,④ 総Ⅷ1エⅠ 各Ⅰ1イa,b,c,d,e,f 各Ⅰ1ウa,b,c,d,e 各Ⅰ1エa,b
10	守安克也	1障害児の歯科診療	1A主な障害の概要 1B障害児の歯科的問題 1C歯科的対応		1A①障害児を分類し、その特徴を説明する。 1C①障害児の口腔の特徴と歯科的問題を説明する。 1C①障害児への歯科的対応を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-5-2)①,②,③ 必11イa,b,c 総Ⅴ3ア 総Ⅴ3イa,b,c,d 総Ⅴ3ウ 総Ⅴ3エ 総Ⅴ3オ 総Ⅴ3カ 総Ⅷ1オ 各Ⅴ8アa,b 各Ⅴ8イa,b,c 各Ⅴ8ウ 各Ⅴ8エ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
11	守安克也	総合学習1	小児歯科学総論	演習講義1	小児歯科学総論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
12	守安克也	総合学習2	小児歯科学総論	演習講義2	小児歯科学総論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
13	朝田芳信	総合学習3	小児歯科学各論	演習講義3	小児歯科学各論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
14	朝田芳信	総合学習4	小児歯科学各論	演習講義4	小児歯科学各論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
15	守安克也	総合学習5	小児歯科学総論	演習講義5	小児歯科学総論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
16	守安克也	総合学習6	小児歯科学総論	演習講義6	小児歯科学総論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
17	朝田芳信	総合学習7	小児歯科学各論	演習講義7	小児歯科学各論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
18	朝田芳信	総合学習8	小児歯科学各論	演習講義8	小児歯科学各論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
19	守安克也	総合学習9	小児歯科学総論	演習講義9	小児歯科学総論・各論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
20	守安克也	総合学習10	小児歯科学総論	演習講義10	小児歯科学総論・各論の内容について説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。

指導教員：朝田芳信 守安克也

参考書：小児の口腔科学 第5版

ISBN：978-4-7624-4646-7

総合歯科医学 6（高齢者歯科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	櫻井敏継	1.コモンディジーズ 2	1)認知症	a.認知症の原因 b.認知症の種類 c.認知症の評価・検査	①認知症の原因疾患について説明する。 ②認知症の評価方法について説明する。 ③認知症の種類を列挙する。	【予習】 4年次の高齢者歯科の資料を確認しておくこと。 【復習】 認知症の原因疾患、症状、評価方法を確認する。 C-3-3)①②③ 必7イ,総V5イ,各V1イ E-1-4)-(1)⑥ E-2-3)④ E-5-1)①②
2	櫻井敏継	1.コモンディジーズ 2	1)認知症	a.認知症の原因 b.認知症の種類 c.認知症の評価・検査	①認知症の原因疾患について説明する。 ②認知症の評価方法について説明する。 ③認知症の種類を列挙する。	【予習】 4年次の高齢者歯科の資料を確認しておくこと。 【復習】 認知症の原因疾患、症状、評価方法を確認する。 C-3-3)①②③ 必7イ,総V5イ,各V1イ E-1-4)-(1)⑥ E-2-3)④ E-5-1)①②
3	櫻井敏継	1.栄養評価 2.高齢者の虐待 3.口腔機能低下症	1)各種栄養評価方法 2)虐待の特徴と対応 3)口腔機能低下症	a.SGA b.MNA c.その他の栄養評価方法 d.虐待の徴候と対応 e.口腔衛生状態 f.口腔乾燥 g.咬合力 h.舌口唇機能 i.舌圧 j.咀嚼機能 k.嚥下機能	①各種栄養評価方法を説明する。 ②高齢者の虐待について説明する。 ③口腔機能低下症についての項目、評価方法、検査方法について説明する。	【予習 復習】 範囲の参考書を確認しておくこと。 C-1-③ 総V5ウ E-1-4)-(1)⑥ 総I2オ,各V1オ,各V3ア E-5-1)①②③ 各V3ア,総I2オ,総II8エ,総VI1イ,総VII6イ,各V1オ,各V3イ,各V4イ
4	櫻井敏継	サルコペニア・フレイル	1)サルコペニア 2)フレイル	a.サルコペニア診断基準 b.フレイルの概念	フレイル、サルコペニアの概念を評価方法を説明する。	【予習 復習】 範囲の参考書を確認しておくこと。 E-5-1)③ 必2ア,総I2オ,総II8エ,総VI1イ,総VII6イ,各V1オ,各V3イ,各V4イ
5	櫻井敏継	摂食嚥下リハビリテーション 1	1)嚥下障害とは 2)嚥下障害の原因となる疾患 3)嚥下障害の症状 4)嚥下機能スクリーニング検査	a.嚥下障害の定義 b.嚥下障害を引き起こす疾患 c.嚥下障害の症状 d.問診・調査票 e.RSST f.MWST g.FT h.簡易咳テスト i.頸部聴診	①嚥下障害について説明する。 ②嚥下障害の原因を列挙する。 ③嚥下障害の症状を列挙する。 ④嚥下障害患者の医療面接を説明する。 ⑤嚥下機能スクリーニング検査を列挙する。 ⑥嚥下機能スクリーニング検査を説明する。	【予習 復習】 範囲の参考書を確認しておくこと。 B-1③,E-5-10)⑩ 必12サ,総V5ウa,総VII9ク,各V3ア,各V4イ,各V6オ E-5-8)⑧ 必7イ,必8ウ,総V5イ,総VI1イ,各V1ウ,各V1エ,各V2ア,各V3イ E-5-9)⑨ 必2ア,必12イ,総VII6アイ,各V6アイウエ
6	櫻井敏継	摂食嚥下リハビリテーション 2	1)摂食機能精密検査 2)嚥下機能訓練 3)摂食嚥下リハビリテーションの展開 4)栄養療法の実践	a.嚥下造影検査 b.嚥下内視鏡検査 c.直接訓練 d.間接訓練 e.栄養投与法選択の実践 f.胃瘻の意味と考え方 g.摂食嚥下機能の回復プログラム	①嚥下造影検査について説明する。 ②嚥下内視鏡検査について説明する。 ③嚥下機能訓練方法を列挙する。 ④ステージ別摂食嚥下リハビリテーションの実践（急性期・回復期・維持期・終末期） ⑤栄養投与ルートを選択 ⑥胃瘻の選択と離脱 ⑦経口摂取の禁止から経口摂取再開、食上げへの道	【予習 復習】 範囲の参考書を確認しておくこと。 B-1③,E-5-10)⑩ 必12サ,総V5ウa,総VII9ク,各V3ア,各V4イ,各V6オ E-5-8)⑧ 必7イ,必8ウ,総V5イ,総VI1イ,各V1ウ,各V1エ,各V2ア,各V3イ E-5-9)⑨ 必2ア,必12イ,総VII6アイ,各V6アイウエ
7	岡田優一郎	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3)摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義1	・加齢に伴う変化を説明できる。 ・高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
8	岡田優一郎	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義2	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
9	櫻井敏継	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義3	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
10	櫻井敏継	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義4	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
11	岡田優一郎	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義5	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
12	岡田優一郎	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義6	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
13	櫻井敏継	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義7	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
14	櫻井敏継	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義8	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
15	櫻井敏継	総合学習	1)加齢に伴う各臓器の変化 2)高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義8	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。

指導教員：櫻井敏継，岡田優一郎

参考書：老年歯科医学（医歯薬出版）

ISBN：978-4-263-45789-4

参考書：よくわかる高齢者歯科学（永末書店）

ISBN：978-4-8160-1339-3

参考書：摂食嚥下リハビリテーション第三版（医歯薬出版）

ISBN：978-4-263-44447-4

総合歯科医学6（障害者歯科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	關田俊介	必修の基本的事項 2 社会と歯科医療	ア 患者・障がい者 のもつ心理社会的 問題と背景	a 疾病・障害の概念・ 構造（社会的関わり） b リハビリテーション の理念 c ノーマライゼーション の理念 d 国際生活機能分類 〈ICF〉 e 健康格差、健康の社会的 決定要因	1 障害者と健常者の共生 社会の必要性を説明 できる 2 ノーマライゼーション を説明できる 3 社会的障壁を説明できる 4 バリアフリーを説明 できる 5 チーム医療を説明できる 6 ICFを理解し説明できる 7 ICIDHを理解し説明 できる 8 障害者歯科医療には 多職種連携の必要性 を説明できる	予習：あらかじめ各項目について 自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して 確認し、理解を深めること A-5-1)①②③ B-2-2)③⑤⑦⑧
			ウ チーム医療	a チーム医療の意義 （多職種連携、医科 歯科連携、病診連携 を含む） b 医療チームの構成員 と役割 c チーム医療における 歯科の役割（かかり つけ歯科医、在宅医療、 歯科訪問診療） d 情報提供		
		11 治療の基・基本 手技	イ 小児・高齢者・ 妊産婦・障害 者・要介護者の 治療	a 治療環境 b 患者の体位 c コミュニケーション d ノーマライゼーション バリアフリー i 医療連携・チーム医療 とその関係職種		
		総論Ⅰ 1 健康の保持・増 進と社会保障	ア 健康・疾病・障 害の概念 エ 保健・医療・福祉・ 介護の法規と仕組み			

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
2	關田俊介	総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度	カ 障害児・障害者の保健・福祉	a 現状、動向 b 障害児・障害者の健康保持・増進 c 障害の種類と支援 d 自立支援と福祉の制度 e 障害児・障害者の歯科保健医療	1 障害者の福祉に関連する法規を列挙し障害の種類と支援を説明できる。「障害者基本法、知的障害者福祉法、発達障害者支援法、身体障害者福祉法、改正精神保健福祉法、児童福祉法、障害者総合支援法」 2 障害者の共生社会に向けた自立支援について説明できる 3 自立支援医療について説明できる	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して確認し、理解を深めること B-2-2)③⑤⑦⑧
3	關田俊介	総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 6 全身疾患を有する者への対応 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎	ア 障害の概念 イ 障害の分類 ウ 行動調整 エ 診察の基本 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理 ア 留意すべき疾患 エ 全身管理に留意すべき疾患 オ 障害者の治療	a 身体障害 b 知的障害 c 精神障害 d 発達障害 f 精神疾患 g 神経・運動器疾患 g 精神疾患 h 神経・運動器疾患	1 障害の定義を説明できる 2 身体障害について説明できる。「脳性麻痺、感覚器障害」 3 知的障害について説明できる。「Down症候群、他」 4 精神障害について説明できる。「統合失調症、うつ病」 5 発達障害について説明できる。「自閉スペクトラム症」 6 神経・運動器疾患について説明できる。「重症筋無力症、筋ジストロフィー、筋委縮性側索硬化症、Parkinson病、てんかん」	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して確認し、理解を深めること E-5-2)-① 総論Ⅴ 診察 2 小児への対応 オ 発達障害のある小児への対応 a 自閉スペクトラム症 b 注意欠如・多動症 c 限局性学習症

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
4	關田俊介	各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病患者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 2 治療の基礎 8 障害者の歯科治療	エ 全身管理に留意すべき疾患 オ 障害者の歯科治療 ア 基本的対応 イ 歯科治療上留意すべき事項 ウ 口腔疾患の治療 エ 口腔保健指導	g 精神疾患 h 神経・運動器疾患 a 一般的対応 b 行動調整 a 環境への適応性 b 姿勢・異常反射 c 呼吸管理	1 行動調整法について 列挙し、方法および方法が有効な障害者について説明できる 2 レジネスについて説明できる 3 刺激統制法について説明できる 4 レスポデント条件付けについて説明できる。「系統的脱感作、TSD法」 5 オペラント条件付けについて説明できる。「トークンエコミー：正の強化、レスポンスコスト：負の強化」 6 タイムアウト、モデリング法を説明できる 7 TEACCH、視覚支援等について列挙し説明できる 8 反射抑制姿勢、筋弛緩法について説明できる 9 薬物による行動調整を説明できる。	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して確認し、理解を深めること E-5-2)-②③④⑤⑥

指導教員： 關田俊介

参考書： スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科 第2版
 日本障害者歯科学会編集 医歯薬出版株式会社 ¥9,500
 ISBN：978-4-263-45801-3 C3047

総合歯科医学 6 (法医歯学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	勝村聖子	1. 災害歯科医学	1A 災害医療 1B 救急医療 1C 医療救護 1D トリアージ	1Aa 災害救助法 1Ab 災害対策基本法	1① 災害時の歯科医師の活動について説明する。 1② 災害時における医療救護について説明する。 1③ 救急時における医療救護について説明する。 1④ トリアージについて説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-7-1)⑥、B-2-2)⑨ 総 1-1-エ-h
2	勝村聖子	1. 虐待	1A 児童虐待 1B 高齢者虐待	1Aa 児童虐待防止法 1Ba 高齢者虐待防止法	1① 児童虐待について説明する。 1② 高齢者虐待について説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-2)⑥、E-5-1)⑪ 総 1-2-ア-g
3	勝村聖子	1. 歯科医師法 1	1 A 歯科医師の任務、資格、業務	1Aa 歯科医師免許 1Ab 歯科医師の欠格事由 1Ac 業務の独占 1Ad 応召の義務 1Ae 診療録の記載・保管 1Af 処方せん及び診断書の発行 1Ag 保健指導	1A① 歯科医師の法的根拠を説明する。 1A② 歯科医師の法的任務を説明する。 1A③ 歯科医師の行政処分について説明する。 1A④ 歯科医業の独占及び名称使用の制限について説明する。 1A⑤ 歯科医師の発行文書について説明する。 1A⑥ 診療録の取扱について説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-1-3)④、B-2-1)① 必2-イ-a、総 1-1-ウ-a
4	勝村聖子	1. 歯科医療関係職種	1A 歯科衛生士 1B 歯科技工士 1C 看護師 1D 薬剤師 1E 臨床放射線技師	1Aa 歯科衛生士法 1Ba 歯科技工士法 1Ca 保健師・助産師・看護師法 1Da 薬剤師法 1Ea 臨床放射線技師法	1① 歯科医業と関係職との業務上の関連について説明する。 1② 歯科関係職における歯科医行為の禁止について説明する。 1③ 歯科関係職の特性について説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-1)③⑥⑦ 必2-イ-a,e、総 1-1-ウ-i
5	勝村聖子	1. 医療法 1	1A 医療機関の管理	1Aa 医療機関の開設届け 1Ab 医療機関の管理者 1Ac 医療広告 1Ad 標榜診療科	1A① 医療機関の管理・開設について説明する。 1A② 医療広告の範囲について説明する。 1A③ 歯科医療機関の標榜診療科について説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-1)② 必2-イ-b、総 1-1-ウ-a
6	勝村聖子	1. 医療法 2 とその他関連法規	1A 医療の安全対策 1B 医薬品や医療機器の取り扱い	1Aa 医療安全の確保 1Ab リクスマネージメント 1Ac ヒヤリハットレポート 1Ad アクシデントレポート 1Ae クリニカルパス 1Af 医療事故調査制度 1Ag 院内感染対策 1Ba 医薬品と医療機器の安全管理 1Bb 薬機法 1Bc 麻薬及び向精神薬取締法等	1A① 医療安全体制について説明する。 1A② 医療事故の発生原因についてを説明する。 1A③ 医療事故の防止について説明する。 1A④ 医療事故の報告及び調査について説明する。 1A⑤ 院内感染対策について説明する。 1B① 医薬品や医療機器の安全管理について説明する。 1B② 麻薬等の管理・施用について説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-6-1)①～⑤、⑦、A-6-2)①～⑥、B-2-1)②④ 必2-イ-b、必2-イ-d、必2-オ-a～h、総 1-1-ウ-a,b,e
7	勝村聖子	1 医療事故と医事紛争	1A 説明義務 1B セカンドオピニオン 1C 医療契約 1D 医療過誤 1E 刑事責任 1F 民事責任 1G 医療裁判	1Aa 医療法 1Ba リスボン宣言 1Ea 刑法 1Fa 民法 1Ga 和解・調停	1① 医療を受ける患者権利について説明する。 1② 医療事故の法的責任について説明する。 1③ 医事紛争の回避・解決法について説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-1-2)①～④、A-1-3)④、A-6-1)①～⑦、A-6-2)①～⑥、A-6-3)①～⑤ 必2-イ-d、必2-カ-a～d、必2-キ-a,b、総 1-1-ウ-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
8	勝村聖子	1. 診療情報の保護	1A 医療記録の保存 1B 医療記録の開示 1C 秘密漏洩の禁止 1D 診療情報の提供	1Aa 医療法 1Ba 個人情報保護法 1Ca 刑法 1Da 健康保険法	1① 診療情報の対象と保管について説明する。 1② 診療情報の開示について説明する。 1③ 診療情報の秘密保持について説明する。 1④ 医療機関同士での診療情報の共有について説明する。	3 年次「歯科法医学」、4 年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-4-2)④～⑦、A-5-1)④～⑦、B-4-3) ①② 必2-エ-a～c、必2-コ-a～d、必3-イ-c、d、
9	勝村聖子	総合学習	医事法学 歯科法医学	演習講義1	関連法規と記載事項を説明できる。 医療安全の重要性、医療事故への対策と防止策を説明できる。 死因究明・個人識別の実務を説明できる。 災害医療を説明できる。 虐待への対応を説明できる。 診療情報について説明できる。	授業の理解を図るため、講義資料等を十分に復習した上で講義に臨むこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 A-1-2)①～④、A-1-3)①～⑤、A-4-2)②～⑦、A-5-1)②～⑦、A-6-1)①～⑤、A-6-2)①～⑥、A-7-1)-⑥、B-2-1)①～⑦、B-2-2)⑥⑨、B-2-3)①② 必1-イ-ab、必2-イ-abde、必2-オ-a～c、必2-カa～g、必2-クab、必2-サ-acd、総1-エ-abj、総1-エ-abj、総1-オ-h、総2-ア-g、総3-ア-a～c
10	勝村聖子	総合学習	医事法学 歯科法医学	演習講義2	関連法規と記載事項を説明できる。 医療安全の重要性、医療事故への対策と防止策を説明できる。 死因究明・個人識別の実務を説明できる。 災害医療を説明できる。 虐待への対応を説明できる。 診療情報について説明できる。	授業の理解を図るため、講義資料等を十分に復習した上で講義に臨むこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 A-1-2)①～④、A-1-3)①～⑤、A-4-2)②～⑦、A-5-1)②～⑦、A-6-1)①～⑤、A-6-2)①～⑥、A-7-1)-⑥、B-2-1)①～⑦、B-2-2)⑥⑨、B-2-3)①② 必1-イ-ab、必2-イ-abde、必2-オ-a～c、必2-カa～g、必2-クab、必2-サ-acd、総1-エ-abj、総1-エ-abj、総1-オ-h、総2-ア-g、総3-ア-a～c
11	勝村聖子	総合学習	医事法学 歯科法医学	演習講義3	関連法規と記載事項を説明できる。 医療安全の重要性、医療事故への対策と防止策を説明できる。 死因究明・個人識別の実務を説明できる。 災害医療を説明できる。 虐待への対応を説明できる。 診療情報について説明できる。	授業の理解を図るため、講義資料等を十分に復習した上で講義に臨むこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
12	勝村聖子	総合学習	医事法学 歯科法医学	演習講義4	関連法規と記載事項を説明できる。 医療安全の重要性、医療事故への対策と防止策を説明できる。 死因究明・個人識別の実務を説明できる。 災害医療を説明できる。 虐待への対応を説明できる。 診療情報について説明できる。	授業の理解を図るため、講義資料等を十分に復習した上で講義に臨むこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 A-1-2)①～④、A-1-3)①～⑤、A-4-2)②～⑦、A-5-1)②～⑦、A-6-1)①～⑤、A-6-2)①～⑥、A-7-1)-⑥、B-2-1)①～⑦、B-2-2)⑥⑨、B-2-3)①② 必1-イ-ab、必2-イ-abde、必2-オ-a～c、必2-カa～g、必2-クab、必2-サ-acd、総1-エ-abj、総1-エ-abj、総1-オ-h、総2-ア-g、総3-ア-a～c

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
13	勝村聖子	総合学習	医事法学 歯科法医学	演習講義5	関連法規と記載事項を説明できる。 医療安全の重要性、医療事故への対策と防止策を説明できる。 死因究明・個人識別の実務を説明できる。 災害医療を説明できる。 虐待への対応を説明できる。 診療情報について説明できる。	授業の理解を図るため、講義資料等を十分に復習した上で講義に臨むこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 A-1-2)①～④、A-1-3)①～⑤、A-4-2)⑦～⑦、A-5-1)②～⑦、A-6-1)①～⑤、A-6-2)①～⑥、A-7-1)-⑥、B-2-1)①～⑦、B-2-2)⑥⑨、B-2-3)①② 必1-イ-ab、必2-イ-abde、必2-オ-a～c、必2-カa～g、必2-クab、必2-サ-acd、総1-エ-abj、総1-エ-abj、総1-オ-h、総2-ア-g、総3-ア-a～c

指導教員： 勝村聖子

参考書： 臨床のための法医学（第6版）、朝倉書店

ISBN：978-4-254-31091-7 C3047

総合歯科医学 6（口腔衛生学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	後藤田宏也	環境保健	A 環境保健対策	A a 地球環境の変化と健康影響 A b 公害による健康被害と対策 A c 環境汚染の評価と対策 A d 廃棄物処理 A e 生活環境と健康	① 地球規模の環境問題を説明できる。 ② 生物濃縮を説明できる。 ③ 公害を説明できる。 ④ わが国の環境基準を説明できる。 ⑤ 浄水法、下水処理法を説明できる。 ⑥ 感覚温度を説明できる。 ⑦ シックハウス症候群を説明できる。 ⑧ 廃棄物処理法を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-2-1)⑤、B-2-4)①② 【国家試験出題基準】 総19アa～e
2	後藤田宏也	感染症対策	A 感染症対策と疫学	A a 主な感染症の疫学と流行状況 A b 感染症の予防 A c 院内感染対策	① 感染成立の三要因を説明できる。 ② 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉を説明できる。 ③ 新興・再興感染症を説明できる。 ④ 予防接種法を説明できる。 ⑤ 院内感染対策を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 A-6-3)②、B-2-1)⑤、B-3-1)④ 【国家試験出題基準】 総17アa～c
3	後藤田宏也	口腔環境と予防	A 口腔の生態系 B 口腔清掃	A a プラーク〈口腔バイオフィルム〉 B a ブラッシング法 B b 歯磨剤	① ペリクルについて説明できる。 ② プラークについて説明できる。 ③ 歯石について説明できる。 ④ 口腔内の沈着物について説明できる。 ⑤ プラークコントロールについて説明できる。 ⑥ ブラッシング法について説明できる。 ⑦ 歯磨剤について説明できる。 ⑧ 洗口剤、義歯洗浄剤について説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-3-2)①②③、 【歯科医師国家試験出題基準】必3ウbc、必4イc、 総12イab、各11イae
4	後藤田宏也	口腔疾患の予防①	A 齲蝕の予防 B フッ化物	A a 齲蝕の特徴と原因 A b 齲蝕の予防 B a フッ化物と応用	① 齲蝕の特徴について説明できる。 ② 齲蝕の原因とリスクファクター別の対処法について説明できる ③ 齲蝕予防の機序と実践方法について説明できる。 ④ フッ化物の応用について説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-3-2)①②③、 【歯科医師国家試験出題基準】必3ウa,必6イa,各11アab,各11イabc

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
5	後藤田宏也	口腔疾患の予防②	A 歯周病の予防 B 口臭予防	A a歯周病の予防と特徴 B a口臭予防	① 歯周病予防の機序と実践方法について説明できる。 ② 口臭予防の機序と実践方法について説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-3-2)①③④ 【歯科医師国家試験出題基準】必6イc,必9オh,総VI 1 Af,各II 3イa～e,各III 5イe
6	後藤田宏也	歯科における疫学と調査	A 疫学指標 B 齲蝕・歯周病の疫学	A a歯科における疫学指標 A b歯科領域における保健医療統計・疫学調査 B a齲蝕の疫学要因 B b歯周病の疫学要因	① 齲蝕の指標について説明できる。 ② 歯周病の指標について説明できる。 ③ 口腔清掃の指標について説明できる。 ④ 歯のフッ素症と不正咬合の指標について説明できる。 ⑤ 齲蝕・歯周病の疫学要因について説明できる。 ⑥ 歯科保健の実態について説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-4-1)③、【歯科医師国家試験出題基準】 総I 6イb、総I 6エab
7	後藤田宏也	疫学と調査①	A 保健医療統計調査	A a人口統計 A b保健医療統計	① 人口静態統計調査について説明できる。 ② 人口動態統計調査について説明できる。 ③ 基幹統計・一般統計について説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-4-2)②③ 【国家試験出題基準】 総I6ウab
8	後藤田宏也	疫学と調査②	A 疫学とその応用 B 疫学指標	A a疫学の概念 A bスクリーニング検査 A c統計解析 A d因果関係の成立 A e観察研究、介入研究 A f臨床疫学 B a頻度・関連を表す疫学指標	① スクリーニング検査と指標を説明できる。 ② 代表値、ばらつき、検定、バイアスを説明できる。 ③ コホート研究を説明できる。 ④ 症例対照研究を説明できる。 ⑤ 有病率、罹患率を説明できる。 ⑥ 相対危険度、寄与危険度、オッズ比を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考) および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-4-1)①～④、B-4-2)①④ 【国家試験出題基準】 総I6Aabcdef,総I 6イa

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
9	後藤田宏也	健康の保持・増進、予防と健康管理および国際保健	A 健康・疾病・障害の概念および口腔と全身の健康増進 B 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 C 健康増進と疾病予防 D 国際保健	A a 健康に関わる要因 A b 社会環境の変化 A c 疾病の自然史 A d ノーマライゼーション A e 健康診断、口腔の診察・検査 A f 健康教育・学習、保健指導、健康相談 A g 禁煙支援 B a 疾病・障害の概念・構造(社会的関わり) B b リハビリテーションの理念 B c ノーマライゼーションの理念 B d 国際生活機能分類<ICF> B e 健康格差、健康の社会的決定要因 C a プライマリヘルスケア C b ヘルスプロモーション C c 行動変容 C d 国民健康づくり対策 C e メタボリックシンドローム対策 C f 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項 D a 持続可能な開発目標<SDGs> D b 非感染性疾患<NCDs> D c パンデミック	①健康に関わる要因を説明できる。 ②社会的決定要因を説明できる。 ③疾病予防の3相5段階を説明できる。 ③バリアフリー、ユニバーサルデザインを説明できる。 ④歯科疾患のリスク評価を説明できる。 ⑤ICFを説明できる。 ⑥ノーマライゼーションを説明できる。 ⑦禁煙指導と禁煙支援を説明できる ⑧プライマリヘルスケアを説明できる。 ⑨ヘルスプロモーションを説明できる。 ⑩行動変容を説明できる。 ⑪国民健康づくり対策を説明できる。 ⑫メタボリックシンドローム対策を説明できる。 ⑬歯科口腔保健の推進に関して説明できる。 ⑭持続可能な開発目標(SDGs)を説明できる。 ⑮ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC))を説明できる。 ⑯非感染性疾患(NCDs)を説明できる。 ⑰国際保健医療協力機関を説明できる。 ⑱口腔保健における国際保健協力を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 A-7- 2②～⑤、B-1①～③、B-2-2)①～⑧、B-3-1)①～③ 【国家試験出題基準】 必2アa～e,必3アa～f,総11アa～d,総11イa～c,総15アa～d
10	後藤田宏也	食生活と健康	A 国民栄養の現状と対策 B 食品保健と食事指導	A a 国民栄養の現状 A b 食事摂取基準 A c 食生活指針 B a 食の安全性と機能性 B b 食育基本法 B c 食生活と口腔保健	①国民健康・栄養調査と現状を説明できる。 ②食事摂取基準を説明できる。 ③健康増進法を説明できる。 ④健康日本21を説明できる。 ⑤食品衛生法、食品表示法を説明できる。 ⑥食事バランスガイドを説明できる。 ⑦食育基本法を説明できる。 ⑧食中毒を説明できる。 。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 B-1③、B-2-1)⑤ 【国家試験出題基準】 総18アa～c,総18イa～c,
11	後藤田宏也	社会保障と健康の保持・増進および歯科医療①	A 社会保障制度 B 医療経済	A a 社会保障の概要 A b 医療保険 A c 介護保険 A d 公的扶助と公費医療 B a 社会保障費と国民医療費 B b 医療費負担と給付	① 社会保険制度を説明できる。 ② 社会福祉制度を説明できる。 ③ 公的扶助を説明できる。 ④ 医療保険制度を説明できる。 ⑤ 後期高齢者医療制度を説明できる。 ⑥ 介護保険制度を説明できる。 ⑦ 地域包括ケアシステムを説明できる。 ⑧ 社会保障費と国民医療費を説明できる	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示：Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 A-7-1)②③、B-2-1)⑤、B-2-2)①②③④⑥⑧ 【国家試験出題基準】 必2イf,総11ウa～d,総14アab

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
12	後藤田宏也	社会保障と健康の保持・増進および歯科医療②	A 保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み	A a 医事衛生法規 A b 保健衛生法規 A c 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 A d 予防衛生法規 A e 薬事衛生法規 A f 地域保健関連機関 A g 福祉施設、介護施設 A h 医療施設	①医事衛生法規を説明できる。 ②保健衛生法規を説明できる。 ③医療保障・社会福祉・介護保険の関連法規を説明できる。 ④予防衛生法規を説明できる。 ⑤薬事衛生法規を説明できる。 ⑥地域保健関連機関を説明できる。 ⑦福祉施設、介護施設、医療施設を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説 (manabaにて提示: Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の改変問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む) 【コアカリキュラム】 A-7-1)①②③、B-2-1)②④⑤、B-2-2)②～⑤ 【国家試験出題基準】 総l1エa～h
13	後藤田宏也	保健・医療と健康増進1	A 健康の保持・増進と社会保障 B ライフステージ別にみた保健・福祉 C 予防と健康管理・増進	A a 健康・疾病・障害の概念 A b 口腔と全身の健康増進 A c 社会保障制度 A d 保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み A e 地域の保健・医療 A f 地域包括ケアシステム B a 母子保健 B b 学校保健 B c 産業保健 B d 成人保健 B e 高齢者保健 B f 障害児・障害者の保健・福祉 C a 予防手段 C b 口腔健康管理	①健康の保持・増進と社会保障についての理解度・到達度の確認と重要点が説明できる。 ②ライフステージ別にみた保健・福祉についての理解度・到達度の確認と重要点が説明できる。 ③予防と健康管理・増進についての理解度・到達度の確認と重要点が説明できる。 これまでの講義のまとめと復習	これまでの講義のまとめと復習を行う。また講義内容の理解度・到達度が基準に達成していることを確認する。 【予習】内容はmanaba等にて提示する。 【復習】内容は講義時およびmanaba等にて提示する。
14	後藤田宏也	保健・医療と健康増進2	A 医療経済 B 国際保健 C 疫学と調査 D 感染症対策 E 食生活と健康 F 環境保健	A a 医療経済 B a 国際保健 C a 疫学とその応用 C b 疫学指標 C c 保健医療統計調査 C d 齲蝕・歯周疾患の疫学要因 D e 感染症対策と疫学 E a 国民栄養の現状と対策 E b 食品保健と食事指導 F a 環境保健対策	①医療経済および国際保健についての理解度・到達度の確認と重要点が説明できる。 ②疫学と調査および感染症対策についての理解度・到達度の確認と重要点が説明できる。 ③食生活と健康および環境保健についての理解度・到達度の確認と重要点が説明できる。 これまでの講義のまとめと復習	これまでの講義のまとめと復習を行う。また講義内容の理解度・到達度が基準に達成していることを確認する。 【予習】内容はmanaba等にて提示する。 【復習】内容は講義時およびmanaba等にて提示する。
15	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義1	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
16	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義2	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
17	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義3	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
18	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義4	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
19	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義5	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
20	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義6	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
21	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義7	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
22	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義8	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
23	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義1	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。1期および2期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
24	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義2	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。1期および2期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
25	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義3	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。1期および2期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
26	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義4	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。1期および2期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
27	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義5	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。1期および2期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
28	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義6	保健・医療と健康増進について説明できる。 予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。1期および2期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。

指導教員：後藤田宏也

参考書：「口腔保健・予防歯科学」医歯薬出版 第2版

ISBN：978-4-263-45897-6

参考書：「公衆衛生がみえる2022-2023」医療情報科学研究所 編 メディックメディア 第6版

ISBN：978-4-89632-858-5

総合歯科医学 6（口腔インプラント学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	積田光由	1. インプラント義歯による治療1	1A 口腔インプラント用材料 1B インプラント義歯の設計	1Ba 上部構造の設計（診断用セットアップ、診断用ステントの製作、インプラント体の選択） 1Bb 埋入計画の立案	1A①口腔インプラント用材料について説明できる。 1Ba①口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。 1Ba②口腔インプラントの適応症を説明できる。 1Ba③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。 1Bb①口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 1Bb②コンピューター支援手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 D-2⑤, E-3-4)-(3)①～④ 必修11セj, 総論Ⅷ11ア, 各論IV6ア～c, 各論IV6イa,b
2	積田光由	1. インプラント義歯による治療2	1C 臨床操作（外科処置）	1Ca インプラント埋入手術（一次手術） 1Cb オッセオインテグレーションの獲得（初期固定、生物学的固定） 1Cc 二次手術	1Ca①インプラント体の埋入手術方法を説明できる。 1Cb①咬合負荷までの期間について説明できる 1Cc①2次手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑤ 各論IV6ウa,b
3	積田光由	1. インプラント義歯による治療3	1D 臨床操作（補綴処置） 1E 技工操作	1Da 印象採得 1Db プロビジョナルレストレーション 1Dc 顎間関係の記録 1Dd 患者情報の記録と伝達 1De 装着 1Ea セメント固定式上部構造の製作（既製アバットメント、カスタムアバットメント） 1Eb スクリュー固定式上部構造の製作	1D①口腔インプラントの印象採得と咬合採得を説明できる。 1D②口腔インプラントにおけるプロビジョナルレストレーションについて説明できる。 1D③口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 1E①セメント固定式上部構造の特徴について説明できる。 1E②スクリュー固定式上部構造の特徴について説明できる。 1E③既製アバットメントとカスタムアバットメントについて説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑥⑦ 各論IV6ウc～g, 各論IV6エa,b
4	積田光由	1. インプラント義歯による治療4	1F リコールとメンテナンス 1G トラブルと合併症	1Fa ホームケア、プロフェッショナルケア 1Ga トラブルとその対応 1Gb インプラント支持療法	1Fa①メンテナンスの重要性を説明できる。 1Ga①手術中、手術直後のトラブルと合併症について説明できる。 1Ga②上部構造装着後のトラブルと合併症について説明できる。 1Gb①インプラント支持療法について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑧ 各論IV8アイ, オf
5	積田光由	2. 総合学習1	2A 口腔インプラント用材料 2B インプラント義歯の設計	演習講義	2A①口腔インプラント用材料について国家試験レベルの問題を解答できる。 2B①インプラント義歯の設計について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 D-2⑤, E-3-4)-(3)①～④ 必修11セj, 総論Ⅷ11ア, 各論IV6ア～c, 各論IV6イa,b
6	積田光由	2. 総合学習2	2C 臨床操作（外科処置）	演習講義	2C①インプラント体の埋入手術方法について国家試験レベルの問題を解答できる。 2C②咬合負荷までの期間について国家試験レベルの問題を解答できる。 2C③2次手術について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑤ 各論IV6ウa,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	積田光由	2. 総合学習3	2D 臨床操作（補綴処置） 2E 技工操作	演習講義	2D①口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法について国家試験レベルの問題を解答できる。 2E①セメント固定式上部構造およびスクリュー固定式上部構造の特徴について国家試験レベルの問題を解答できる。 2E②口腔インプラントの技工操作について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑥⑦ 各論IV6ウc～g, 各論IV6エa,b
8	積田光由	2. 総合学習4	2F リコールとメンテナンス 2G トラブルと合併症	演習講義	2F①メンテナンスの重要性について国家試験レベルの問題を解答できる。 2G①手術中、手術直後のトラブルと合併症について国家試験レベルの問題を解答できる。 2G②上部構造装着後のトラブルと合併症について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑧ 各論IV8アイ, オf
9	積田光由	2. 総合学習5	2H インプラント前処置, 骨増生	演習講義	2H①インプラント前処置について国家試験レベルの問題を解答できる。 2H②インプラントに関連した骨増生について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑤ 各論IV6ウa,b
10	積田光由	2. 総合学習6	2I 上部構造の固定様式 2J 角度付きアバットメント	演習講義	2I①上部構造の固定様式について国家試験レベルの問題を解答できる。 2J①角度付きアバットメントについて国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑥⑦ 各論IV6ウc～g, 各論IV6エa,b
11	積田光由	2. 総合学習7	2K インプラント治療へのデジタル技術の応用	演習講義	2K①ガイドドサージェリーについて国家試験レベルの問題を解答できる。 2K②口腔内スキャナーについて国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)①～④ 各論IV6アa～c, 各論IV6イa,b

指導教員： 積田光由

参考書：よくわかる口腔インプラント学（第4版）医歯薬出版、赤川安正ら 編、定価11,000円＋税

ISBN：978-4-263-45895-2

総合歯科医学 6（内科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分 泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事E-6-①②必修11-ス-b総論VII-1-エ-a～m
2	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分 泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事E-6-①②必修11-ス-b総論VII-1-エ-a～m
3	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分 泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事E-6-①②必修11-ス-b 総論VII-1-エ-a～m
4	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分 泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事E-6-①②必修11-ス-b総論VII-1-エ-a～m

指導教員： 植草康浩

参考書： 歯科医師のための内科学 医師薬出版株式会社

総合歯科医学 6（スポーツ歯学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	栗原大介	総合学習	口腔外傷予防，スポーツマウスガード	演習講義	1 a①目的と意義について説明する。 1 b①種類と特徴について説明する。 1 c①材料と特性について説明する。 1 d①サーモフォーミングの特性について説明する。 1 e①使用上の注意とメンテナンスについて説明する。	授業の理解を図るため予習：シラバスを確認し，講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書とANSWER2025-7巻P386-393で復習する。 E-2-4)-(2)③, E-4-2)⑦, D-1① 各論Ⅰ-4オ, 各論Ⅲ-5イd

指導教員：栗原大介

参考書：要説スポーツ歯科医学第2版 医学情報社 上野俊明 他編

ISBN：978-4-903553-79-5

スポーツ歯科臨床マニュアル第2版 医学情報社 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会編

ISBN：978-4-903553-84-9

総合歯科医学 6（生物学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	阿部道生	1 一般教養的知識	1A地球環境の変化 1B生活環境と健康	1Aa環境の評価 1Ba環境基準 1Bb環境による健康への影響	1Aa①環境汚染の種類を列記する。 1Ba①環境についての基準を説明する。 1Ba②国際的な環境保護の取り組みについて説明する。 1Bb①国際的な環境基準について説明する。	予習：代表的な環境基準について復習しておくこと。環境についての国際的な取り決めについて復習しておくこと。 復習：地球環境の基準についての国際的取り決めに説明する。 環境汚染を分類し、説明する。 B-2-4) ①② 歯科医学総論I-8-アa～g

総合歯科医学 6（倫理学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	勝村聖子	総合学習	生命倫理 研究倫理	演習講義	医療における倫理を説明する。 臨床研究における倫理を説明する。	授業の理解を図るため、講義資料等を十分に復習した上で講義に臨むこと。講義後はノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 A-1-1)③～⑥, 必1-ア-a,b, 2-エ-a, b

総合歯科医学 6（臨床対策コラボ講義）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	舘原誠晃	粘膜疾患・唾液腺腫瘍-1	口腔粘膜疾患・唾液腺腫瘍の病態・検査・診断・治療	演習講義 唾液腺腫瘍 口腔粘膜疾患	各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。	第I期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたいうで講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。 コアカリ： C-5-6)①～⑥、E-2-4)-(6)①～⑥、E-2-4)-(8)④、⑤ 国試出題基準： 各-III-3-ア-e, g, h, i, j
2	松本直行	粘膜疾患・唾液腺腫瘍-2	口腔粘膜疾患・唾液腺腫瘍の病態・検査・診断	演習講義 唾液腺腫瘍 口腔粘膜疾患	各疾患の病態・診断方法について説明できる。	第I期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたいうで講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。 C-3-4)-(1)①～③、E-2-4)-(4)①、②、E-2-4)-(6)①～③、⑤、⑥ 各-III-1-ク-l, j, k, l, m
3	塩澤光一	摂食・嚥下、装具-1	摂食嚥下 発音・構音	食塊形成、口腔期、咽頭期、食道期 母音、子音	食塊形成機構を説明できる。 嚥下の各期の機序を説明できる。 言語中枢を説明できる。 構音機構を説明できる。	『スタディ生理学』の当該項目を事前にチェックすること。 講義時に提示した練習問題を復習すること。 E-2-1) ⑨、E-2-2)⑧ 総-II-6-エ、オ
4	西山雄一郎	摂食・嚥下、装具-2	摂食嚥下障害 発話障害 特殊な装置による治療	摂食嚥下機能の評価 発話機能の評価 パラトグラム 顎義歯 舌接触補助床 軟口蓋挙上装置 スピーチエイド	摂食嚥下機能の評価について説明できる。 発話機能の評価について説明できる。 パラトグラムについて説明できる。 顎義歯について説明できる。 舌接触補助床について説明できる。 軟口蓋挙上装置について説明できる。 スピーチエイドについて説明できる。	「無歯顎補綴治療学第4版」の該当項目およびmanabaに事前掲載する講義資料を予習すること。講義後は、講義時の演習問題と該当する国家試験既出問題を復習し、講義内容を要約すること。 E-2-4)-(11) ②④ 各-IV-7-ア、ウ、エ、オ
5	廣田正嗣	デジタルデンティストリー-1	歯科用CAD/CAMシステムとデジタル関連器材 CAD/CAMマテリアル	CAD/CAMシステム 切削加工法 積層造形法 口腔内スキャナー (IOS) ジルコニア ニケイ酸リチウムガラスセラミックス CAD/CAM用コンポジットレジン	歯科用CAD/CAMシステムについて説明できる。 切削加工法、積層造形法について説明できる。 IOSについて説明できる。 CAD/CAM用材料について説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および歯科理工学の参考書を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。 A-6-3)⑤、C-1-2)③、D-1①③、D-2②⑤、E-3-4)-(1)② 必-11-セ-c,f,g、総-VIII-2-ア-e、総-VIII-6-イ-b、総-VIII-6-エ-c、総-VIII-7-エ-a,b、総-VIII-11-ア、各-IV-3-ア-c,d,g、各-IV-3-ウ-b、各-IV-4-ウ-d、各-IV-6-イ-b、各-IV-7-ウ-a,c
6	新保秀仁	デジタルデンティストリー-2	歯科用CAD/CAMシステム デジタルを利用した修復物、補綴装置の製作 IOSの使い方や利点	切削加工法 積層造形法 口腔内スキャナー (IOS)	歯科用CAD/CAMシステムについて説明できる。 切削加工法、積層造形法について説明できる。 デジタル製作とアナログ製作の比較を説明できる。 IOSの使用方法や利点欠点を説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および歯科補綴学、歯冠修復の参考書を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。 D-2②、E-3-3)-(1)③、E-3-4)①、E-3-4)②、E-3-4)⑤、E-3-4)⑧、E-3-4)-(3)⑥ 総-VII-2-ア-a、総-VII-2-ア-d、各-IV-3-イ-d、各-IV-3-ウ-b、各-IV-4-ウ-d、各-IV-6-イ-a、各-IV-6-イ-b、各-IV-6-ウ-a、各-IV-6-ウ-c、各-IV-6-ウ-e、各-IV-6-エ-a、各-IV-6-エ-b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	廣田正嗣	接着-1	歯質接着機構、各接着操作の意味 前処理および接着に用いる材料	レジンセメント 接着性モノマー エッチング、プライミング、ボンディング シランカップリング剤 金属接着性モノマー 接着阻害因子	合着用セメントについて説明できる。 歯質との接着機構を説明できる。 各材料に対する被着面処理の方法を説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および歯科理工学の参考書を参照し講義に備えること。また、総合歯科医学5の講義で使用した資料を整理して復習しておくこと。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。 D-1①②、D-2①～③、E-3-3)-(1)③④、E-3-4)-(1)②①②② 必-11-セ-a,e,f,h、総-VIII-5-ア-a、総-VIII-6-ア-a、総-VIII-6-イ-a,b、総-VIII-6-エ-a,b,c、総-VIII-8-ア、総-VIII-8-イ-a,b、総-VIII-8-ウ-a,b、総-VIII-9-ア-a,b,c、各-II-1-ウ-a,b,e、各-IV-3-イ-j、各-IV-8-オ-e
8	山本雄嗣	接着-2	歯質の解剖 歯質とレジンの接着機構	エナメル質 象牙質 質 歯質とレジン の接着 補修修復	エナメル質と象牙質の構造を説明できる。 歯質とレジンの接着機構を説明できる。 アドヒーズの成分と使用目的を説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および保存修復学講義資料を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。 E-3-1)④、D-1①②、D-2①、E-3-3)-(1)①～④⑥⑧ 必-11-ケ-b、必-11-セ-e,h、総-VII-5-ア-a、総-VIII-8-ア、総-VIII-8-イ-a,b、総-VIII-8-ウ-a,b、各-II-1-ウ-a,d,e
9	重田優子	接着-3	クラウンブリッジ治療における接着操作	支台築造における接着 補綴装置製作における接着 補綴装置装着 補修修復における接着	支台築造における接着操作を説明できる。 補綴装置製作における接着操作を説明できる。 補綴装置装着時の接着操作について説明できる。 補修修復における接着操作を説明できる。	1期の接着関連の授業内容を復習しておくこと。 授業後、理工学的・保存学的な知識と併せて復習し、接着について整理する。 D-2③、E-3-4)-(1)①①～③ 必-12-セ-h、各-IV-3-イ-h,i
10	及川 崇	顎変形症-1	チーム医療 顎変形症治療	下顎枝矢状分割術 上下顎移動術 オトガイ形成術 仮骨延長術	術前矯正治療について説明できる 顎変形症の手術法を説明できる	manabaに事前掲載する講義資料および歯科矯正学の教科書を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。 D-2-2-1、D-3-1-1-3、D-3-1-11-1、E-6-1 各-I-10-オ
11	中岡一敏	顎変形症-2	チーム医療 顎変形症治療	下顎枝矢状分割術 上下顎移動術 オトガイ形成術 仮骨延長術	術前矯正治療について説明できる 顎変形症の手術法を説明できる	manabaに事前掲載する講義資料を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。 D-2-2-1、D-3-1-1-3、D-3-1-11-1、E-6-1 各-I-10-オ
12	守安克也	スペシャルニーズデンティストリー-1	障害児の歯科治療	心身障害児への歯科的対応	心身障害児の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 心身障害児の口腔にみられる特徴と歯科的問題を特徴を説明できる。 心身障害児の歯科診療での対応法を説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-5-2)-①～④ 各-V-8-ア-a,b、各-V-8-イ-a,b,c、各-V-8-ウ、各-V-8-エ
13	花谷重守	スペシャルニーズデンティストリー-2	障害者の歯科治療	心身障害者の歯科的対応	心身障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 心身障害者の口腔にみられる特徴と歯科的問題を特徴を説明できる。 心身障害者の歯科診療での対応法を説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-5-2)-①～④ 各-V-8-ア-a,b、各-V-8-イ-a,b,c、各-V-8-ウ、各-V-8-エ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
14	阿部佳子	疼痛管理-1	疼痛・ペインクリニック	歯原性疼痛 非歯原性疼痛 神経障害性疼痛	歯原性疼痛の特徴について説明できる 非歯原性疼痛の特徴と治療について説明できる 神経障害性疼痛の特徴と治療について説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-6-2)②、C-6-4)① 総-VII-5-ア、総-VII-8-ア-a、総-VII-8-ウ-a
15	中島和久	疼痛管理-2	疼痛	疼痛治療に使われる薬物	疼痛治療に使われる薬物の特徴と作用機序を説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-6-2)②、C-6-4)① 総-VII-5-イ、総-VII-8-イ-d、総-VII-8-ウ-a

指導教員：阿部佳子、及川 崇、塩澤光一、重田優子、新保秀仁、舘原誠晃、中岡一敏、中島和久、西山雄一郎、花谷重守、廣田正嗣、松本直行、守安克也、山本雄嗣

参考書：①スタンダード歯科理工学第7版 ②スタディ生理学・口腔生理学第3版 ③無歯顎補綴治療学第4版

ISBN：①ISBN978-4-7624-5614-5 ②ISBN978-4-8160-1338-6 ③ISBN978-4-263-45868-6

総合歯科医学 6（数学講座 統計特講）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	網谷泰治	疫学における統計	疫学とその応用	① 疫学の研究方法 ② 疫学指標	① 疫学における代表的な研究デザインを理解する ② 相対危険度、寄与危険度、オッズ比などの疫学指標を計算し、それらの意味を理解する	予習：manabaに載せている講義プリント1を読んでおくこと 復習：講義プリント1の内容を確認し、問題を解いておくこと B-4-1) ②、③ 総論Ⅰ保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a～f イ 疫学指標 a～b
2	網谷泰治	疫学における統計	統計解析の方法	① スクリーニング ② 人口統計	① 敏感度、特異度などのスクリーニングの指標を意味を理解し、尤度比とROC曲線に関連づける ② 死亡率の計算方法（直接法・間接法）を理解する	予習：manabaに載せている講義プリント2を読んでおくこと 復習：講義プリント2の内容を確認し、問題を解いておくこと B-4-1) ②、③ B-4-2) ①、②、③ 総論Ⅰ保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a～f ウ 保健医療統計調査 a～b
3	網谷泰治	疫学における統計	統計解析の方法	① 因果関係の推論 ② 有意性検定	① 疾病に関する要因の推論過程について説明できる ② 医学における代表的な検定（t検定、カイ2乗検定）を振り返る	予習：manabaに載せている講義プリント3を読んでおくこと 復習：講義プリント3の内容を確認し、問題を解いておくこと B-4-2) ①、④ 総論Ⅰ保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a～f イ 疫学指標 a～b ウ 保健医療統計調査 a～b
4	網谷泰治	疫学における統計	総括	① 疫学とその応用 ② 統計解析の方法	① 問題演習を通して疫学の内容の理解を深める ② 問題演習を通して統計解析の方法に関する理解を深める	予習：manabaに載せている講義プリント4を読んでおくこと 復習：講義プリント4の内容を確認し、問題を解いておくこと B-4-2) ①、④ 総論Ⅰ保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a～f イ 疫学指標 a～b ウ 保健医療統計調査 a～b

指導教員：網谷泰治

参考書：独習 統計学24講, 鶴田陽和著, 朝倉書店, 2013年, 3,200円（税別）

ISBN：9784254121933